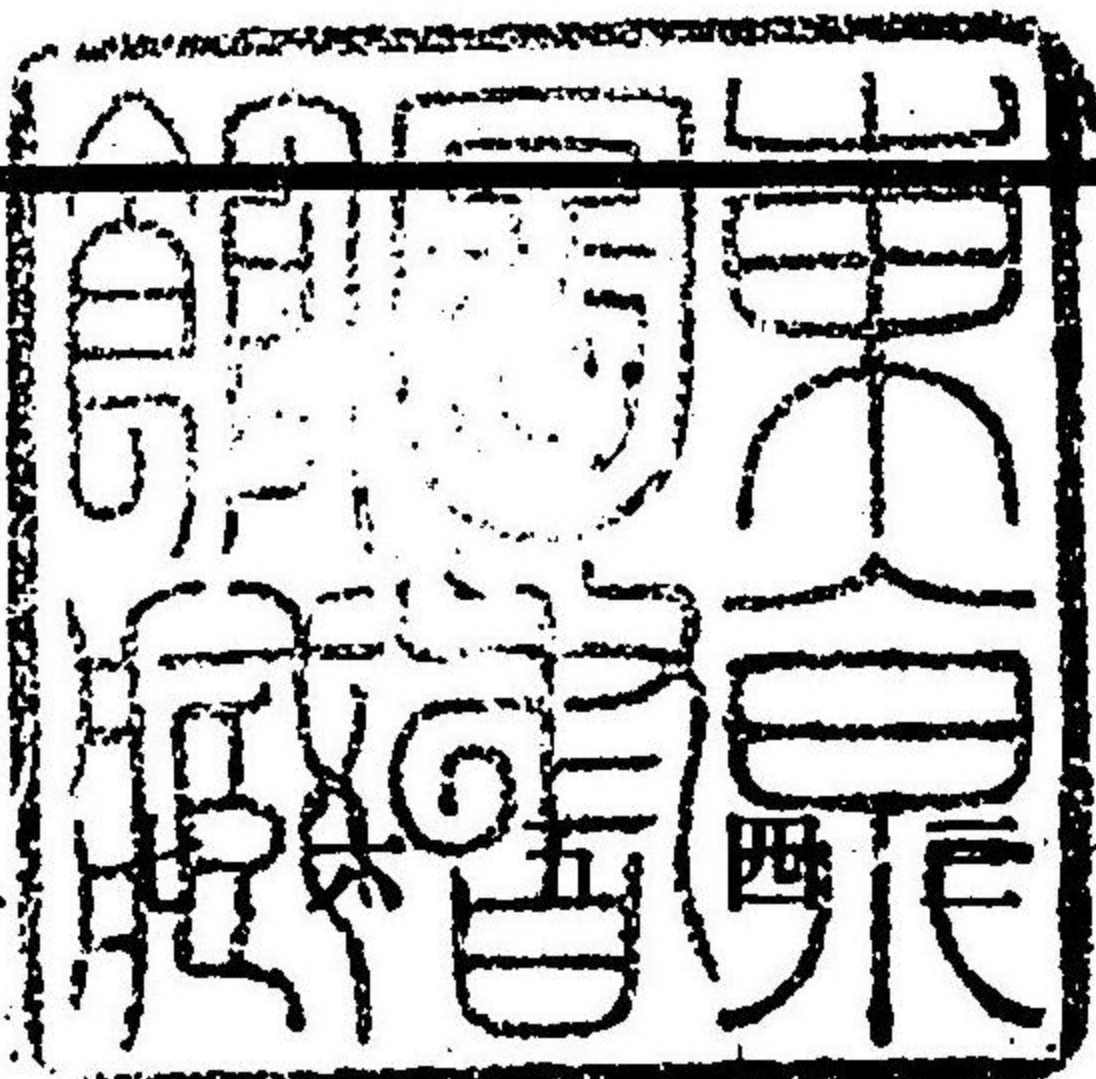


No. 1176/XXIV.



中等地理 日本誌二

目次

第二編

日本誌續

- | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 十 | 九 | 八 | | | | | |
| 北海道 | 西海道 | 南海道 | 山陽道 | 山陰道 | 北陸道 | 東山道 | 東海道 |

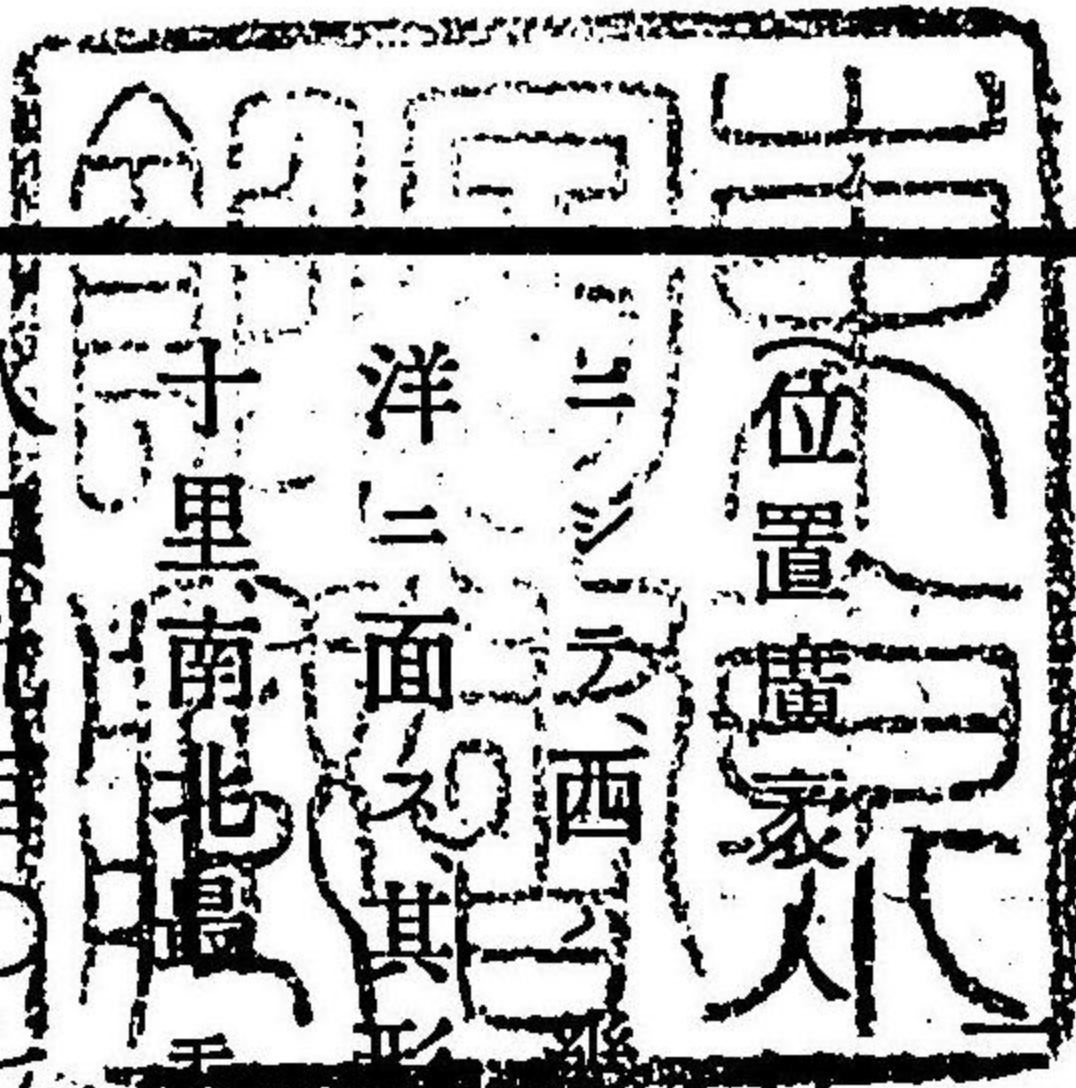


目次終

中等地理 日本誌二

第二編 日本誌續

中村五六 編纂



東海道

位置 東海道ハ本洲ノ中部、太平洋ニ瀕スル一帯ノ地方ニシテ、西ニ畿内及紀伊ニ接シ、北方ハ東山道ニ界シ、東南一帯太平洋ニ面シ、其形東西ニ長クシテ南北ニ狭ク、東西最モ長キ處一百二十里、南北最モ長キ處三十二里餘、面積二千六百五十八方里ニシテ、人口九百〇七萬三千百六十九、即チ一方里内ニ三千四百十三人ノ割合トス、

(區劃) 本道ハ十五ヶ國、七市百四十八郡ニ別ル、一府八縣ヲ以テ之

ヲ分轄ス、即チ左ノ如シ、

伊賀四郡 阿拜・山田・名張・伊賀

市津

伊勢

一十三郡

桑名・員辨・三重・朝明・鈴鹿・菟藝・河曲
安濃・一志・飯高・飯野・多氣・度會

三重縣

志摩二郡 答志・英虞

市名古屋

尾張

一十九郡

愛智・東春日井・西春日井・丹羽・葉栗
中島・海東・海西・知多

愛知縣

三河十郡

碧海・幡豆・額田・西加茂・東加茂・北設
樂・南設樂・寶飯・渥美・八名

遠江十二郡

榛原・佐野・城東・周智・豐田・山名・樂田
長上・敷知・濱名・引佐・龜玉

駿河 七 市 靜岡 郡 駿東・富士・庵原・有渡・安倍・志太・益津

甲斐 一 市 甲府 郡 東山梨・西山梨・東八代・西八代・南巨摩・中巨摩・北巨摩・南都留・北都留 山梨縣

伊豆 四 郡 賀茂・那賀・君澤・田方 靜岡縣 三浦・鎌倉・高座・大住・陶綾・足柄上・足柄下・愛甲・津久井 神奈川縣

相模 九 郡 橫濱 東京府 橋樹・久良岐・都筑・西多摩・南多摩・北多摩 神奈川縣 荏原・東多摩・南豐島・北豐島・南足立 東京府 南葛飾 東京府

武藏 二十九 郡 南埼玉・北埼玉・北足立・新座・入間・高麗・比企・橫見・大里・幡羅・榛澤・男衾・兒玉・加美・那珂・秩父・北葛飾 埼玉縣

安房 四
上總 九

郡 安房・平群・朝夷・長狹
市原・上埴生・長柄・山邊・武射・望陀・周
准・天羽・夷隅

千葉縣

下總 十五 郡

千葉・東葛飾・印幡・下埴生・南相馬・香
取・匝瑳・海上
中葛飾
猿嶋・結城・岡田・豐田
西葛飾・北相馬

埼玉縣

常陸

一 市
十二 郡

東茨城・西茨城・那珂・久慈
多賀・眞壁・鹿島・行方
新治・筑波・信太・河内

茨城縣

〔海岸〕 本道十五ヶ國中、海洋ニ瀕セサルモノ只伊賀・甲斐ノ二國ニ
シテ、其他ハ悉ク瀕海國タリ、其海岸ハ大小ノ屈曲極テ多ク、名港良

泊渺カラス、

陸地ノ海中ニ突出セルモノ、伊豆及房總ノ二大半島ヲ以テ最トナ
ス、伊豆半島ハ本道ノ殆ト中央部、駿河・相模ノ間ヨリ、遠ク南方ニ擴
出スルコト十有四里、其最南端ヲ石廊崎ト云フ、岬端ニ燈臺アリ、近
傍ハ巨巖高ク峙テ、波濤激奔シ、其海上ニハ尙ホ神兒元島及數群
ノ岩礁アリテ、舟行頗ル危険ナリ、
房總半島ハ伊豆半島ノ東方ニアリテ、同ク南方ニ斗出スルコト二
十餘里、其最南端ヲ野島崎ト稱シ、西方ニ突出セル岬角ヲ洲崎ト云
フ、半島ノ東側ニハ大東崎アリ、之ヨリ以北ハ海岸一帯平沙相連リ
テ、其形弓ノ如ク、遂ニ東端犬吠崎ニ達ス、是所謂ル九十九里濱ニシ
テ、有名ナル鱧ノ漁場タリ、
次ニ各國ノ岬角ヲ摘舉スレハ、前記兩半島ノ中間ニ斗出スル、相模

三浦郡ノ山嘴アリ、其盡頭ヲ三崎ト云フ、城ヶ島前ニ横ハル、山嘴ノ東側ニ觀音崎アリ、遙ニ房總半島ノ西側ナル富津崎ト相對シ、東京灣ノ口ヲ扼ス、砲臺ヲ築キテ之ヲ守ル、駿河灣ノ西、遠江ノ南東端ニ突出スルモノヲ御前崎ト云フ、伊豆ノ石廊崎ニ對ス、三河ニ於テハ渥美郡ハ西ニ向ヒテ半島狀ニ延出ス、其西端ヲ伊良胡崎ト云フ、志摩ト相對セリ、尾張ニ於テハ知多郡南ニ向ヒテ長ク斗出ス、其岬端ハ即チ羽豆崎(又師崎)ナリ、羽豆崎ト伊良胡崎トハ、密接シテ其間僅ニ三里ニ過キス、志摩ノ沿岸ハ小屈曲甚々多ク、南方ノ岬角ヲ麥崎ト稱シ、西ニアルヲ御坐崎ト云ヒ、東ニアルヲ大王崎ト云フ、遙ニ伊豆ノ石廊崎ニ對セリ、海水ノ陸地ニ灣入スルモノ、伊勢内海、駿河灣及東京灣ヲ以テ第一トシ、衣浦、濱名湖等之ニ次ク、伊勢内海ハ本道ノ西方、伊勢尾張ノ間

ニアリテ、志摩ト伊良胡崎ト其口ヲ扼ス、内海ハ東西五六里、南北十餘里、沿岸凡ソ三十里アリ、駿河灣ハ本道ノ殆ト中央、伊豆、駿河ノ間ニアリテ、御前崎、石廊崎ノ二岬左右ヨリ相對シテ之ヲ抱ク、其沿岸二十餘里、田子浦ハ其正中ニ在リテ、浦ノ西方ヨリ一帯ノ沙嘴東方ニ向ヒテ灣内ニ斗出スルコト一里許、翠松其上ニ排列シ、山紫水明相映シテ、風景秀絶世ニ三保松原ト稱スルモノ即チ是ナリ、東京灣ハ武藏上總ノ間ニ灣入スル内海ニシテ、觀音崎、富津崎其口ヲ扼セリ、灣ハ南北二十餘里、東西五里ヨリ十里ニ及ヒ、周回凡ソ五十里許、海濱ハ大率淺沙ニシテ大船ノ碇泊ニ便ナラサレトモ、西岸ニハ尙ホ二三ノ良港アリ、衣浦ハ又三河海ト云フ、伊勢海ノ東ニアリテ知多、渥美ノ兩郡ニ抱カレ、師崎、伊良胡崎其口ヲ扼ス、濱名湖ハ遠江ノ南西隅ニアリ、東西四里、南北五里許、往時ハ一ノ湖水ナリシカ、明應

八年地震ノ爲メ海岸ノ陸地陷没シテ海水ト交通スルニ至レリ、故ニ其海口ヲ今切ト云フ長サ一里餘ノ橋ヲ架ス、我邦第一ノ長橋ナリ、

(港津) 港津ノ著名ナルモノ、伊勢ニ四日市(四ノ五ノヨ)及桑名ノ兩港アリ、四日市ニハ時ヲ刻シテ東京ト汽船ノ往來アリ、志摩ニ鳥羽(三ノヨ)、(五)的矢(六ノ切餘)ノ二港アリ、共ニ有名ノ良泊ナリ、尾張ニ師崎(十五ノ切)、半田(未詳)、武豊(未詳)、龜崎(三ノ切餘)ノ四港アリ、三河ニ大濱港(五ノ切餘)アリ、遠江ニ掛塚港アリ、駿河ニ清水港(十五ノ切)アリ、東京トノ間往來ノ汽船上下シテ良泊ト稱ス、伊豆ニハ下田(六ノ八ノヨ)、田子(八ノ五ノヨ)、網代(六ノ三ノヨ)ノ三港アリ、相模ニハ浦賀(五ノ十ノヨ)、横須賀(二ノ二ノヨ)ノ二港アリ、下田・浦賀ハ古昔外國船ノ入泊セル所、横須賀ハ軍港ニシテ東洋稀有ノ大造船所アリ、武藏ニ横濱港(八ノ十ノヨ)アリ、開港場ノ第一ニ

居ル、安房ニ館山港(三ノ九ノヨ)アリ、上總ニ木更津港アリ、下總ニ銚子港(二ノ切餘)アリ、常陸ニ那珂(四ノ八ノヨ)、平潟(四ノ八ノヨ)ノ二港アリ、

(近海) 本道ノ近海ハ直ニ渺茫タル太平洋ニ連ルカ故ニ海底深ク、波濤高ク、航海危難ノ處多シ、志摩ノ大王崎ヨリ伊豆ノ石廊崎ニ巨ル海上ハ、之ヲ遠州灘ト稱ス、水程凡ソ八十里、古ヨリ航海ノ難所ト稱セラル、相模ノ城カ島ヨリ伊豆半島ノ東側ニ至ル海上ヲ相模灘ト云フ、房總半島ノ東方海上ハ之ヲ房州沖ト稱シ、黒潮ノ衝ニ當リテ、潮流甚々急ナリ、犬吠崎以北常陸ノ海上ハ之ヲ鹿島灘ト云フ、

(嶋嶼) 本道附屬ノ嶋嶼中、尤モ著名ナルハ伊豆七嶋及小笠原群嶋トナス、伊豆七嶋ハ大島(周圍拾里二十六丁)、利嶋(二里三丁)、新島(六里三十四丁)、神津嶋(五里三十三丁)、三宅嶋(七里二十八丁)、御藏嶋(七里七丁)及八丈編ノ産地ナル八丈嶋(十里十三丁)ヲ以テ成ル、七嶋ハ伊豆

半島ノ南東海上四十餘里ノ間ニ羅列ス、其近クシテ且ツ大ナルモノヲ大嶋ト云フ、伊豆ノ東岸ヲ距ルユト凡ソ六里、嶋中ニ噴火山アリ三原山ト名ツク、八丈嶋ハ尤モ遠クシテ、伊豆ノ下田ヲ去ルコト四十七里許、嶋中西山ト稱スル高山アリ、山頂常ニ火烟ヲ噴出ス、小笠原群島ハ伊豆ノ南方、二百餘里ノ海中ニアル十數箇ノ島嶼ヨリ成リ、北緯二十六度ヨリ二十八度ノ間ニ散布ス、其最大ナルモノヲ父島(四里三十四丁)及母島(十四里十九丁)トス、兄弟姊妹聳嶋等ノ諸島之ニ次ク、群島皆山多クシテ平地少ク、沿海モ亦巉巖相連リ、波濤激烈ニシテ碇泊ノ地ニ乏シ、是等ノ群島ハ文祿年中、小笠原貞頼ノ檢出セシ處ニシテ、當時未タ居民ナカリシカ、現今居民五百三十九人ニ達セリト云フ、

以上二群島ノ外、尙ホ諸國沿岸ノ島嶼ヲ舉クレハ、志摩ニ於テ鳥羽

港ノ沖ニ、答志島(六里一丁)及菅島(三里四丁)アリ、尾張ニ於テ師崎ノ岬前ニ、篠島(一里餘)及日間賀島(二十五丁)アリ、衣浦ノ中央ニ佐久島(二里二十五丁)アリ、相模ニ於テ三崎ノ前面ニ、城ヶ嶋(一里十八丁)アリ、横須賀ノ傍ニ猿嶋(三十餘丁)アリ、相模灣ノ北東岸ニ近ク江ノ嶋アリテ、鮮魚ノ名所ナリ、

(地勢山岳) 本道ハ、本洲中部ノ南側面ニシテ、地面南ニ向ヒテ徐々ニ低落シ、其河流モ概テ南流ス、之ヲ概論スルニ、東西兩部ノ諸國ハ平地ニ富ミ、中部諸國ハ山勝ナリ、今其國々ニ就キテ著名ノ高山ヲ舉クレハ、常陸ニハ北部ニ金砂高鈴ノ諸山アリ、東部平野ノ間ニハ加波山(二、五三一尺)筑波山(二、八九七尺)相竝ヒテ聳立ス、下總ニハ高山ト稱スヘキモノナク、上總ニハ東京灣東ニ鹿野山アリ、山上清涼ニシテ避暑ノ好地タリ、安房ニハ上總ノ境ニ鋸山、花立山、清澄山ア

リ、鋸山ハ山骨露出シテ鋸齒ノ如シ、多ク石材ヲ出ス、房州石ト稱ス
 ルモノ是ナリ、武藏ニハ西信濃、上野ノ境ニ三國山(二、九七〇尺)アリ、
 秩父郡ニ秩父山アリ、秩父山中武甲山(四、三二三尺)、三峯山(三、五四八
 尺)、雲取山(六、六五六尺)等ノ諸峯尤モ高シ、此等武藏ノ諸山ハ關東山
 脈ト稱シ、武藏ト甲相兩州トノ境上ヲ走り、甲州街道ナル笹子峠(三、
 四九〇尺)、小佛峠等ヲ起ス、此山脈甲斐ニ入りテハ大菩薩峯(六、三八
 八尺)、初鹿野山、天目山等トナル、天目山ハ武田勝頼ノ戰敗レテ自盡
 セシ處ナリ、甲斐ハ關東山脈ノ外ニ、又富士帶ノ蟠踞スル所ナレハ、
 全國到ル處ニ高山アリ、其顯著ナルモノハ、信濃ノ境ニ八ヶ岳(九、一
 一六尺)アリ、其東ニ金峯山(八、五四九尺)、雁坂峠(六、八六九尺)アリ、西ニ
 駒ヶ岳(九、九〇五尺)、地藏岳(八、八五七尺)アリ、西駿河ノ境ニ白根(一〇、
 二一二尺)、七面(五、一五六尺)、身延(三、三二九尺)ノ諸山アリ、而シテ本脈



トナシ、實ニ東洋稀有ノ壯觀タリ、相模、伊豆、駿河モ亦富士帶ノ蟠結

ノ盟主富士山ハ甲駿二州ノ境ニ突立
 ス、富士山ハ我邦第一ノ高峯ニシテ、高
 富サ一萬二千三百七十尺、巍然トシテ雲
 士表ニ聳ユ、快晴ノ日ニハ三四十里ノ遠
 山方ヨリ望見スルヲ得、絶頂ニハ古ノ噴
 火口アリ、今ハ乾池トナル、山趾ハ富士
 ノ裾野ト稱シ、草木繁茂シ、山腰ニハ矮
 樹雜生スレトモ、中腹以上ハ赭石疊々
 景トシテ植物ヲ生セス、山形ハ圓錐狀ニ
 シテ火山ノ好標本タリ、頂上ニハ三伏
 ナ除クノ外積雪皚々トシテ斷ユルコ

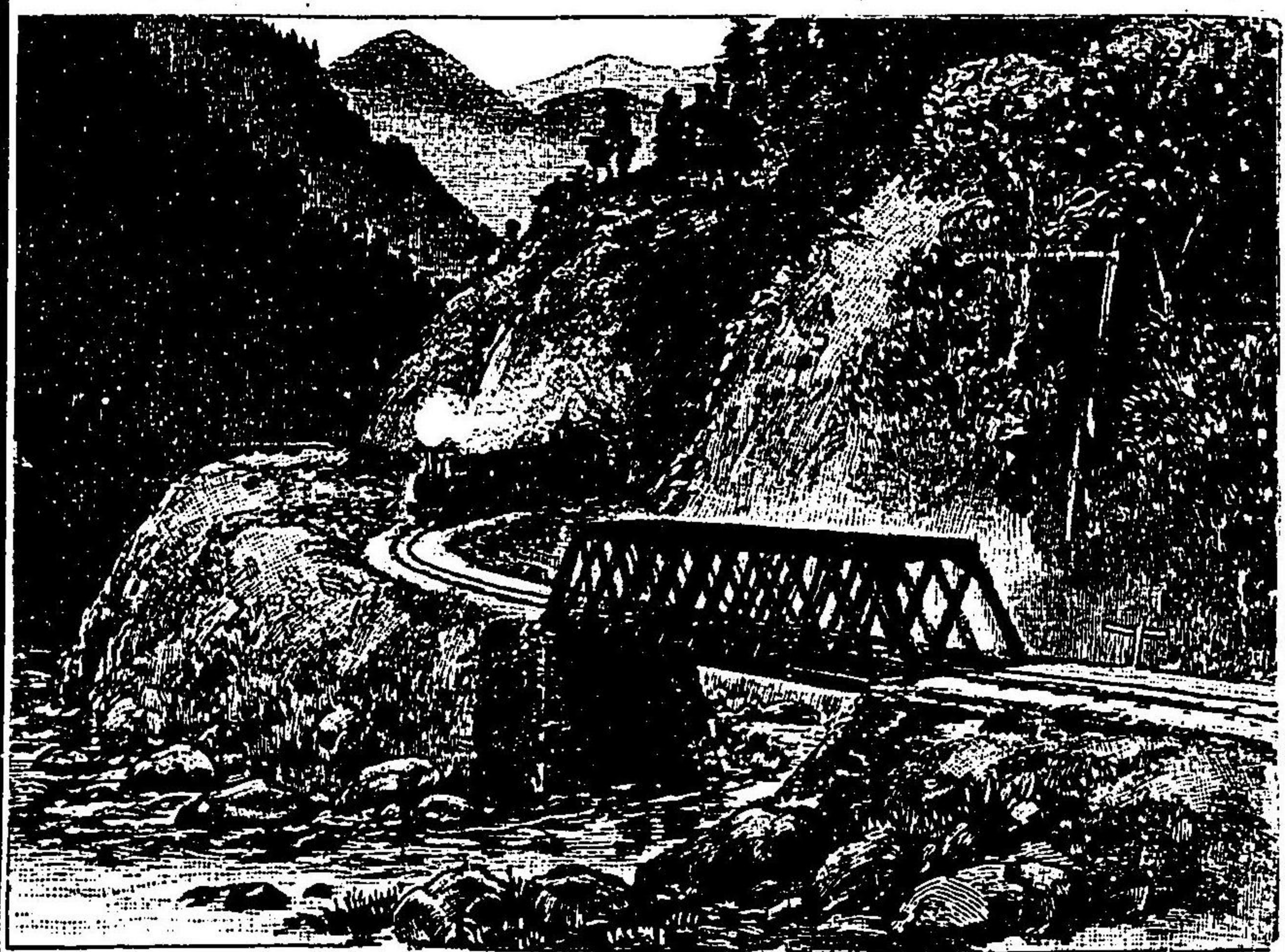
スル所ニシテ、相模ノ中央ニ雨降山四、二二五尺アリ、一名ヲ大山ト稱ス、西境ニ足柄山箱根山相連ル、箱根山頂ニハ湖水アリ、蘆湖ト云フ、古ノ噴火口ナリ、箱根ハ東海道中第一ノ難處ニシテ昇降八里ト稱ス、東海道鐵道モ函嶺ノ嶮ヲ避ケ、迂廻シテ北方ノ峽間御殿場ヲ通過セリ、山頂ニハ古昔關門ヲ設テ之ヲ守レリ、關東關西ノ稱ハ之ニ基因ス、伊豆半嶋ハ箱根山嶺ノ南延セルモノニシテ、天城山四、五六三尺最モ高シ、山中多ク良材ヲ産ス、駿河ニハ東部ニ愛鷹山アリ、高ク四千七十尺、富士帶ニ屬シ、其南ニ峙立セリ、山麓ヨリ海濱ニ連ル平原ヲ浮島原ト唱フ、西遠江ノ境ニ最モ高キモノヲ大無間山トナス、高ク七千六百九十三尺アリ、是信州ナル赤石山ノ脈ニ屬スル一高峯タリ、遠江ニハ大井、天龍兩河ノ間ニ、赤石山脈南流支出シテ、北方ニ黑法師山七〇七三尺ヲ起シ、中央ニ秋葉山三、〇七〇尺、大日

山二、五三〇尺聳立ス、有名ナル小夜中山ノ坂路ハ其南趾ニ在リ、三河ニハ東方ニ鳳來寺山アリ、其西ニ本宮山アリ、小牧山ハ本宮山ノ南、平野ノ中央ニ孤立スル一小山ナレトモ、天正年間羽柴德川ノ兩雄對陣ノ地ナルヲ以テ世ニ知ラル、三河ノ西方尾張ノ境ニハ、猿投山高ク秀立ス、以上三河ノ諸山ハ概シテ木曾山脈ノ餘波ニ屬ス、尾張ハ概テ平地ニシテ記載スヘキ高山ナシ、伊勢ニハ北方美濃ノ境ニ、多度山、篠立山アリ、近江ノ境ニ釋迦岳、鎌岳、藤原岳、鈴鹿山等相連ル、鈴鹿山ハ伊勢近江ノ通路ニ當リ頗ル急嶮ナリ、其南麓ニハ鈴鹿關ノ古跡アリ、伊賀ノ境ニ尼ヶ岳三、一〇二尺、元取山アリ、伊勢大和ノ境ニ高見國見ノ諸山アリ、大臺原山其南ニアリテ紀伊ニ連リ、朝熊山ハ南方志摩ノ境ニ峙テリ、伊賀ニ高キハ春日峯ナリ、以上ノ諸山ハ概シテ第三南北派山脈ニ屬ス、

(河流) 本道中ノ大河ト稱スヘキモノハ、概テ東山道ヨリ來ルモノニシテ、其他ノ河流モ多クハ源ヲ北境ニ發シ、南流シテ太平洋ニ注ク、但シ伊勢志摩ノ諸水ハ東流シテ内海ニ注キ、伊賀ノ諸水ハ西流シテ畿内ニ入レリ、
 本道河流ノ最モ長キモノハ利根川ニシテ、天龍川、木曾川之ニ次キ共ニ東海道ノ三大河ト稱ス、利根川ハ我邦第三ノ長流ニシテ、俗ニ坂東太郎ト稱ス、上野國文珠山ニ發源シ、上州ノ諸水ヲ合セテ南流シ、上野武藏ノ際ヨリ下總ノ關宿ニ至リ、分レテ兩川トナル、其本流ハ更ニ南東ノ方向ヲ取り、鬼怒川、小貝川ヲ并セ下總ノ取手ニ至リ、之ヨリ殆ト正東ニ流レ、常陸下總ノ境ヲ限リテ、銚子港ヨリ海ニ注ク、流程七十一里、河口ハ其幅一里ニ達ス、關宿ニ至ルマテ、小汽船ノ往來自在ニシテ、運輸ノ便東國ニ冠タリ、支流ハ武藏上總ノ堺ニ沿

ヒテ南ニ流レ、行徳ヲ過キ東京灣ニ入ル、江戸川是ナリ、里見氏没落ノ古戰場タル、有名ノ鴻臺ハ、其左岸ニ峙ツ、今ハ教導團ヲ茲ニ置ケリ、
 天龍川ハ源ヲ信濃ノ諏訪湖ニ發シ、遠江ニ入リテ、直ニ南流シ、秋葉山ノ西麓ヲ過キテ、國ノ中央ヲ貫キ、下流分レテ大天龍、小天龍ノ二派トナリ、共ニ掛塚港ニ注ク、湖口ヨリ海ニ至ルマテ五十六里、
 木曾川ハ源ヲ信濃筑摩郡ニ發シ、美濃尾張ノ境上ヲ流レ、尾張ノ西邊ニテ佐屋川ヲ分テ、尋テ楫斐川ヲ合セ、下流ハ數派トナリ、伊勢海ニ入ル、流程五十五里、濃尾兩州ノ肥沃ナル平原ハ此河ノ三角洲ナリ、
 以上三川ニ次キテ大ナルモノ、常陸ニ那珂久慈筑摩ノ三川アリ、那珂川(二十三里)ハ下野ニ發源シ、國ノ中央ヲ貫流シテ鹿島灘ニ注ク、

川口ニ那珂港アリ、武藏ニ荒川(三十二里)及多摩川(十八里)アリ、荒川ハ源ヲ秩父山中ニ發シ、武藏ノ平原ヲ環流シ東京灣ニ注ク、其下流ハ即チ東京ノ東部ヲ貫流スル隅田川ニシテ櫻花ヲ以テ有名ナル向島ハ、其左堤タリ、多摩川ハ源ヲ甲斐ノ大菩薩山頂ニ發シ、東ニ流レテ東京灣ニ注ク、下流ハ又六郷川ノ稱アリ、瀬淺ク水極テ清キカ故ニ、羽村ト稱スル處ヨリ、長渠ヲ以テ水ヲ引キ、東京市中ノ飲料ニ供セリ、之ヲ多摩川上水ト云フ、多摩川ハ又鮎ノ名所ニシテ、夏秋ノ候都人遊漁ヲ試ムルモノ多シ、相模ニハ馬入、酒勾ノ二川アリ、馬入川ハ一名相模川ト云フ、甲斐ノ桂川ノ下流ニシテ富士山東ノ山中湖ニ發シ、南流相模灘ニ注ク、酒勾川ハ富士山麓ニ發シ、小田原ノ東ヲ流レ海ニ入ル、酒勾川ノ溪間ハ箱根ヲ避クルノ間道ニシテ、東海道鐵道之ニ通ス、頗ル難所ナリ、駿河ニハ富士川(二十九里)アリ、上流



酒勾川溪間汽車進行ノ圖

ハ甲斐ノ笛吹、釜無及蘆ノ三川ヨリ成リ、南ニ流レテ、駿河ノ中央ヲ横キリ、田子浦ニ注ク、水勢極テ峻急ニシテ日本三急流ノ一ト稱セラル、駿河ト遠江トノ境ニ大井川(二十五里)アリ、甲斐ノ白根山ニ發シ、駿河灣ニ注ク、此河ハ東海道中有名ノ大河ニシテ、平時ハ流水縷ノ如ク、河床半ハ露出スレトモ、雨後ハ膨漲甚シ、舊幕ノ時代天下ノ一大要害

ト稱シ、故ラニ橋梁ヲ架セス、行旅渡丁ノ肩ニ倚リ、或ハ蓮臺ニ駕シテ之ヲ渡リタレトモ、今ハ架橋完備シテ、昔時ノ難艱モ只想像スルノ外ナシ、三河ニハ豊川、矢作川、大平川ノ三川アリ、三河ノ名ハ之ニ因メルモノナリ、豊川ハ國ノ東部ニアリ、矢作川(二十一里)ハ國ノ中央ヲ流レ、大平川ヲ合セテ海ニ入ル、尾張ニハ中央ニ庄内川アリ、上流ヲ玉野川ト云フ、伊勢内海ニ注ク、伊勢ニハ中央ニ雲津川アリ、以テ全國ヲ南勢、北勢ノ二ニ區別ス、南部ニ宮川(十五里)、櫛田川(二十二里)アリ、共ニ西境ノ山中ニ發シ、東流シテ伊勢海ニ注ク、伊賀ニ伊賀名張ノ二流アリ、西下シテ山城ニ入ル、名張川ノ溪間ニハ、月ヶ瀬ト稱スル梅花ノ名所アリ、

(湖沼) 本道頗ル湖沼ニ富ム、而シテ其大ナルモノハ多ク、東部地方ニアリ、即チ霞浦、北浦及印幡沼等ニシテ、就中霞浦ヲ最トナス、常陸

ノ南部ニアリ、周回三十六里、面積七方里餘ニシテ、近江ノ琵琶湖ニ次クノ大湖タリ、湖中ニハ近時小汽船往來シテ、沿岸各地ノ運送ヲ便ニス、霞浦ノ東ニ北浦アリ、周回凡ソ十五里、以上兩湖ノ水相合フ處ヲ浪逆浦ト云フ、其水ハ南流シテ利根川ト共ニ銚子港ニ注ク、印幡沼ハ下總ノ中央ニアリ、周回十二里、其形屈曲シテ南沼、北沼ニ分レタリ、此他周回一里以上ノモノ、伊勢ニ笠田池、風早池、五桂池アリ、尾張ニ入鹿池アリ、遠江ニ佐島湖、高塚湖アリ、甲斐ノ川口、周回四里十八丁、山中(三里十八丁)、木栖(三里餘)、西精進、四尾連ノ六湖ハ、駿河ノ富士沼及相模ノ蘆湖(四里三十丁)ト共ニ富士八湖ト稱ス、蘆湖ハ箱根山中ニアリ、山綠ニ水清ク避暑ニ宜シ、湖畔ニハ近年離宮ヲ設ケラル、以上ノ外、上總ニ島喰池アリ、下總ニ手賀沼、長沼、座生沼、長井戸沼、鵜戸沼、菅生沼アリ、常陸ニ牛久沼(六里六丁)、澗沼(七里)、大寶沼(三里)

平須沼・神池・千波沼・砂沼等アリ、
 (鑛泉) 鑛泉モ亦其數四十ヶ處ノ多キアリ、就中伊豆ノ十七ヶ處ヲ
 最多トシ、相模ノ九ヶ處之ニ次ク、此他ハ僅少ニシテ全ク之ナキモ
 ノ伊賀・志摩・尾張・三河・遠江・安房・上總・下總ノ八國トス、鑛泉場ノ最モ
 著名ナルハ伊豆ノ熱海ニシテ、伊豆半島ノ地頸ニアリ、相模灘ニ濱
 ス、泉質硫黃鹽氣ヲ含ム、其地溫暖ナルヲ以テ、冬季ニハ貴顯縉士東
 京ヨリ來遊スルモノ多ク、浴客頗ル雜沓ス、此溫泉ハ間歇泉ト稱シ、
 晝夜各三回ノ噴出アリ、毎日其時ヲ違ヘス、我邦ニ於テハ他ニ此類
 ナ見ス、熱海ニ次クモノハ、相模ノ湯本・塔澤宮下・堂ヶ島・底倉・木賀・蘆
 湯等ニシテ、共ニ箱根山中ニアリ、之ヲ箱根七湯ト稱ス、就中湯本宮
 下ノ兩處尤モ盛ナリ、其地清涼ニシテ三伏ノ候暑ヲ感セス、夏期ニ
 ハ避暑ノ浴客輻輳ス、其他伊豆ニハ修善寺・土肥・古奈・畑毛・上船原・湯

ヶ島・松原等ノ浴場アリ、甲斐ニハ湯村・川村・鹽山下部村、武藏ニハ小
 河内・芝原、伊勢ニハ湯山・御館等ノ鑛泉アリ、
 (平原) 本道ノ平原ハ關八州ノ平野及尾張地方ヲ最トナス、關八州
 ノ平野ハ本邦稀有ノ沃野ニシテ、相模以東本道中ノ六州ト、東山道
 ナル上野・下野ノ兩州ニ連リ、方五六十里ニ亘ル、就中下總ハ最モ低
 平ニシテ、四望曠漠、一ノ山岳ヲ見ス、習志野・小金ヶ原ハ此ニアリ、關
 八州ノ平野中、武藏ノ秩父山以東東京灣ニ至ルノ間ハ、所謂ル武藏
 野ノ原ニシテ、昔時ハ寂寥無人ノ荒野ナリシカ、三百年前德川氏霸
 府ヲ其東隅江戸ニ開キシヨリ、開墾ノ功歲々相加ハリ、今ヤ田畝開
 ケ村里相連リ、殆ト尺寸ノ遺地ナキニ至リ、諸穀饒熟セリ、尾張ハ西
 南境ニ二三ノ小嶺アルノ外ハ、全國平坦ノ沃野ニシテ、美濃ニ連ル、
 所謂ル濃尾ノ平野是ナリ、米・綿等ヲ産ス、

此他諸國モ沿海ノ地ハ概テ一帯ニ平坦ニシテ三河灣邊ニ本野原アリ、遠江ノ海濱ニ牧野原三方原ノ廣野アリ、三方原ハ有名ノ牧場ニシテ、古之ヲ引馬野ト呼ヘリ、駿河ニ於テ富士ノ裾野ト稱スルハ、富士南麓ノ廣原ニシテ、浮島原トハ愛鷹山・田子浦間ノ平地ナリ、傳ヘ云フ、此地ハ上古海ナリシカ、後世海底隆起シテ陸地トナリシモノナリト、

(氣候) 本道ノ地タル、南北ニ短ク東西ニ長クシテ、殆ト同緯度ノ間ニ横ハレトモ、南ニ黒潮ノ溫流ヲ受ケ、北ニ崎嶇タル連山ヲ負ヒ、中部諸國ハ山勝ニ、東西ノ兩端ニハ平坦ノ地アリ、故ニ氣候モ亦各地多少ノ差ナキヲ得ス、熱海ノ冬溫暖ニシテ、箱根ノ夏冷涼ナル、甲府ノ嚴寒アルモ、筑波町ニ霜雪ヲ見サルハ即チ其一例ナリ、然レトモ地面南ニ開ケテ、暖溫ナル太平洋ノ風ヲ受クルカ故ニ、全道氣候一

般ニ暖カニ降雨ノ量亦頗ル多シ、但シ伊豆七島ノ内、八丈島及小笠原群島ハ熱帶ニ近キカ故ニ、頗ル炎熱ニシテ熱帶ノ植物鬱蒼トシテ繁茂セリ、左ニ本道内氣候測候所ノ報告ニ關スル溫度及雨量明治廿二年ヲ掲ク、

	最高溫 度分	最低溫 度分	平均溫 度分	總雨量 佛厘
銚子	三三、六	三、九	一四、七	一、四三九、八
東京	三三、三	八、一	一三、三	一、三一九、三
沼津	三二、四	六、五	一四、七	一、九八六、一
濱松	三四、三	三、二	一四、六	一、九五、一、六

(物産) 伊勢・尾張及武藏ノ低地ハ、地味一般ニ肥沃ナレハ、農業大ニ開ケ、五穀・綿・茶・蔬菜・果物等ノ栽培盛ニシテ、中ニモ尾張ノ米・麥・綿・藍大根最モ世ニ顯ハル、此他ノ地方ハ肥瘠相半シテ、茶・桑・烟草等ニ適

シ、三河ノ綿、遠江・駿河ノ茶、常陸ノ烟草、甲州ノ蠶絲、葡萄等殊ニ著名ナリ、志摩・伊豆及安房ノ諸半島ハ土地概テ礫礫ナレハ、著シキ農産物稀ナリ、但シ伊豆天城山ノ山林ハ有名ナル林区ニシテ、檜・樅其他ノ良材ニ富ミ、而シテ其山葵ハ此地特有ノ名産タリ、本道ハ各種ノ製品ニ富ム、殊ニ織物ハ第一ニシテ、武藏ノ秩父絹・八王子織物、甲斐ノ郡内織、甲斐絹、山繭織、下總ノ結城紬、銚子縮、尾張ノ鳴海絞、伊勢ノ縵子・紗・松坂縞、八丈島ノ八丈縞等ハ、其名海内ニ高シ、左ニ重モナル數縣ノ織物量數表(明治二十一年)ヲ示ス、

絹織物

木綿織物

- | | | |
|------|----------|------------|
| 山梨縣 | 五八六、〇六一反 | |
| 埼玉縣 | 一七九、一四三反 | 二、六二九、三二六反 |
| 神奈川縣 | 一六七、九七五反 | 九一七、七一二反 |

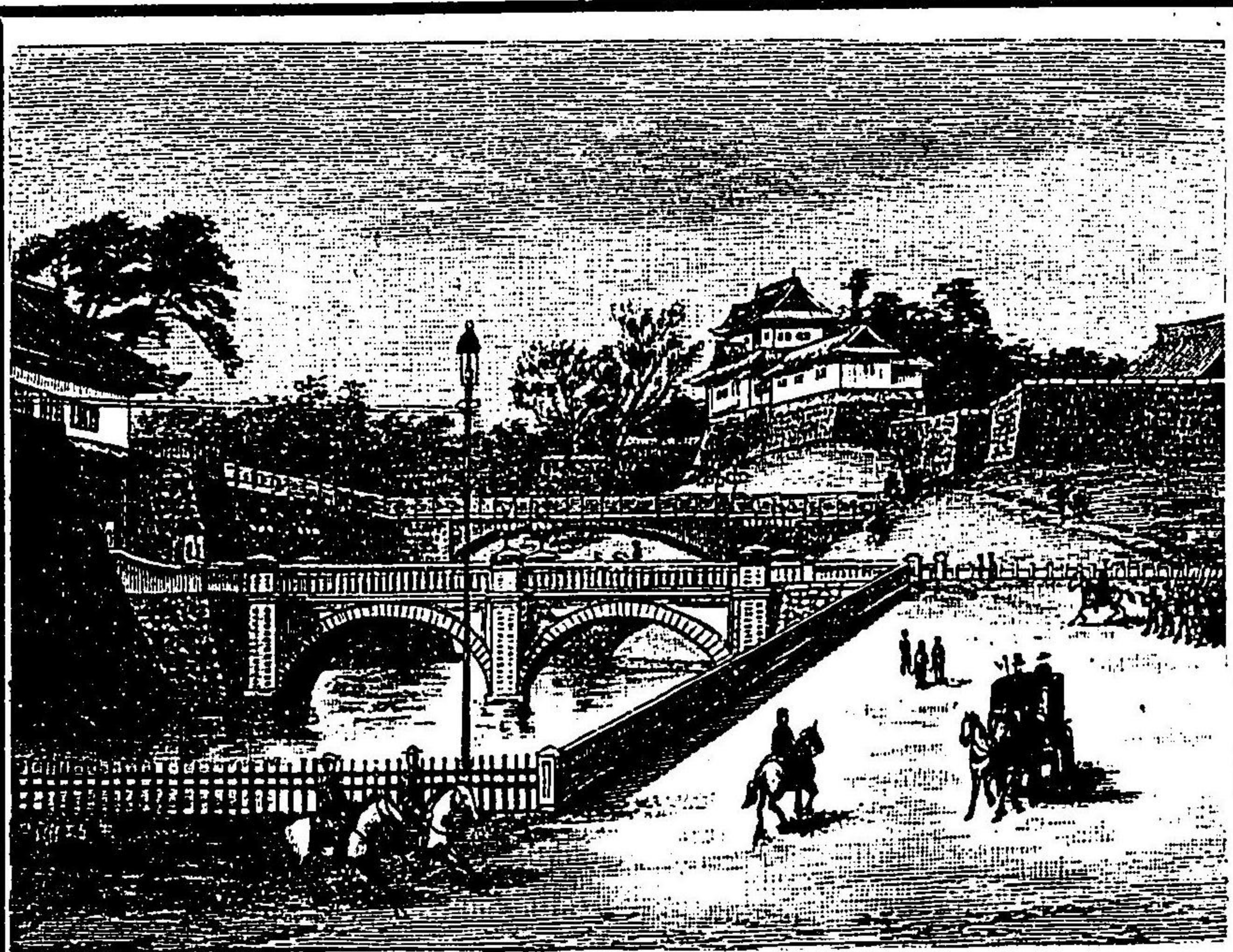
愛知縣

二、六一五、三一八反

陶器ハ伊勢・尾張地方最モ盛ニシテ、伊勢ノ萬古燒、尾張ノ瀬戸燒、七寶燒、犬山燒ハ世ニ其名高シ、殊ニ瀬戸ハ陶器ノ製造最モ舊ク、其名ニ因ミ陶器ヲ瀬戸物ト稱スルニ至レリ、此他諸種ノ製造品中、著名ナルモノヲ舉クレハ、伊勢ノ染形紙、尾張ノ名古屋扇、駿河ノ駿府細工、駿府塗、駿河半紙、伊豆ノ雁皮紙、相模ノ貝細工、武藏ノ川口鐵物、淺草海苔、下總ノ流山味醂、野田醬油、佐原酒、佐倉炭、行德鹽、常陸ノ紙類、銅器等ナリ、

漁業ハ伊勢海、駿河灣、相模灣及九十九里濱最モ盛ニシテ、諸種ノ魚介海藻等ヲ産ス、就中伊勢ノ海蝦、時雨蛤、志摩ノ眞珠、駿河ノ興津鯛、相模ノ鰹及上總・下總ノ鰻等ハ最モ著名ナルモノタリ、
鑛産中金屬ハ甚々豊ナリト云フヘカラス、金ノ如キハ僅ニ伊豆・甲

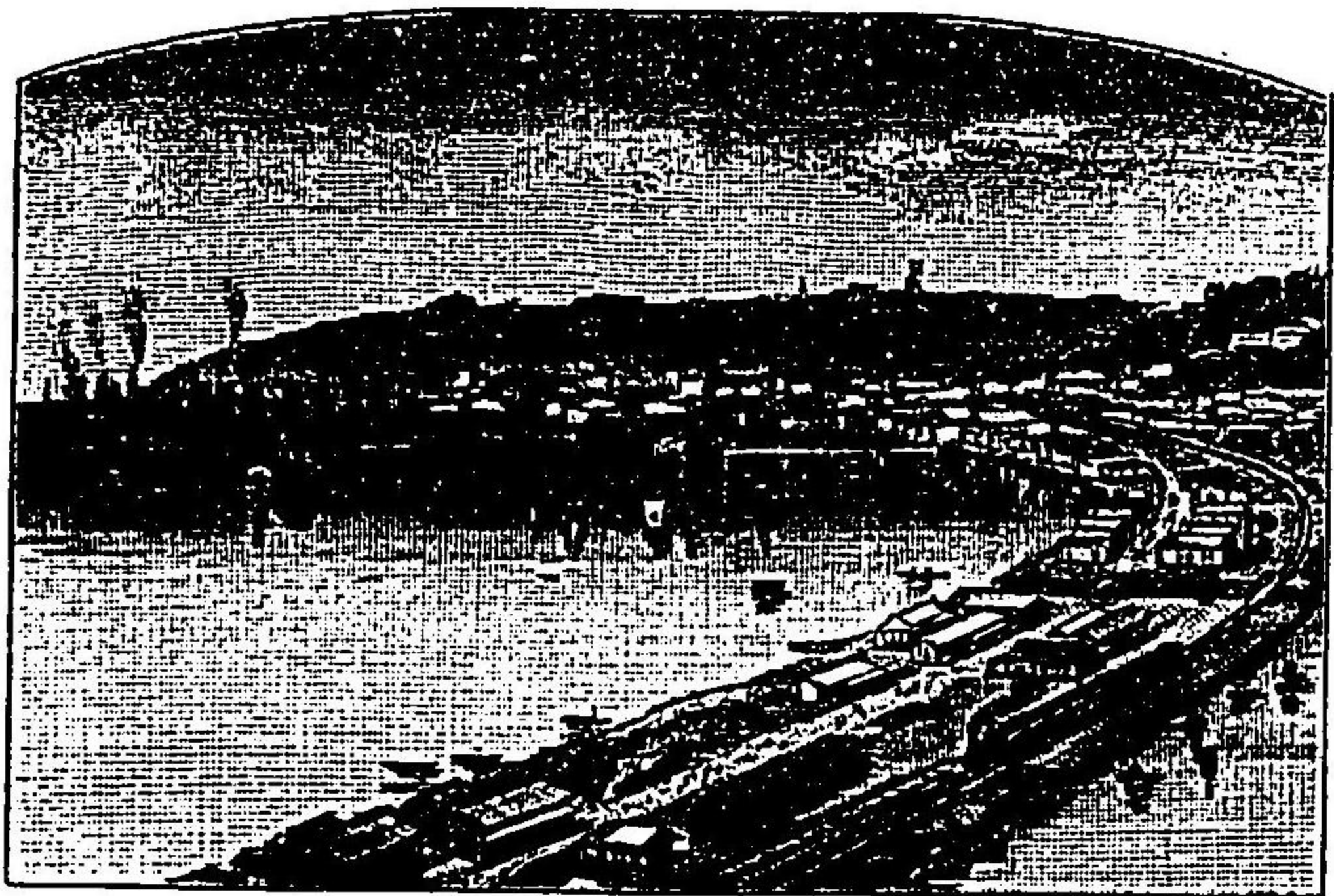
斐ヨリ少量ヲ産スルノミ、然レトモ非金屬中、三河ノ御影石、名倉砥、遠江ノ石腦油(採掘高三千餘石)甲斐ノ水晶、雨畑硯、伊豆ノ石材、安房ノ石材及磨砂、常陸ノ石炭、大理石等ハ亦名ヲ得タルモノトス、(都市)本道ニハ著名殷賑ノ都市甚タ多シ、就中武藏ノ東京、横濱、尾張ノ名古屋、駿河ノ静岡等ヲ最トナス、東京ハ我國ノ首府ニシテ東洋稀有ノ大都會タリ、人口百三十一萬三千二百九十九、東京府廳ヲ茲ニ置ク、宮城ヲ始メトシ各官省ノ所在地タリ、其地西經百三十九度四十六分、北緯三十五度四十一分ニ位シ、東京灣ノ北西岸ニ依リ、隅田川其東部ヲ貫流ス、地勢大率平坦ニシテ只一二小丘其西北ニ斷續スルノミ、其廣袤東西三里、南北四里、全市ヲ分ケテ十五區トナス、街路ハ清潔ニシテ、夜間ハ無數ノ瓦斯燈、電氣燈輝々トシテ晝ノ如ク、車馬ノ往來日夜絶エス、行人常ニ



絡繹タリ、十五區中、京橋、日本橋及神田ノ三區最モ繁盛ニシテ、殊ニ京橋銀座通ノ如キハ煉瓦石造ノ家屋軒ヲ竝ヘ、商業甚タ盛ニシテ宛然歐洲ノ大都ヲ見ルカ如シ、京橋ノ南ナル築地ニハ、外國人ノ居留地アリ、宮城ハ府ノ中央ニ巍峙シ、繞ラスニ溝塹ヲ以テス、諸官衙兵營等大概其周邊ニアリ、此府ハ我邦文明ノ中心ニシテ、大學校、高等師範學

校・中學校、其他各種ノ高尚ナル公私立學校、病院、博物館、銀行、鐵道、停車場、各種ノ製造場、會社、神社、佛閣等ノ宏壯巨大ナルモノ枚舉スルニ遑アラズ、市街ノ間ニハ、縱横ニ運河ヲ通シ、鐵道線路ハ府ノ南北兩端ヨリ發シテ、一方ハ東海・山陽兩線路ニ連リ、一方ハ中山道及奧羽地方ニ達シ、其交通運輸ノ便至ラサル所ナシ、府ノ内外ニハ、名勝遊覽ノ地多ク、上野・芝・淺草ニハ大ナル公園アリ、向島及飛鳥山ハ櫻花ノ名所タリ、此他龜戸ノ梅瀧ノ川ノ紅葉等亦著名ナルモノナリ、東京ハ元ト江戸ト稱シ、二百七十餘年間、徳川氏ノ覇府ヲ構ヘタル處ナリシカ、明治元年、乘輿東ニ臨ミテヨリ、名ヲ更メテ東京ト稱シ、遂ニ帝國ノ首府トナレリ、

横濱ハ東京ヲ距ルコト八里許、東京灣ノ西岸ニ位シテ、我邦第一ノ開港場タリ、東ハ遙ニ北米ノ桑港ニ通シ、西ハ上海・香港・印度及歐洲



ト連絡ス、本牧岬其南東ニ突出シ、港内廣闊、其深サ八仞ヨリ十仞ニ達シ、内外ノ大艦巨舶常ニ輻輳セリ、市街ハ港ノ南岸ニ臨ミ、頗ル清潔ニシテ建築亦觀ルヘキモノ頗ル多シ、神奈川縣廳茲ニアリ、人口十一萬八千九百四十七、外國貿易尤モ盛ナリ、明治二十二年中、内外船舶ノ此港ニ出入セシモノ左ノ如シ、

以テ其盛況ヲトスヘシ、

出船		艘數	噸數
內國	四五	七九、〇三三	
外國	二九七	四八〇、四〇七	

入船

内國

五三

七七、八九一

外國

二一五

三七〇、三七二

名古屋ハ三府ニ次ク大都會ニシテ、尾張平野ノ南部ニ位シ、東海道ノ衝ニ當ル、愛知縣廳茲ニアリ、市街ハ數里ニ連リ水陸運輸ノ便ヲ占ム、其繁盛今日ニ至リテハ蓋シ西京ノ右ニ出ツヘシ、名古屋城ハ慶長十五年、徳川義直ノ建築セシ處ニシテ、其天主臺上ニ安置セル黄金ノ鯨ト共ニ其名世ニ高シ、市人ハ商業ニ敏ク製造ニ巧ニシテ、諸種ノ製品ヲ出ス、近郷ハ陶器ノ製造ヲ以テ著名ナリ、静岡ハ駿河國安倍川ノ東畔ニアリ、静岡縣廳ノ所在地タリ、明治以前ハ之ヲ府中ト稱ス、故ニ又駿府ノ名アリ、徳川家康老後隱退ノ所トス、市街頗ル繁盛ニシテ、清水港ト相距ルコト僅ニ三里、漆器、竹器ノ産ヲ以テ名アリ、此他置治都市ニハ、伊勢ノ津、甲斐ノ甲府、武藏ノ

浦和、下總ノ千葉、常陸ノ水戸アリ、皆頗ル繁盛ナル都會タリ、右ノ外國著名ノ都市ヲ舉クレハ、伊賀ニ上野、名張アリ、伊勢ニ山田、桑名、松坂及四日市アリ、山田ハ宮川ノ右岸ニアリテ豊受太神宮ヲ祀ル、之ヲ外宮ト稱シ、近郷宇治ノ皇太神宮ヲ内宮ト云フ、賽客常ニ四方ヨリ群至ス、志摩ニ鳥羽アリ、尾張ニ熱田アリ、熱田神宮ノアル處ナルヲ以テ、單ニ之ヲ宮ト稱ス、伊勢ニ渡ルノ要津タリ、三河ニ岡崎及豊橋アリ、岡崎ハ矢作川ノ東岸ニアリ、元ト徳川氏基業ノ地ニシテ、歴史上名アルノ地ナリ、遠江ニ濱松アリ、駿河ニ沼津アリ、相模ニ小田原及横須賀アリ、小田原ハ箱根ノ東麓ニアリテ、山ヲ負ヒ海ニ臨ミ、頗ル要害ノ地ニシテ、昔時北條氏ノ居城タリ、横須賀ハ觀音崎ノ岬北ニアリテ、壯大ナル造船所アリ、海軍鎮守府ヲ茲ニ置キ、港内ニハ軍艦常ニ碇泊ス、武藏ニ品川、八王子、川越、千住及神奈川等アリ、皆

往時有名ノ宿驛ナリ、安房ノ館山、上總ノ木更津、下總ノ銚子・船橋等
モ亦皆頗ル繁華ナリトス、
今更ニ人口一萬以上ノ都市ヲ表示スレハ次ノ如シ、

伊賀	上野	一二、八七一八
伊勢	山田	二一、七一五人
	桑名	一〇、七二七人
	津	一六、〇三一人
	四日市	一三、八六二人
	松坂	一二、三一七人
尾張	名古屋	一五四、九八一人
	熱田	一七、五二九人
三河	豐橋	一一、六四五人
	岡崎	一三、二二三三人
遠江	濱松	一三、九一九人

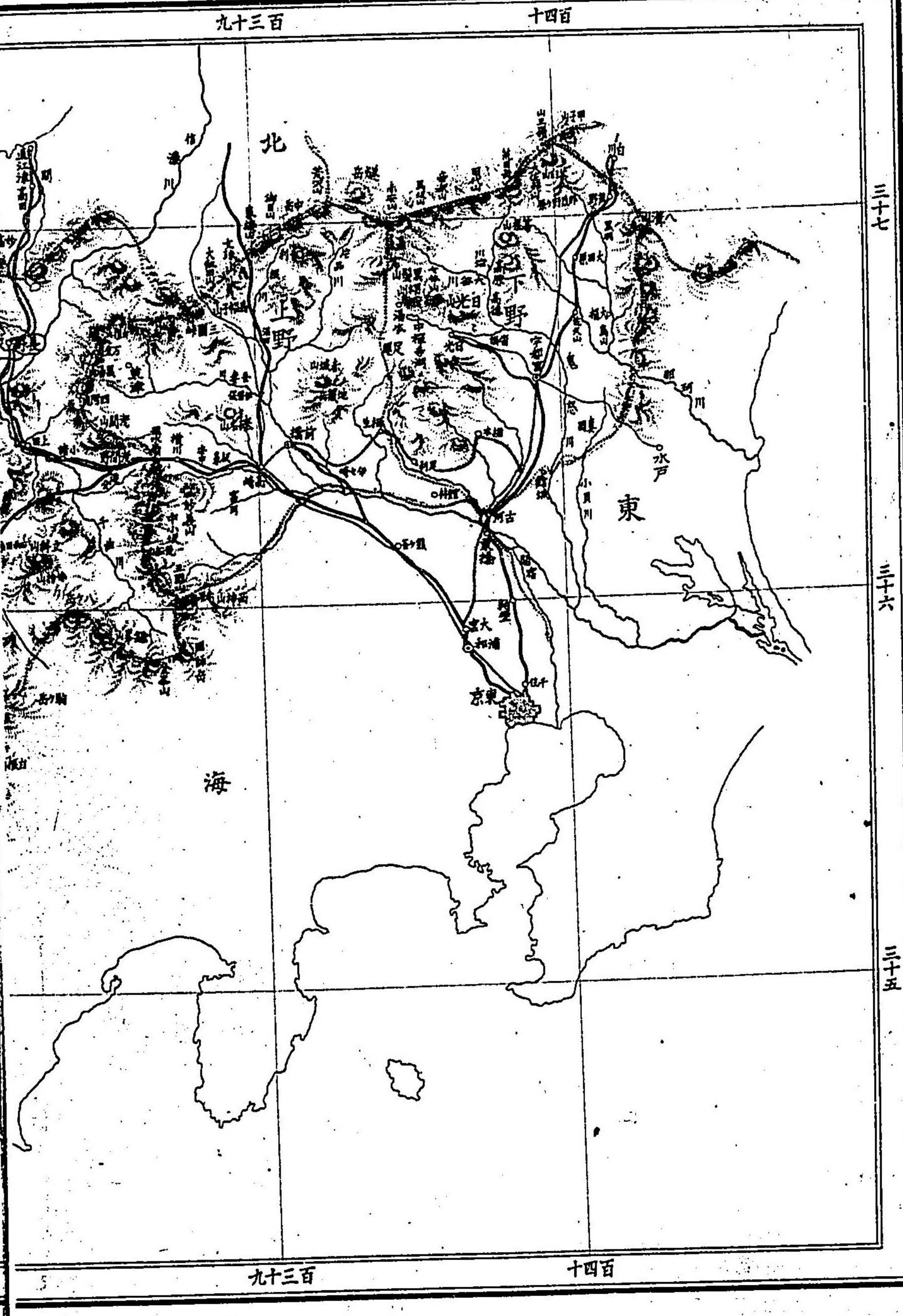
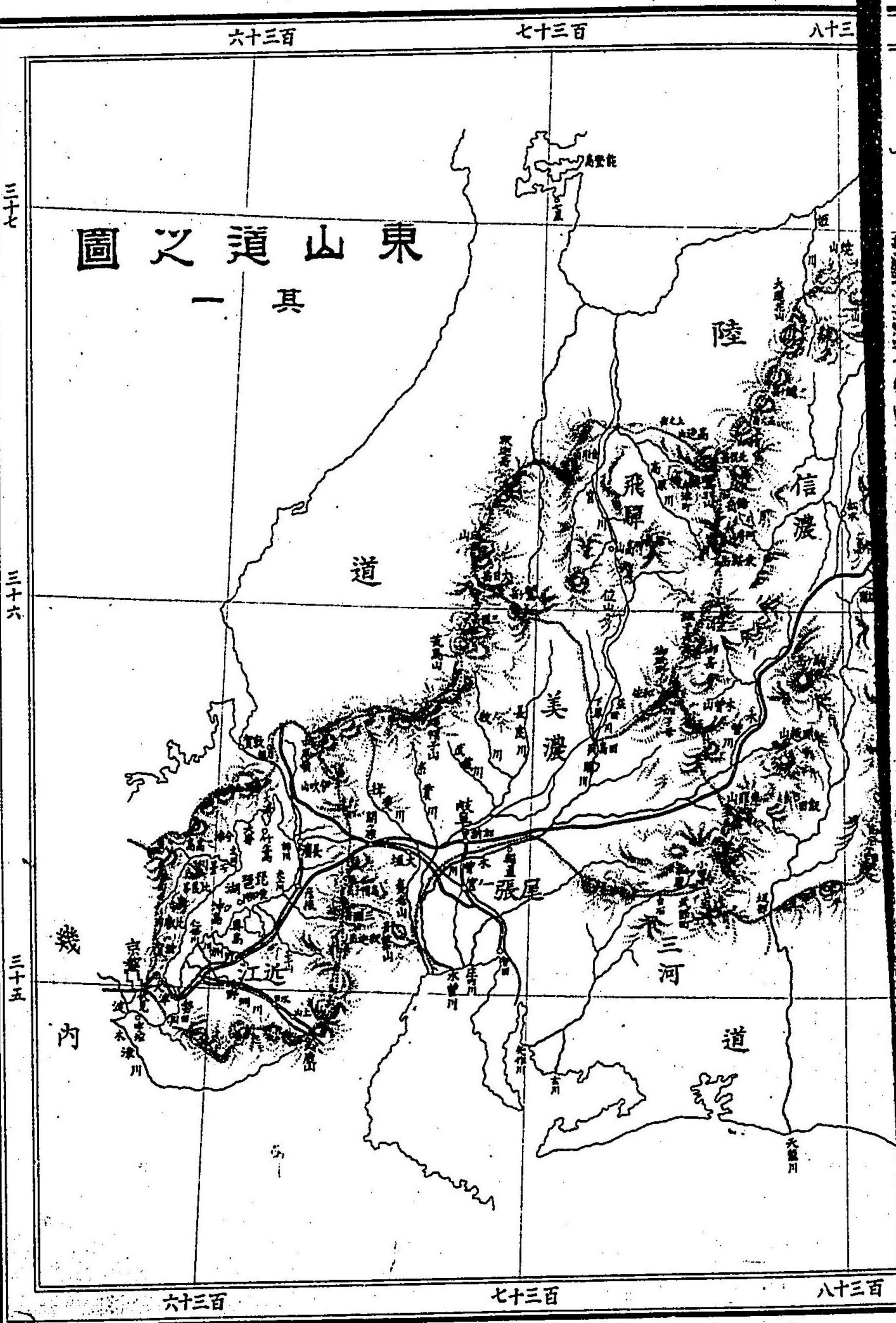
駿河	静岡	四〇、五五五人
	沼津	一〇、〇八九人
甲斐	甲府	二四、四六八人
	小田原	一四、七四九人
相模	横須賀	三一、五九八人
	東京	一、三一三、二九九人
	横濱	一一八、九四七人
武藏	品川	一六、三五八人
	八王子	一九、三二〇人
	川越	一七、〇四五人
	千住	一三、四三八人
	神奈川	一一、三七八人
	銚子	二七、〇三三人
下總	千葉	二〇、三二四人
	船橋	一一、三二二人

四 東山道

(位置廣袤人口) 東山道ハ本邦ノ五畿八道中、尤モ雄大ナルモノニシテ西ハ本洲ノ中部琵琶湖ノ西方ヨリ起リ、東ニ向ヒテ東海・北陸兩道ノ中間ヲ走過シ、更ニ北折延長シテ、頭首ハ遙ニ北海道ニ迫レリ、本道ノ西半ハ西畿内及山陰道ニ連リ、南方ハ東海道ト交接シ、北方ハ連山ニ依リテ北陸道ト界ヲ分ツ、而シテ北半ノ東方ハ大平洋ニ瀕シ、西方ハ日本海ニ臨ミ、北端ハ津輕海峽ヲ隔テ、蝦夷島ト相對ス、其西半即チ東海・北陸兩道ノ間ニ介マル部分ヲ中山道ト稱シ、北半即チ太平洋・日本海ノ間ニ延出スル部分ヲ奥羽ト云フ、廣袤ハ長サ二百八十餘里、幅最モ廣キ處五十三里、面積六千八百四十九方里、人口八百三十四萬千五百八十八、即チ一方里ニ對スル住民僅ニ

圖之道山東

一其



千二百十七人ニシテ、北海道ヲ除キ本邦中人煙最モ稀疎ナル地方トス、殊ニ奥羽ハ住民一層閑疎ニシテ、之ヲ中山道ニ比スレハ一方里内ニ五百五十人ノ差アリ、
 (區劃) 全道十三ヶ國、七市一百六十四郡ニ別レ、十一縣ヲ以テ之ヲ分轄ス、左ノ如シ、

近江 十三郡

滋賀・栗太・野洲・甲賀
 蒲生・神崎・愛知・犬上・坂田
 東淺井・伊香・西淺井・高島

滋賀縣

一市 岐阜

美濃

廿二郡

厚見・各務・方縣・羽栗・中島
 海西・下石津・多藝・上石津
 不破・安八・大野・池田・本巢
 席田・山縣・武儀・郡上・加茂
 可兒・土岐・惠那

岐阜縣

飛驒 三郡

大野・益田・吉城
南佐久・北佐久・小縣・諏訪

上伊那・西筑摩・東筑摩

信濃 十六郡

下伊那・南安曇・北安曇

更級・埴科・上高井・下高井

上水内・下水内

東群馬・南勢多・西群馬

片岡・綠野・多胡・南甘樂

上野 十七郡

北甘樂・碓氷・吾妻・利根

北勢多・山田・新田・邑樂

佐位・那波

下野 九郡

河内・上都賀・芳賀・下都賀

鹽谷・那須・安蘇・足利・梁田

東白川・西白川・石川・田村

菊多・行方・磐前・磐城・檜葉

標葉・宇多

磐城 十四郡

福島縣

栃木縣

群馬縣

長野縣

宮城縣

岩代 十郡

刈田・伊具・亘理
信夫・伊達・安積・安達・岩瀬

福島縣

大沼

陸前 一市

仙臺
柴田・名取・宮城・黒川・加美

宮城縣

志田・玉造・遠田・栗田・登米

桃生・牡鹿・本吉

氣仙

盛岡
南岩手・北岩手・紫波・裨貫

岩手縣

東和賀・西和賀・膽澤・江刺

西磐井・東磐井・西閉伊

南閉伊・東閉伊・中閉伊

北閉伊・南九戸・北九戸

鹿角

秋田縣

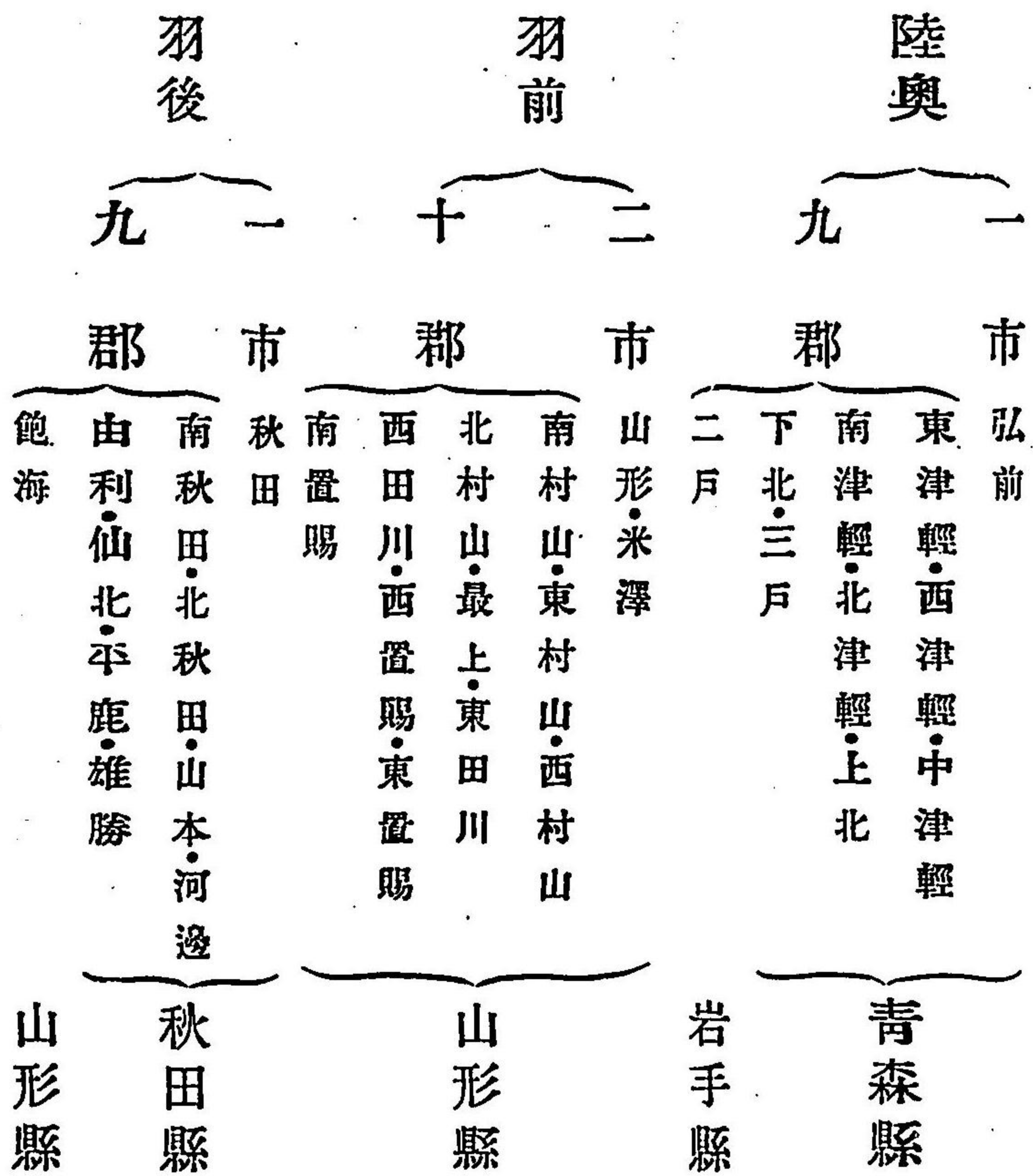
陸中 一市

盛岡

十八郡

鹿角

(海岸) 本道中、海ニ瀕セルハ唯北東、奥羽ノ地方ノミ、其太平洋ニ面



スル處、大灣大岬ナシト雖モ小出入極テ多ク、恰モ鋸齒ノ狀ナナス、之ニ反シテ、日本海ノ沿岸ハ出入至テ稀ニシテ、海濱概テ平沙ナリ、其海灣ノ大ナルモノ陸奥内海ヲ以テ最トナシ、仙臺灣之ニ次ク、半島ニハ北郡及牡鹿等アリ、

陸奥内海ハ奥羽ノ北端陸奥ニアリ、東西凡ソ十五里、南北十里、沿岸凡ソ五十里許、北郡半島北津輕郡ト左右相對シテ此内海ヲ擁ス、海口ナ平館海峡ト云フ、内海ハ南方ヨリ夏泊崎中央ニ突出シテ、野邊地・青森ノ二灣ニ分ル、北津輕郡ノ最北角ヲ龍飛崎ト稱シ、北海道渡島ノ白神崎ト相對シテ、其間僅ニ五里ニ過キス、是日本海ト太平洋ト相交通スル峽路ニシテ、潮流急駛舟行危難ナリ、北郡半島ハ一條ノ地頸ニ由リテ本洲ニ連リ、北端ニ大間岬アリ、東端ニ尻矢岬アリ、尻矢岬ハ本洲東海岸ノ最北端ニシテ、箱館港ノ航路ニ當リ、暗礁海

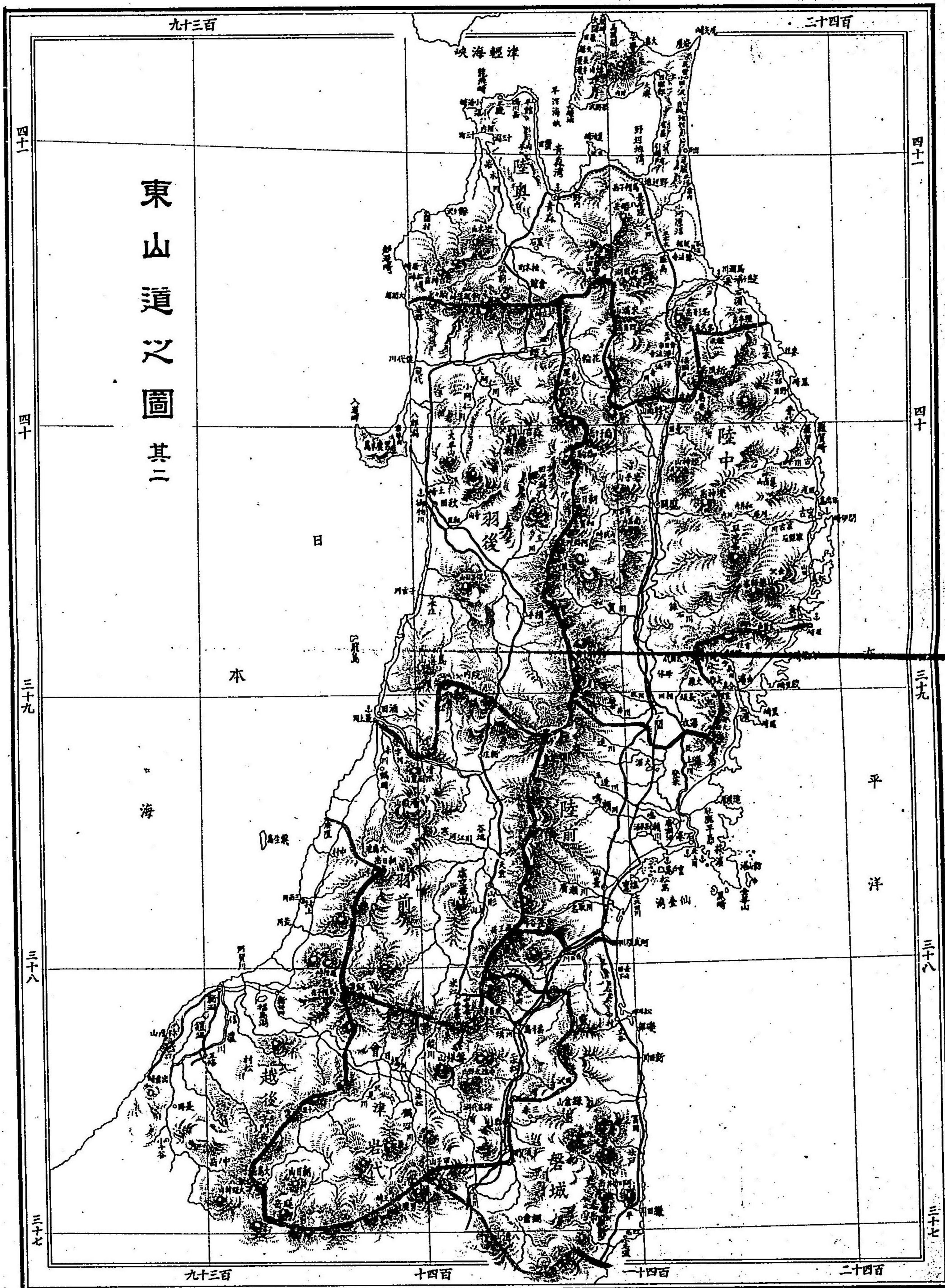
中ニ延出スルコト三里、且ツ海霧常ニ深キカ故ニ燈臺霧鐘ノ設ケアリ、
 仙臺灣ハ太平洋海岸ノ大灣ニシテ、陸前國ノ南東ニアリ、牡鹿半島其北東ニ突出スルコト五里、其端ヲ黒岬ト云フ、金華山ハ岬端ニ近キ海中ニ孤立セル一島ニシテ、周回凡ソ三里半、全島巨岩嵯峨トシテ奇觀多シ、仙臺灣内ニハ松島アリ、日本三景ノ一ニシテ、數百ノ小島海中ニ散布シ、島上悉ク翠松ヲ戴キ、風景極テ愛スヘシ、
 牡鹿半島ハ日本海ノ沿岸中、最大無二ノ屈曲部ニシテ東西四里、南北三里、周回凡ソ二十五里、東面ハ八郎瀧ヲ抱キ、寒風山其岸上ニ峙テリ、

(港津) 港津ノ著名ナルモノ磐城ニ小名濱港(三)アリ、陸前ニ於テ仙臺灣内ニ石卷(五)野蒜(六)野蒜(六)野蒜(六)ノ三港アリ、陸中ニ宮古

(三)釜石(六)ノ二港アリ、陸奥ノ内海ニ青森(八)野邊地(七)ノ二港アリ、羽後ニ酒田(一)能代(一)ノ二港アリ、就中石卷青森宮古及酒田ノ諸港ハ其最モ著ハル、モノタリ、
 (地勢) 本道ノ各國ハ皆險峻ナル山嶺多クシテ、其高山ニ富メルコト各道中ノ第一ニ位シ、東山道ノ名實ニ空シカラス、西部即チ中山道地方ハ、東西南北ノ兩派及富士帶等ノ諸山脈、交互錯雜シ、地勢一般ニ隆起シテ、山峯相連リ、東海北陸兩道ノ脊梁ヲナス、殊ニ信飛兩州ノ地ハ高峻ヲ極メ、平地ト雖モ海面ヲ抜クコト往々一千尺乃至二千尺以上ニ達シ、皇國第一ノ高地方タリ、奥羽地方ハ地勢稍低平ニシテ、第二南北派ノ中央火山脈ヲ中線トシ、地面太平洋日本海ノ兩沿岸ニ向ヒテ傾斜シ、東岸山脈及西岸火山脈往々崛起シテ高峯ヲ爲セトモ、處々可ナリノ平原ヲ有ス、

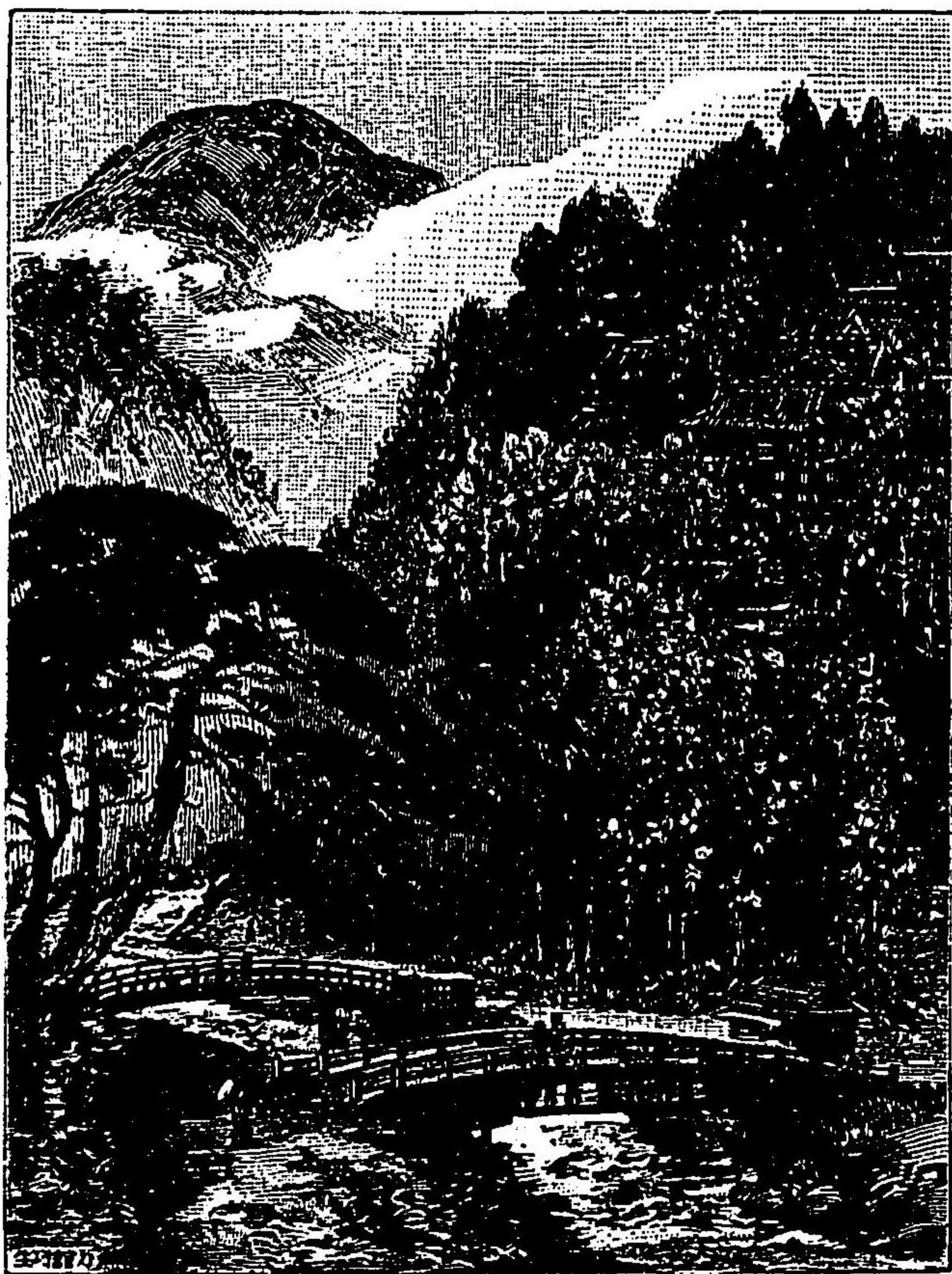
(山岳) 本道ハ前已ニ述ヘタルカ如ク、嶮峻ナル山岳多ク殆ト枚舉ニ違アラズ、今其最モ著名ナルモノヲ舉クレハ、近江ノ湖西ニ比良峯(四、〇五五尺)、湖東ノ南隅ニ甲賀山(四、九六五尺)アリ、三上山(一、九〇八尺)ハ其北方平野ノ間ニ兀立セル秀峯ニシテ、近江富士ノ稱アリ、東方美濃ノ境ニ峙ツモノヲ伊吹山(四、四九七尺)トナス、美濃ノ北境ニ大日岳アリ、飛驒・越前ノ二州ニ跨ル、惠那山(七、三九三尺)東方信濃ノ界ニ峙立スル高山ナリ、三國峠ハ西方伊勢・近江ノ界ニアリ、多藝山其麓ニ連リ、北ニ養老山アリ、山中ノ瀑布ヲ養老ノ瀧ト云フ、古ヨリ名アリ、飛驒ノ東境ニ峙テル高峯ヲ乘鞍岳(九、一〇九尺)トナス、鎗岳・錫杖岳等相連リテ其北ニ聳ユ、是即チ富士帶ノ部ナリ、國ノ中央ナル位山ハ山頂高カラサントモ、山中水松樹ヲ産スルヲ以テ、其名却テ他山ヨリ著ル、信濃ハ殊ニ嶮峻ニシテ、中ニモ西境ノ御嶽一

東山道之圖 其二



○七〇〇尺尤モ高く、山頂常ニ雪ヲ頂キ、草木生長セス、其東方ニ駒ケ岳七、八〇八尺アリ、兩山ノ狹間ハ有名ナル木曾ノ谿谷ニシテ、其長サ十八里ニ亘ル、東ノ方駿河ノ境ニ近ク赤石山一〇、二二四尺アリ、御岳ニ次ク高山ナリ、國ノ北邊ニハ黒姫六、九一四尺、高妻八、三二〇尺、乙妻五、〇七七尺等ノ諸山競立ス、嫉捨山ハ國ノ中央ニアリ、東千曲川ヲ隔テ、鏡臺山ト相對シ、觀月ノ勝地タリ、田毎ノ月ト稱スルモノ是ナリ、鏡臺山ノ東方上野ノ境ニ淺間山八、二三〇尺アリ、山頂常ニ烟ヲ吐キ、往々爆發シテ燒土ヲ飛ハス、山麓數里ノ地ハ燒石纍々トシテ樹木ヲ見ス、世ニ之ヲ淺間ノ燒野ト云フ、此山ノ東ノ坂路ハ碓氷峠ニシテ、登降二里半、北陸通路中第一ノ難所タリ、峠ノ南ニ荒船山五、五四五尺アリ、武藏ノ界ニ國師岳八、五五三尺アリ、赤城(六、三二五尺)榛名妙義ノ三山ハ上野ノ中央ニ鼎立シテ、赤城山北東

ニ聳へ、妙義山南西ニ峙ツ、山中巨巖ノ奇秀ヲ以テ聞ユ、榛名山ハ兩山ノ間ニ位シ、山上ニハ榛名湖アリ、古ノ噴火口ニシテ、今ハ純白ノ氷ヲ産ス、山腹ニハ著名ナル伊香保温泉アリ、國ノ北境越後ニ接スル處ニハ、文珠烏帽子三國等ノ諸山相竝ヒテ峻峻ヲ極ム、下野ノ西方ニハ有名ナル日光山アリ、群峯重疊シ男體(八、一九六尺)女體ノ兩高峯卓出ス、男體山ハ又黑髮山ト稱シ、群峰ノ霸王ニシテ山中ニ中禪寺湖アリ、水深クシテ、且ツ澄ミ、老樹岸ヲ掩ヒテ幽邃絕塵ノ地タリ、湖水ハ溢レテ華巖ノ瀧トナル、飛下極テ壯觀ナリ、裏見霧降等ノ瀑布モ亦茲ニアリ、日光山麓ノ東照宮ハ、天下ノ財寶ヲ竭シテ經營シタルモノナレハ、建築壯麗ヲ極メ、觀ル者感賞セサルハナシ、サレハ此嶮奥ナル山溪ハ、天人ノ美巧ヲ兼備シ、加フルニ氣候清涼ナルカ故ニ、三伏ノ間ハ避暑探勝ノ遊客、遙ニ海外ヨリ尋テ至ルモノ多



名ノ那須野カ原ハ其南麓ノ平原ナリ、磐城ニ至レハ東南部海岸ニ

シ、實ニ海内無雙ノ靈境ト稱スルモ溢美ニアラサ日ルナリ、日光ノ西南ニ庚申山アリ、奇秀ノ岩山ニシテ石橋洞門ノ勝アリ、其南ニ足尾ノ銅山アリ、國ノ北境ニ那須岳(六三一〇尺)アリ、有

沿ヒテ、磐城山、關伽井岳(二、三七六尺)、湯岳等アリ、南西隅ニハ甲子山、旭嶽アリ、北西隅ニ荻田岳アリ、陸前ニ於テハ之ヲ藏王岳(五、六〇五尺)ト稱シ、陸前第一ノ高峰タリ、其西方岩代ノ境ニ靈山アリ、岩代ニハ東・中・西ノ吾妻山相竝ヒテ北境ニ聳ヘ、其南ニ安達太郎山アリ、安達太郎山ハ一ニ又二本松岳ト稱シ、二本松ノ傍ニアリ、磐梯山(五、八六四尺)ハ其西方ニ峙立セル高山ニシテ、睡眠火山ニ屬シ、久シク其噴火ヲ熄メタリシカ、明治二十一年七月十五日、霹靂一聲轟然トシテ爆裂シ、岩石燒土ヲ飛散シテ、被害六里四方ニ及ヒ、家屋田圃ヲ埋没シ、人畜ノ死傷夥シク、酸鼻ニ堪ヘサルノ慘狀ヲ呈シタリ、飯豊山ハ北西隅、越後羽前ノ境ニ聳ユル高山ニシテ、盛夏尙ホ雪ヲ遺ス、駒ヶ岳(六、八二〇尺)、燧岳(六、五三四尺)、赤安山(六、四二〇尺)等ハ南西隅ニ連リテ越後上野ノ境ニ接ス、陸前ノ西境ニハ北ニ栗駒岳(五、一七四

尺)アリ、南ニ笹谷峠アリ、中間ニ神仙岳アリ、陸中ノ西境ハ駒形山、和賀山等相連レリ、岩手山(六、七九七尺)及姫神岳(三、五八五尺)ハ國ノ北部ニ峙立シテ、北上川ノ源流ヲ介シ、東西相對向ス、東方海邊ノ連山ハ早池峰(六、二七〇尺)最モ高ク、六角牛山、仙人嶺(二、九三三尺)等アリ、陸奥ノ中央ニハ八甲田山(六、五五三尺)、十和田山、來滿岳等高ク聳エテ、地勢ヲ東西兩部ニ分ツ、西部海岸ニハ岩木山(五、一六一尺)アリ、津輕富士ト稱セラレ、東部海岸ニハ陸中ニ近ク名久井岳アリ、北郡半島ニハ恐山アリ、羽前ノ中央ニハ葉山(四、九七六尺)、月山(六、七八〇尺)、羽黒(三、〇八五尺)、湯殿ノ諸山アリ、其南方ニ朝日岳(六、三三九尺)アリ、其東方ニ虚空藏山アリ、羽後ノ東方ニハ森吉山(四、七〇〇尺)、阿彌陀岳等アリ、中央ニ太平山(六、八九七尺)アリ、南西隅ニ鳥海山(六、八八五尺)アリ、山趾直ニ海ニ迫ル、此處ヲ有耶無耶關ト稱ス、

(河流) 本道ハ地勢深奥ナレハ、其湛ユル河流モ巨川多シ、中ニモ木曾・信濃・阿武隈・北上・最上等ノ諸川ハ最モ有名ノ大川ナリ、木曾川ハ源ヲ信濃ノ筑摩郡荻曾村ニ發シ、南西ニ向ヒテ流下シ、木曾山中ニ於テ激流急湍多ク美濃ニ入り、尾張ノ界ヲ沿流シ、伊勢・尾張ノ界ニ於テ伊勢内海ニ注ク、下流ハ頗ル運輸ノ便利アレトモ、水源ノ地勢高ケレハ、流勢極テ急劇ニシテ、霖雨ノ候ニハ堤防往々壞決シ、美濃ノ平野ニ氾濫シテ害ヲナスコト亦少カラス、信濃川ハ其上流ニ兩枝アリ、一ハ甲斐ノ金峯山ニ發シテ筑摩川トナリ、一ハ信濃ノ西隅ニ起リテ犀川トナル、此二川ハ武田・上杉兩雄ノ古戰場ナル河中島ニ至リテ會合シ、始テ信濃川トナリ、北東流シテ越後ニ入り、遂ニ日本海ニ注ク、流程凡ソ一百里、其六十里ハ本道中ニ在リ、

阿武隈川ハ源ヲ磐城ノ旭嶽及甲子山中雄瀑ニ發シ、北流シテ岩代ノ東部ヲ貫キ、再ヒ磐城ニ入りテ白石川(十八里)ヲ合セ、陸前ノ境ナル荒濱ヨリ太平洋ニ注ク、流程凡ソ五十里、北上川ハ源ヲ陸中ノ北境ナル岩手郡御堂村ニ發シ、雫石・和賀(十五里餘)・衣(十里餘)・磐井(十三里餘)・稗貫・猿石ノ諸水ヲ集メ、南流シテ陸前ニ入り、迫川・江合川等ノ源流ヲ合セ、石卷ニ至リテ仙臺灣ニ注ク、此河ハ本道第一ノ長流ニシテ、長サ凡ソ七十六里、舟楫ノ便少カラス、最上川ハ源ヲ羽前ノ南境ナル大日嶽ニ發シ、北流シテ羽前・羽後ノ境ニ至リ、赤川(十里餘)ヲ合セテ羽後ニ入り、酒田港ニ於テ日本海ニ注ク、其水流急ニシテ日本三急流ノ一ト稱セラル、然レトモ四十里餘ノ間舟楫ヲ通スヘシ、流程凡ソ六十二里アリ、以上諸川ノ外、尙ホ各國ニ於テ稍著名ナルモノヲ摘擧スレハ、近江

ノ湖西ニ安曇川(十里餘)アリ、湖東ニ姉川・愛知川(十里)・仁保川及野洲川(又横田川ト云)等アリ、共ニ琵琶湖ニ注ク、湖水ノ河トナリテ山城ニ入ルモノヲ勢田川ト稱ス、美濃ノ中央ニ洲股川アリ、源ヲ大日岳ニ發シ南流シテ木曾川ニ入ル、長サ三十一里、上流ヲ長良川ト稱ス、鮎魚多シ、夏秋ノ交、夜間漁舟ニ篝火ヲ點シ、數十ノ鵜ヲ放テテ鮎ヲ捕フ、之ヲ鵜飼ト稱ス、亦一奇觀ナリ、此川ノ西部ニハ楫斐川(三十里)ノ一流アリ、尾張伊勢ノ境ニ於テ木曾川ニ會ス、益田川(三十里)ハ飛驒第一ノ大河ニシテ、源ヲ乘鞍岳ノ大池ニ發シ、南流シテ飛驒川トナル、此他飛驒ノ大川ニハ神通川ノ上流ナル宮川(二十二里)・高原川(三十里)及射水川ノ源流白川(十八里)アリ、皆北流シテ越中ニ入ル、信濃ノ南方ヲ流ル、天龍川ハ、諏訪湖水ノ下流ニシテ、遠江ニ入り海ニ朝ス、上野ノ中央ニ利根川アリ、源ヲ北境ノ文珠山ニ發シ、南ニ流

レテ武藏ニ入ル、吾妻川(十六里)及片品川(三十里)ハ左右ヨリ來リ、國ノ中央ニ於テ利根川ニ會ス、烏川(十四里)・甘樂川(十六里)及神流川(二十里)モ亦相合シテ利根川ニ合ス、鬼怒川(三十里)ハ下野第一ノ大河ニシテ上流ヲ大谷川ト云フ、平野ノ間ヲ南流シ常陸下總ヲ經テ利根川ニ入ル、鬼怒川ノ東方ニ那須川アリ、常陸ニ入りテ海ニ注ク、鬼怒川ノ西方ニハ思川(十三里)・渡瀬川(三十里)アリ、共ニ國ノ南境ニ於テ利根川ニ入ル、磐城ニテハ國ノ南境ニ近ク鮫川(十七里)アリ、其北ニ鎌田川(十六里)アリ、共ニ東流シテ海ニ入ル、岩代ノ中部ヲ西流スルモノハ日橋川(二十里餘)ト稱シ、猪苗代湖ノ下流タリ、此河ハ鶴沼川(二十一里)・只見川(三十七里餘)等ヲ合セテ、越後ニ入り阿賀川トナル、鶴沼川ハ源ヲ那須ノ山陰ヨリ發シ、主トシテ會津ノ平野ヲ潤ホス、只見川ハ源ヲ上野ノ界ナル尾瀬沼ヨリ發シ、越後ノ境ニ沿フテ

山間ヲ北流ス、陸前ノ南隅ニハ名取(十二里餘・廣瀬(十五里)ノ二川アリ、下流ハ相會シテ閑上濱ニ注ク、國ノ中央ニ鳴瀬川(二十五里)アリ、西境ノ山間ニ發シ東流シテ野蒜ニ注ク、陸中ノ宮古川(十二里餘)ハ源ヲ兜神山ニ發シ、東流シテ宮古港ニ注ク、陸奥ニ於テ東海ニ注クモノ馬淵(二十五里)相坂(十二里)ノ二川アリ、馬淵川ハ陸中ヨリ來リテ八戸港ニ注ク、相坂川ハ十和田湖ノ下流ニシテ又七戸川ト稱ス、岩木川ハ一名弘前川ト云ヒ、國ノ西南隅ナル山中ニ發シ、北流シテ十三瀉ニ注ク、羽後ニハ北境ニ近ク能代川アリ、上流ヲ米代川ト云フ、陸中ヨリ來リ大阿仁・小阿仁等ノ諸水ヲ合セ、西ニ走リテ能代港ニ至リ日本海ニ朝ス、國ノ中央ニ御物川アリ、源ヲ院内ノ山間ニ發シ、中央ニ於テ玉川(二十七里餘)ヲ合セ、北西ニ流レテ土崎港ニ至リ日本海ニ注ク、能代・御物ノ兩川ハ皆舟運ノ便利アリ、

(湖沼) 本道ニハ湖沼ノ大ナルモノ多ク、中ニモ近江ノ琵琶湖ヲ以テ最トナス、此湖ハ地盤ノ陷没ニ由リテ成レルモノニシテ、東西五里南北十五里、周回凡ソ七十四里、其面積八十方里餘、我邦最大ノ淡湖ニシテ、湖中汽船ヲ以テ往來ス、沖・奥・竹生ノ諸島湖上ニ浮ヒ、湖邊勝地佳觀ニ富ム、之ヲ併セテ近江八景ト稱ス、此湖ノ北岸余吾湖ノ傍ニハ世ニ名高キ賤ヶ岳ノ古戰場アリ、琵琶湖ニ次キテ大ナル者ヲ岩代ノ猪苗代湖トス、周圍十六里廿一町、中央ニ翁島ト云ヘル小島アリ、羽後ノ西岸ニ近ク八郎瀉アリ、一名ヲ琴湖ト云フ、周圍凡ソ十五里、牡鹿半島其西ヲ限り、南ノ方舟越ヨリ一線ノ水路ヲ以テ海水ト交通ス、陸奥ノ西海岸ニ十三瀉(六里十八丁)アリ、東海岸ニ小河原沼(十三里廿四丁)アリ、南境ノ十和田湖ハ陸中ニ亘リ、周回凡ソ十里、其水懸リテ銚子瀉トナル、下流ハ即チ相坂川ナリ、下野日光山中

ニ中禪寺湖(八里)アリ、信濃ノ南中部ニ諏訪湖(四里廿丁)アリ、湖濱ニ諏訪上下ノ神社及溫泉場アリ、湖中處々ニ亦溫泉ヲ湧出ス、以上諸湖ノ外、尙ホ周回三里以上ノモノヲ摘舉スレハ、飛驒ノ大沼(三里)、信濃ノ野尻湖(三里三十丁)、上野ノ尾瀨湖(三里)、板倉池(三里三十二丁)、下野ノ赤間沼(四里)、陸前ノ大沼(三里三十三丁)、長沼(三里五丁)、品井沼(五里二十四丁)、陸奥ノ鷹架沼(六里二十三丁)及羽後ノ田澤潟(三里)等アリ、

(鑛泉) 本道火山脈ニ富ムヲ以テ溫泉極テ多ク、其數總テ百七十、畿内八道中第一ニ位ス、本道中ノ十三國ハ一トシテ鑛泉ヲ有セサルモノナク、就中岩代ノ二十九ヶ處ヲ最多トシ、上野ノ二十二ヶ處、信濃ノ二十一ヶ處之ニ次ク、其最モ著名ナルハ上野ノ伊香保ニシテ榛名山ノ東麓ニアリ、硫黃泉ニ屬シ、痺麻質斯、神經痛、皮膚病ニ宜シ

ク浴客常ニ群集ス、草津、磯部ハ伊香保ニ次キテ著名ナルモノニシテ、下野ノ日光及鹽原モ亦近來浴客甚々多シ、

(平原) 本道ニアリテ平原ト稱スヘキモノ、西部ニ美濃ノ平野アリ、木曾、揖斐、長良ノ諸水其間ヲ環流シ、地味殊ニ豐饒ニシテ牧草水田全野ヲ掩フ、中部兩毛ノ南部ハ關八州ノ平野ノ一部ニシテ田圃相接シ、一望曠然山岳ヲ見ス、其北東那須ノ山趾ニ連ル處ハ、有名ノ那須野カ原ニシテ、近來少シク開墾ニ就ケトモ、過半ハ今尙ホ荒野ナリ、奥羽ニ至レハ會津、米澤ノ二大平原及奥ノ平原アリ、奥ノ平原ハ北上、阿武隈兩河領ノ總稱ニシテ、陸中ノ中央ヨリ南ニ延キ、陸前ニ亘リ岩代、磐城ニ廣カレリ、此他信濃ノ松本平、善光寺平及佐久平、琵琶湖ノ沿岸及海ニ瀕スル地方ハ、土地概テ低平ニシテ耕耘周到セリ、

(氣候) 本道ハ南端北緯三十五度ニ近ク、北隅殆ト四十二度ニ達ス、サレハ其氣候モ南北自ラ多少ノ差違アルコト勿論ナレトモ、土地ノ高低其他ニ依リテ生スヘキ氣候ノ異同亦少シトセス、即チ南部中山道ハ東海・北陸兩道ノ間ニ介マリテ群峯重嶂相連リ、殊ニ飛驒・信濃地方ハ土地一般ニ高ケレハ、寒威モ比較上甚タシク、嚴寒ノ際ニハ諏訪ノ湖面全ク凍合シ、人馬氷上ヲ往來ス、木曾ノ山中ノ如キハ五月花開キ九月麥熟シ、盛夏尙ホ綿袍ヲ着ケ、日光ノ幽溪ハ梅雨期中桃花唇ヲ現ハシ、六月中旬櫻花爛熳タルノ奇觀アリ、然レトモ美濃ノ南部其他低平ノ地ハ氣候一般ニ溫暖ナリ、奥羽地方ハ東方渺々タル太平洋ニ瀕シテ、北洋ノ寒流ニ洗ハレ、西日本海ニ面シテ、亞細亞大陸ヨリノ寒風ヲ受クルカ故ニ、中山道ニ比スレハ尙ホ一層寒冽ニシテ、秋田・青森地方ハ冬季積雪丈餘ニ及ヒ、街道人跡ヲ絶

ツコトアリ、試ニ一年中ノ平均溫度ヲ見ルニ、岐阜青森ノ間ニ於テ五度ノ大差ヲ發見ス、降雨ノ量モ亦南方ニ多クシテ、北部ニ進ムニ從ヒ漸ク減少ス、今左ニ掲クル本道内、氣候觀測所ノ溫度及雨量ニ關スル報告(明治廿二年)ヲ見レハ、各地氣候ノ一斑ヲ窺フニ足ラン、

	最高溫	最低溫	平均溫	總雨量
岐阜	三六、四 ^{度分}	零下四、六 ^{度分}	一三、九 ^{度分}	二、一〇八 ^{佛風}
秋田	三二、一	一四、九	九、五	一、九三七、三
石卷	三一、四	九、七	一〇、二	九三四、三
宮古	三二、二	一二、一	九、一	一、二三九、六
青森	三一、六	一五、一	八、二	一、二九七、六
長野	三三、三	一三、四	一〇、四	八二九、七

(物産) 本道ハ面積廣クシテ風土又區々ナレハ、其物産ノ種類モ亦



生巧録

非常ニ夥シ、美濃・飛驒・信濃・兩
 毛及奥羽ノ山地ハ樹木蒼鬱
 トシテ諸種ノ良材ニ富ム、中
 ニモ信濃木曾山ノ檜ハ品位
 優良、全國無雙ト稱ス、各地平
 原ハ地味概テ肥沃ニシテ、米
 穀・桑茶ノ培植盛ニ、奥羽ハ牧
 場多クシテ良馬名駒ヲ産ス、
 其農産ノ主要ナルモノヲ舉
 クレハ、近江・美濃及奥羽ノ米
 近江ノ信樂・土山茶、信濃ノ更
 科蕎麥、下野ノ鹿沼麻等ニシ

テ、羽後ノ秋田路ハ大ナルヲ以テ、其名世ニ著ハル、
 本道ハ本邦第一ノ養蠶地方ニシテ、蠶絲・蠶卵紙ノ産出夥シ、就中長
 野・群馬及福島ノ三縣ハ、其巨擘ニシテ蒸氣機械ヲ備ヘタル製絲場
 ノ設ケ多シ、殊ニ上州富岡製絲場ノ如キハ極テ盛大ニシテ、皇國第
 一ト稱セラル、左ニ掲クル明治二十一年中ノ産額表ヲ一見セハ、以
 テ其産業ノ盛況ヲト知スヘシ、

長野縣蠶絲	一四二、五七四貫	蠶印紙	九三二、五八〇枚
群馬縣同	一九七、一九二貫	同	一四八、八五九枚
福島縣同	一〇〇、〇二七貫	同	三七七、八二五枚

諸製造品ノ著名ナルモノ、近江ノ長濱縮緬及蚊帳、美濃ノ美濃紙・岐
 阜提灯・飛驒ノ一位細工・信濃ノ上田縞・上野ノ桐生織物(明治二十一
 年、其價額百九十六萬七千八百八十五圓ナリト云フ)・下野ノ眞岡木

綿日光塗、岩代ノ會津蠟燭・二本松紬、陸前ノ仙臺平埋木細工、陸中ノ南部縮緬、陸奥ノ津輕塗、羽前ノ米澤織、最上ノ紅花、羽後ノ秋田畝織、春慶塗等トス、

水産ハ中山道ニ河魚多ク、近江ノ源五郎鮒、勢多川ノ鯉、美濃木曾川ノ鱒、長良川ノ鮎等ハ世人ノ殊ニ賞味スル所タリ、奥羽ハ河海共ニ魚類ニ富ミ、諸川皆鮭鱒ヲ産ス、海魚ハ磐城ノ鯉、鯉ヲ第一トシ、津輕ノ海參、牡鹿半嶋ノ電魚等尤モ著名ナルモノナリ、

鑛屬ハ概テ各國ヨリ之ヲ産ス、現時諸鑛屬ヲ出ス地凡ソ三百八十八ヶ處、就中尤モ著名ナルモノハ岩代ノ半田銀坑、陸中ノ小坂尾去澤ノ兩銀山、釜石ノ鐵坑、羽後院內ノ銀坑、阿仁ノ銅坑、下野足尾ノ銅坑、上野小坂ノ鐵坑等ニシテ、石炭ノ産出ハ磐城ヲ以テ第一トシ、石材ハ多ク美濃ノ山中ヨリ出ツ、左ニ重モナル國々ノ鑛物採掘高明

治二十一年(ヲ示ス、

飛驒	銀	九一八、九六二匁
上野	鐵	一二一、八〇四貫
下野	銅	九八九、九三六貫
磐城	石炭	三、一九一、五二四貫
岩代	金	八、六一三匁
	銀	一、三〇五、五〇七匁
陸中	金	三三、二一二匁
	銀	三、一三二、五一九匁
	銅	一八二、七七一貫
	鐵	一九七、四七八貫
羽後	金	五、四九一匁
	銀	三、二〇七、九五七匁
	銅	四三五、二九〇貫

(都市) 本道第一ノ都市ハ陸前ノ仙臺ニシテ、廣瀬川ノ岸ニアリ、仙臺侯伊達家ノ舊城市ニシテ、今ハ宮城縣廳ノ所在地タリ、市街ハ一里ニ連亘シ、鎮臺アリ、裁判所アリ、高等中學校アリ、其地東京ヲ距ルコト九十三里、東北鐵道線路ニ當リ、奥羽地方商業ノ中心ニシテ頗ル繁盛ノ都會タリ、

其他置縣都市ニハ、近江ニ大津アリ、美濃ニ岐阜アリ、信濃ニ長野アリ、上野ニ前橋アリ、下野ニ宇都宮アリ、岩代ニ福島アリ、陸中ニ盛岡アリ、陸奥ニ青森アリ、羽前ニ山形アリ、羽後ニ秋田アリ、皆頗ル殷賑ノ都會タリ、中ニモ大津ハ東海道鐵道線路ニ沿ヒ、西ハ西京・大阪ニ通シ、北ハ湖北ノ長濱ヲ經テ、北陸交通ノ衝ニ當リ、商業上最モ便利ノ地位ヲ占ム、所謂ル江州商人ノ本據ニシテ、古來巨商大賈多シ、其他岐阜ハ提灯ヲ以テ名高く、長野・前橋・福島等ハ養蠶業ノ盛ナルヲ

以テ著ハル、

更ニ各國殷盛著名ノ都市ヲ舉クレハ、近江ニ彦根・長濱アリ、彦根ハ井伊家ノ舊城市ニシテ、長濱ハ縮緬ノ產地タリ、美濃ニ大垣アリ、飛驒ニ高山アリ、信濃ニ松本アリ、高山及松本ハ共ニ多クノ蠶絲ヲ産ス、上野ニ高崎アリ、中山道鐵道ノ衝ニ當リ、蠶絲商人多ク輻輳ス、下野ニ足利及栃木、上野ニ桐生アリ、皆織物ヲ以テ著ハル、其他陸前ニ石卷アリ、陸奥ニ弘前及八戸アリ、羽前ニ米澤及鶴岡アリ、羽後ニ酒田及能代アリ、米澤ハ有名ナル米澤織ノ產地ニシテ、酒田・能代ハ日本海岸ノ要港タリ、
左ニ本道中、人口一萬以上ノ都市ヲ表示ス、

近江

大津
彦根

二四、二一四人

一八、四二二人

道ニ接シ、又之ヲ狹ミテ東海道ト表裏ヲナス、其中央ニハ能登大半
嶋北ニ向ヒテ突出ス、本道最モ長キ處百五十里、平均ノ幅凡ソ十里
面積千六百三十四方里、人口三百八十三萬七千二百八十一、即ケ一
方里内ニ二千三百六十人ノ割合ナリ、

(區劃) 本道ノ國タル七、更ニ之ヲ五市四十二郡ニ小別シ、石川・福井・
富山及新潟ノ四縣ヲ以テ之ヲ分轄ス、

若狹 三 郡 三方・遠敷・大飯

越前 二 市 福井
福井縣

八 郡 足羽・吉田・坂井・大野
南條・今立・丹生・敦賀

加賀 一 市 金澤
石川縣

能登 四 郡 江沼・能美・石川・河北
羽咋・鹿島・鳳至・珠洲

五十三百

六十三百

七十三百

八十三百

九十三百

十四百

北陸道之圖

比例尺七百七十分之一



三十八

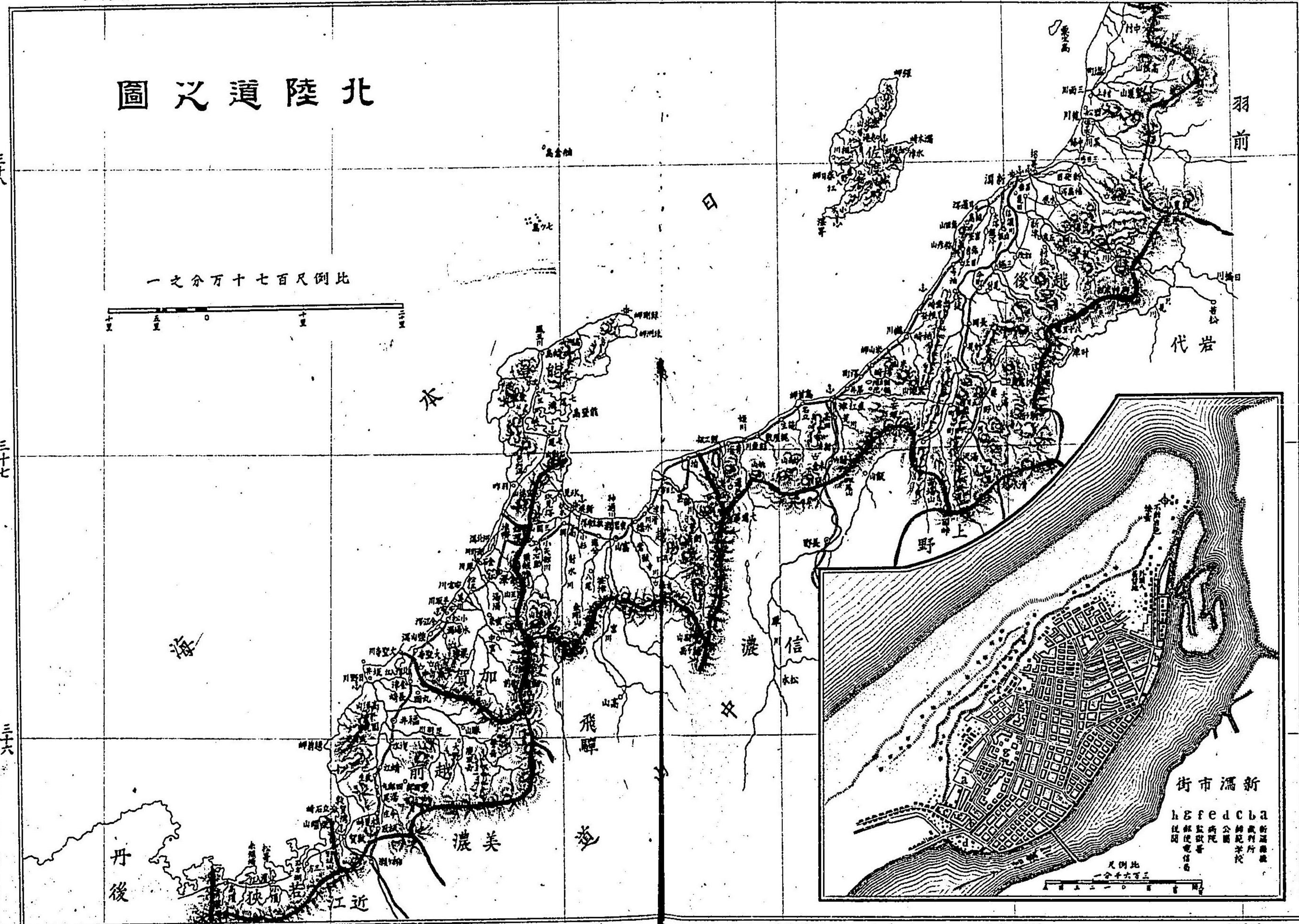
三十八

三十七

三十七

三十六

三十六



越中

二市 富山・高岡
五郡 上新川・婦負・下新川
射水・砺波
富山縣

越後

一市 新潟
十五郡 北蒲原・中蒲原・西蒲原
南蒲原・東蒲原・三島・古
志・北魚沼・中魚沼・南魚
沼・刈羽・東頸城・中頸城
西頸城・岩船
新潟縣

佐渡 三郡 雜太・加茂・羽茂

(海岸) 本道ノ各國ハ皆海ニ瀕スレトモ、岬灣ノ出入甚タ少ク、獨リ
中央部ノ能登半島ハ其尤モ大ナル突出ニシテ、此他ハ西隅若狹ノ
海岸ニ於テ、二三ノ小出入アルノミ、
能登半島ハ東西凡ソ十一里、南北凡ソ十八里、加賀・越中ノ間ヨリ北

ニ向ヒテ日本海中ニ突出シ、中央ヨリ折レテ北東ニ向フ、其端ハ一大岬角ヲナシ、海ヲ隔テ、遙ニ佐渡島ト相對ス、之ヲ珠洲岬ト云フ、岬ノ近傍ハ岩礁砂洲相連リ、波濤極テ激シク、日本海第一ノ難所ト稱セラル、此半島ノ東面ハ地勢少シク灣曲シテ、越中、越後ト相向ヒ一ノ内海ヲ擁ス、其内ニ七尾灣アリ、七尾灣ハ周回凡ソ三十里、能登島其正中ニ横ハリ、灣口南北ノ二口ニ分ル、北ヲ大口峽(凡ソ一里)ト稱シ、南ヲ小口峽(十二町)ト云フ、灣内ニモ亦島ノ西端ト本地トノ間ニ、屏風崎(六丁)三口(四丁)ノ二峽アリ、若狹ノ海岸ニテハ中央ニ小濱ノ入江アリ、東西四里、南北二里、松崎赤礁崎東西ヨリ出テ、其灣口ヲ扼ス、越前ノ西隅ニ敦賀灣アリ、狹クシテ長ク、其灣頭ニ敦賀港アリ、灣ノ西邊ニ斗出スルモノヲ立石崎トナス、遙ニ越前崎ト相對セリ、

佐渡ハ越後ノ北西海上ニアル一島ニシテ、海灣左右ヨリ相迫リテ其腰ヲ扼シ、形ヲ法瑪ノ如シ、主ナル岬角四箇アリ、其北及東ヲ指ス、モノヲ彈岬及濡木崎ト稱シ、南及西ニ出ツルモノヲ春日岬及澤崎トナス、其中間ノ海灣ハ即チ眞野ノ入江ナリ、總テ本道ノ沿岸ハ巉崖處々ニ聳立シ、巨礁海中ニ散亂シテ甚タ危險ノ處多シ、古來有名ナル親不知ノ險道ハ、即チ越後、越中相接スル處ノ海岸ニシテ、斷崖ノ下纔ニ一線路ヲ通シ、激浪來ル時ハ行人忽チ崖腹ノ洞陰ニ避ケ、其退クヲ待チテ漸ク走過セリト云フ、然レトモ今ハ其巉崖ヲ鏟リテ、道ヲ開キ車馬ノ通行ニ支ヘナキニ至レリ、此他越後ノ北方ナル海府浦、米山ノ岬端、彌彦山ノ山麓能登、佐渡ノ海岸、越前崎等皆危険ノ處タリ、

(港津) 港津ノ著名ナル者ヲ舉クレハ、若狹ニ於テ小濱灣内ニ小濱

港(二十仞)アリ、越前ニ於テ敦賀灣頭ニ敦賀港(四十五仞)アリ、日野河口ニ阪井港(一仞四尺)アリ、加賀ノ安宅河口ニ安宅港アリ、能登ノ七尾灣内ニ七尾港(三仞六尺)アリ、越中射水河口ニ伏木港アリ、越後ニハ信濃川ノ口ニ於テ、五港ノ一ナル新潟港(五仞)アリ、荒川ノ口ニ直江(津港)アリ、兩港ノ殆ト中央部ニ出雲崎港アリ、佐渡ノ南端ニ小木港(五仞餘)アリ、東ノ灣頭ニ夷港(八仞餘)アリ、
 (地勢山岳) 本道ハ本洲中部ノ北斜面ナレハ、地勢東海道ノ反對ニシテ、地面南ニ高ク北ニ低ク、其河流モ概テ北流シテ日本海ニ注ク、西部諸國ニハ第三南北派山脈ト中國火山脈ノ餘波ト交會シ、東部諸國ニハ第二南北派ノ中央火山脈及西部海岸火山脈ノ兩山脈駛走スルヲ以テ、著名ノ高山尠カラス、今各國ニ就キ之ヲ舉示スレハ、若狹ニハ西丹後ノ境ニ青葉山(二二三二尺)アリ、中央ニ後瀨山アリ

東越前ノ境上ニ榮螺山(二二一一尺)アリ、越前ニハ西境ニ野阪山(二〇五三尺)アリ、南境ニ荒島山(四二五〇尺)アリ、高須山・國見山ハ海濱ニ竝ヒ峙テ、經ケ岳ハ國ノ北境ニアリ、加賀ニハ南東隅ニ白山アリ、白山ハ第三南北派山脈中ノ主峯ニシテ、越前・飛騨ノ諸國ニ跨レリ、高サ八千九百四十七尺、北陸道中有名ノ高山ニシテ別山大汝御前ノ三峯アリ、御前峯最モ高シ、白山ノ西ニ釋迦岳、北ニ笈岳及劍岳アリ、越前ノ境ニ大日岳アリ、皆頗ル高峻ナリ、國ノ東方越中ノ境ニ三方岳・醫王山・蠣波山相竝ヒテ聳立ス、蠣波山ハ即チ栗殼峠ニシテ、木曾義仲カ平氏ノ軍ヲ鏖殺セシ古戰場ナリ、蠣波山ノ北方、國ノ北東隅ニ加賀能登越中三國ニ跨ル三國山アリ、能登ニハ南加賀ノ境ニ寶達山(二二六五尺)、七尾港ノ南越中ノ境ニ石動山アリ、山脈是ヨリ北ニ延長シテ、能登半島ノ北端ニ高洲山・寶立山トナリ、珠洲岬ヨリ

海ニ没ス、次ニ越中ニ至レハ東南隅信濃ノ境ニ立山聳立ス、立山ハ北陸第二ノ高山ニシテ、高サ九千三百七十二尺、加賀ノ白山ニ超ユルコト數等ナリ、山中處々ニ火口アリ、常ニ硫烟ヲ吐キ、地獄谷ト稱スル處アリ、立山ノ北ニ劔岳アリ、南ニ鷲羽山アリ、國ノ南方飛驒ノ境ニ金剛岳・水無峠アリ、最後ニ越後ニ至レハ五六千尺以上ノ高山許多東南境ニ環立ス、第一ハ南西隅越中・信濃ノ境上ニ聳立スル大蓮華山ニシテ、高サ九千八百七十一尺、北陸道中無二ノ高峰タリ、南麓ヶ岳北雪倉岳ト共ニ之ヲ蓮華三峯ト稱ス、其脈北流シテ越後・越中ノ境上ヲ走り、袴腰岳(三四二五尺)・朝日山(六一〇〇尺)ヲ起ス、其山趾ノ海岸ニ迫ル處ヲ親不知ノ難所トナス、大蓮華山ノ東方信濃ノ境上ニ、高妻山(七七八八尺)・黒姫山(六九一四尺)・苗場山(七一一二尺)ノ諸山アリ、高妻山ハ北方妙高山・焼山等ノ火山ニ連リ、富士帶ノ北端

タリ、上野ノ境ニハ三國峠(四二五〇尺)・駒ヶ岳(四九五六尺)・八海山(六一〇五尺)・瀨尾峠(五六九五尺)等アリ、岩代ノ境上ニハ有名ノ險路ナル八十里越・六十里越(四二九四尺)・御神樂岳等アリ、八十里越ハ西守門岳ニ連レリ、羽前ノ境上ニ進メハ飯豊山(六一六七尺)・朝日山(六一〇〇尺)等ノ諸高山竝立ス、越後北部ハ概テ平地ニシテ、沿岸ニ米山(三、一三一尺)・彌彦ノ二山遙ニ相對立ス、此二山ハ全國ヲ三分シ、彌彦以東ヲ下越後トシ、米山以南ヲ上越後トシ、其中間ヲ中越後ト稱ス、佐渡ニハ二條ノ小山脈アリテ竝行ニ南北走シ、各一高峯ヲ有ス、一ハ東叡山ニシテ、高サ三千百十三尺、一ハ金北山ト稱シ、高サ二千八百二十三尺ナリ、

(河流) 本道河流ノ尤モ大ナルモノヲ信濃川トナシ、阿賀川・神通川・射水川・常願寺川・黒部川及日野川等之ニ次ク、以上ハ北陸七大河ノ

稱アリ、

信濃川ハ信濃千曲川ノ下流ニシテ、越後ノ平野ヲ北流スルコト凡ソ四十里、中央ニ於テ魚沼川(二十一里)ヲ合セ、小千谷・長岡・三條ヲ經新潟港ニ至リテ海ニ入ル、百有餘里ノ長流タリ、信越ノ國境ニハ數處ノ激流瀑布アリテ、上流ハ舟楫ノ便少ケレトモ、河口ヨリ數十里間ハ小汽船ノ航行自在ナリ、阿賀川ハ岩代日橋川ノ下流ニシテ、越後ニ入り北西流シ、福島潟ノ水ヲ併セ松崎ノ港ニ注ク、全長四十五里餘、國界ヨリ河口マテ凡ソ二十二里許、此河ハ昔時信濃川ニ會流シテ共ニ新潟ニ注キシカ、兩大河ノ衝突ニ依リ、歲々水害ヲ蒙リシヲ以テ、本流ヲ松崎ニ決シタルモノナリト云フ、然レトモ今尙ホ中央ヨリ、小阿賀川ノ一流ヲ分テ信濃川ニ通セリ、

神通川ハ飛驒宮川ノ下流ニシテ、越中ノ中央ヲ北流スルコト三十里、富山ヲ過キ東岩瀨港ニ至リテ海ニ注ク、流程五十里、下流ノ幅二百五十間、水深クシテ運輸ノ便アリ、此川ノ下流ハ北國ノ街道ニ當リ、六十四隻ノ舟ヲ連テ舟橋ヲ架シ、以テ往來ヲ通ス、射水川ハ一名ヲ莊川ト稱シ、上流ヲ雄神川ト云フ、飛驒白川ノ末ニシテ、小矢部川(廿一里)ト合流シ、神通川ノ西ヲ奔ル、河口ハ即テ伏木港ニシテ、水源ヨリ此ニ至ルマテ五十八里、州界ヨリ凡ソ四十里、黒部・常願寺ノ兩川モ亦越中ノ東部ニアリテ、其長サ前者ハ二十里、後者ハ凡ソ十八里アリ、日野川ハ日野(二十四里)・足羽(二十五里)・九頭龍(三十二里)三川ノ合流セルモノニシテ、共ニ越前ノ南境ニ發源シ、中央ニ於テ相會シ、阪井港ニ至リテ海ニ注ク、九頭龍川ニモ亦有名ナル舟橋ヲ架セリ、

以上七大河ノ外、加賀ノ西方越前ノ境ニ近ク大聖寺川(十八里)アリ、東方ニ安宅川(十二里)アリ、中央ニ手取川(二十里)アリ、犀川(十三里)淺野川(九里)其東ヲ流ル、越後ノ西方ニ姫川(十七里)アリ、東方ニ荒川アリ、直江津ニ至リテ海ニ入ル、北方ニモ亦荒川ト稱スル一川アリ、羽前ヨリ來ルモノニシテ、其長サ十七里、荒川ノ北ニ三面川(二十一里)アリ、

(湖沼) 本道ノ湖沼ハ皆海岸ニアリテ、概テ潟ト稱スルモノ多シ、其稍著大ナルモノヲ舉クレハ、若狹ニ三方湖アリ、三湖相接シテ、其水互ニ交通ス、中央ニアルモノヲ水月湖ト云フ、周回二里廿八丁、南北ノ兩湖ハ共ニ周回二里餘ナリ、

越前ノ北隅ニ北潟入江アリ、周回五里二十二町、大聖寺川之ニ注ク、加賀ノ南西海岸ニ柴山潟(三里二十二町)アリ、北東海岸ニ河北潟(一

名八田潟)アリ、周回六里二十町、淺野川之ニ注ク、湖中ニ魚類多シ、能登ノ南西海岸ニ邑知潟(三里二十二町)アリ、越後ノ東方阿賀川下流ニ近ク福島潟(三里三十一丁)アリ、佐渡東灣頭ニ近ク加茂湖アリ、此他加賀ノ木場潟、今江潟、越中ノ放生津潟、氷見潟、越後ノ鎧潟、田潟、大潟、島屋野潟、白蓮潟、朝日池、鵜池等、皆周回一里以上ノ湖沼ナリ、(鑛泉) 鑛泉ハ其數總テ五十一ヶ處、殊ニ越後ハ火山脈ノ通路ニアリテ、其數二十八ヶ處ノ多キニ及ヘリ、加賀、越中ノ十ヶ處之ニ次ク、全ク之ナキハ若狹、佐渡ノ二國ノミ、今鑛泉場ノ稍著名ナルモノヲ舉クレハ、加賀ノ南部山間ニ於テ、西方ニ山代山中、栗津ノ三湯アリ、中央ニ中宮アリ、東隅ニ湯涌アリ、越中立山ノ麓ニ有峯、黑薙等アリ、越後ニ於テハ、東方荒川ノ岸ニ湯瀑アリ、魚沼川ノ岸ニ椽尾股及大湯等アリ、飯豊山麓ニ瀧谷アリ、妙高ノ山間ニ關山、赤倉、蓮華ノ諸泉

アリ、國ノ中央部ニ出湯田上及村杉アリ、彌彦山下ニ稻島岩室ノ兩湯アリ、

〔平原〕 北陸七大河ノ灌溉スル地域ハ概テ肥沃ノ平原ナリ、特ニ越後信濃川ノ平原ハ、最モ廣闊ニシテ數十里ニ連亘シ、田畝開ケ、人煙稠密、世ニ所謂ル越後米ノ產地タリ、

〔氣候〕 本道ハ北寒冷ナル日本海ニ面シ、直接ニ大陸地方ノ寒風ヲ受ク、而シテ南境ハ高山嶮峯連亘シテ溫暖ナル南風ヲ遮屏ス、故ニ氣候一般ニ沍寒ニシテ、殊ニ北越地方ノ如キハ、其緯度奥羽ヨリ低シト雖モ、寒威却テ凜冽ナリ、本道ハ又他ノ地方ト乾濕ノ期ヲ異ニシテ、暑候ハ即チ乾期ニ屬シ、往々旱魃ノ害ヲ被ルコトアリト雖モ、寒候ニ至レハ晴朗ノ日少ク、概チ陰雲天ヲ蔽ヒ、降雪數月ニ亘リ、海岸ノ平地ト雖モ積雪三四尺ニ達シ、山間溪谷ノ邊ニアリテハ、例年

一丈乃至二丈ノ積雪ヲ見ルコトアリ、サレハ人家ハ數月ノ間、皆雪底ニ埋メラレテ、住民家内ニ蟄閉シ、職業ヲ營ム克ハス、店頭亦道ヲ



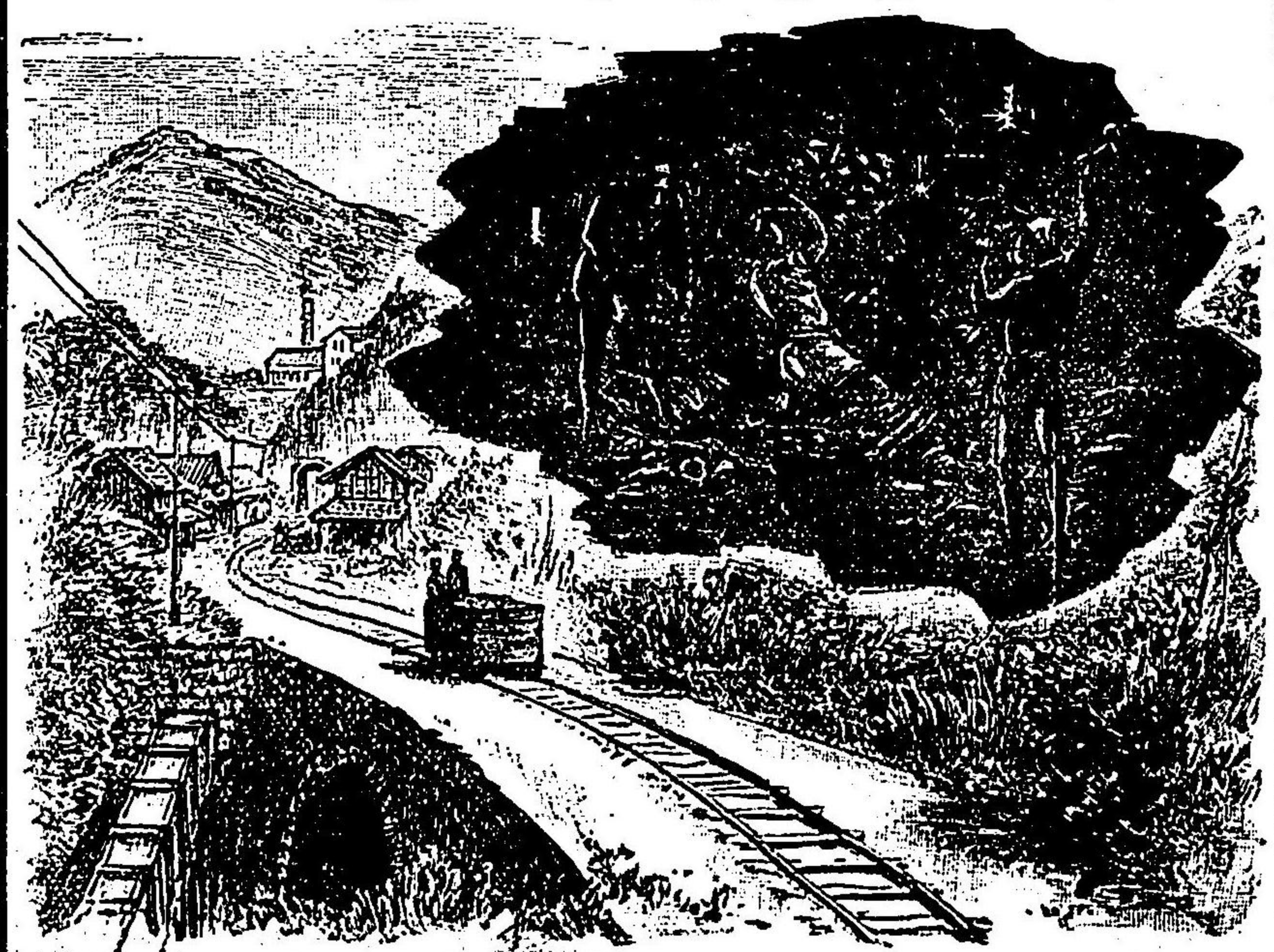
問フノ旅客ヲ絶
ツ、斯ク降雪ノ多
キハ、蓋シ日本海
ヨリ上騰スル水
蒸氣、冬期ノ主風
ノナル北西風ニ吹
キ送ラル、中途
南境ノ連山ニ遮
斷セラレテ水分
悉ク凝結シ、遂ニ

此地方ニ降落スルモノナルヘシ、其加賀能登近傍ノ如キハ、實ニ本邦中、降雨尤モ多量ナル處タリ、左ニ本道内測候所ノ觀測ニ係ル溫度及雨量ヲ表示ス(明治廿二年)

	最高溫	最低溫	平均溫	總雨量
金澤	三三、四 <small>度分</small>	零下五、四 <small>度分</small>	一二、六 <small>度分</small>	二二七八 <small>佛厘</small>
伏木	三四、三	全	六、一	一二、四
新潟	三三、七	全	八、三	一一、九
				一、八八九、三

(物産) 越後、越前其他ノ平野ハ、地味肥沃ニシテ米穀・桑・麻ノ耕種盛ニ行ハレ、其産出ノ多キコト本道中第一ト稱ス、然レトモ其他ハ地味概テ薄瘠ニシテ農産ニ乏シ、製造品ノ名ヲ得タルモノハ、若狹ニ若狹塗アリ、越前ニ奉書紙・鳥子紙・蚊帳・奉書紬アリ、加賀ニ加賀絹・杉原紙・象眼細工・菅笠及九谷焼アリ

リ、九谷焼ハ本邦中一二ヲ爭フ有名ノ陶器ニシテ精巧ヲ極ム、能登ニハ輪島塗ト稱スル漆器アリ、廣ク世ニ用ヒラレ、越中ニハ銅鐵器・吳郎丸布、富山ノ賣藥アリ、其萬金丹・返魂丹ノ如キハ、殆ト五畿八道ニ普及ス、越後ニハ越後縮布ノ越後紬・精好平アリ、殊ニ越後縮布ハ其名天下ニ高シ、各國ノ沿海ハ魚鹽ノ利アリテ、中ニモ若狹ノ鯛・鰯、能登ノ



鯨越後ノ鯨鱈等尤モ良産タリ、而シテ各國ノ山谷ハ共ニ獸皮材
 木ヲ出ス、白山ノ熊膽其價最モ貴シ、
 鑛屬ハ諸國概テ之ヲ産スレトモ、殊ニ佐渡ノ金銀ハ最モ有名ナル
 モノニシテ、開坑以來殆ト三百歲ヲ閱スレトモ、其産出今尙ホ盛ニ
 シテ、明治二十一年佐渡官行鑛山ノ産量、金六萬二千三百七十五匁、
 其代價十五萬六千二百十圓銀百十三萬九千八百五十八匁、其代價
 十七萬六千四百九十二圓トス、
 (都市) 都會ノ大ナルモノ金澤ヲ第一トシ、富山・新潟・福井之ニ次ク、
 金澤ハ北國第一ノ大都會ニシテ、人口九萬六千七百餘、石川縣廳及
 高等中學校等アリ、其地加賀ノ東北隅犀川・淺野川ノ畔ニアリテ、市
 街ノ廣闊ナル、商業ノ繁盛ナル、實ニ尾張ノ名古屋ニ次ク、其海岸ナ
 ル金石港ト相距ルコト僅ニ一里、大ニ運輸ノ便ヲ得タリ、此地ハ元

ト我邦第一ノ大諸侯タリシ前田氏ノ舊城市ナリ、
 富山ハ越中ノ中部ニ位シ、神通川ノ右岸ニ臨ム、人口五萬五千三百
 餘、富山縣廳ノアル處ニシテ、亦殷賑ナル都會ナリ、
 新潟ハ信濃川ノ河口ニアリテ、人口四萬四千七百餘、新潟縣廳ノア
 ル處ニシテ、且ツ開港場ノ一タリ、市街相接シ、商業頗ル盛ニシテ建
 築亦宏壯ノモノアリ、然レトモ外國貿易ハ未タ盛ナリト謂フヘカ
 ラス、
 福井ハ越前ノ北東部ニ位シ、足羽川ニ跨ル、人口殆ト四萬、福井縣廳
 アリ、足羽川ニハ九十九橋ト名クル橋ヲ架シテ、兩岸ノ市街ヲ連絡
 ス、此橋ハ長サ九十九間ト稱ス、其半ハ石ヲ以テ成リ、半ハ木ヲ以テ
 造ル、是ヨリ北五里許ニシテ阪井港ニ至ル、
 此他若狹ノ小濱、越前ノ敦賀、加賀ノ小松、能登ノ七尾(人口僅ニ數千)、

越中ノ高岡・魚津及新湊伏木ト放生津トノ總稱、越後ノ新發田・長岡及高田・佐渡ノ相川等ハ皆本道ノ有名ナル都邑ナリ、左ニ各國都市ノ人口表ヲ掲ク、

越前	福井	三九、八五三人
武生	一二、四五一人	
敦賀	一一、九七六人	
加賀	金澤	九六、七五二人
小松	一二、八九四人	
能登	輪島	一〇、〇八六八人
越中	富山	五五、三〇〇人
高岡	一九、七三六八人	
新湊	一六、四五九八人	
魚津	一一、六〇六八人	

越後	新潟	四四、七六一八人
高田	二五、三七四八人	
長岡	一六、四九二八人	
新發田	一二、五八九八人	
佐渡	相川	一一、五五二八人

六 山陰道

(位置廣袤人口) 山陰道ハ本洲ノ西尾、日本海ニ面セル一帯ノ地方ト隱岐ノ島トヨリ成ル境界ハ東方北陸、東山ノ兩道及畿内ニ接シ、南方中國山脈ヲ以テ山陽道ト界ヲ分ツ、東西ノ長サ凡ソ八十里餘、南北最モ廣キ所凡ソ二十里、面積一千百十方里、人口百八十萬八千七百八十三、即チ一方里内ノ住民一千六百三十人ノ割合ナリ、

(區劃) 本道ハ都テ八國ニシテ、二市五十四郡ニ別レ、鳥取・島根・兵庫ノ三縣及京都ノ一府ニテ之ヲ分轄ス、

丹波 七 郡

南桑田・北桑田・船井・天田・何鹿
氷上・多紀

京都府
兵庫縣

丹後 五 郡

加佐・與謝・中・竹野・熊野

京都府

但馬 八 郡

城崎・美含・出石・氣多・養父・朝來
七美・二方

兵庫縣

因幡 一 市

鳥取
邑美・法美・岩井・八上・八東・智頭
高草・氣多

鳥取縣

伯耆 六 郡

汗入・會見・河村・久米・八橋・日野

出雲 一 市

松江
島根・秋鹿・意宇・能義・仁多・大原
出雲・楯縫・神門・飯石

島根縣

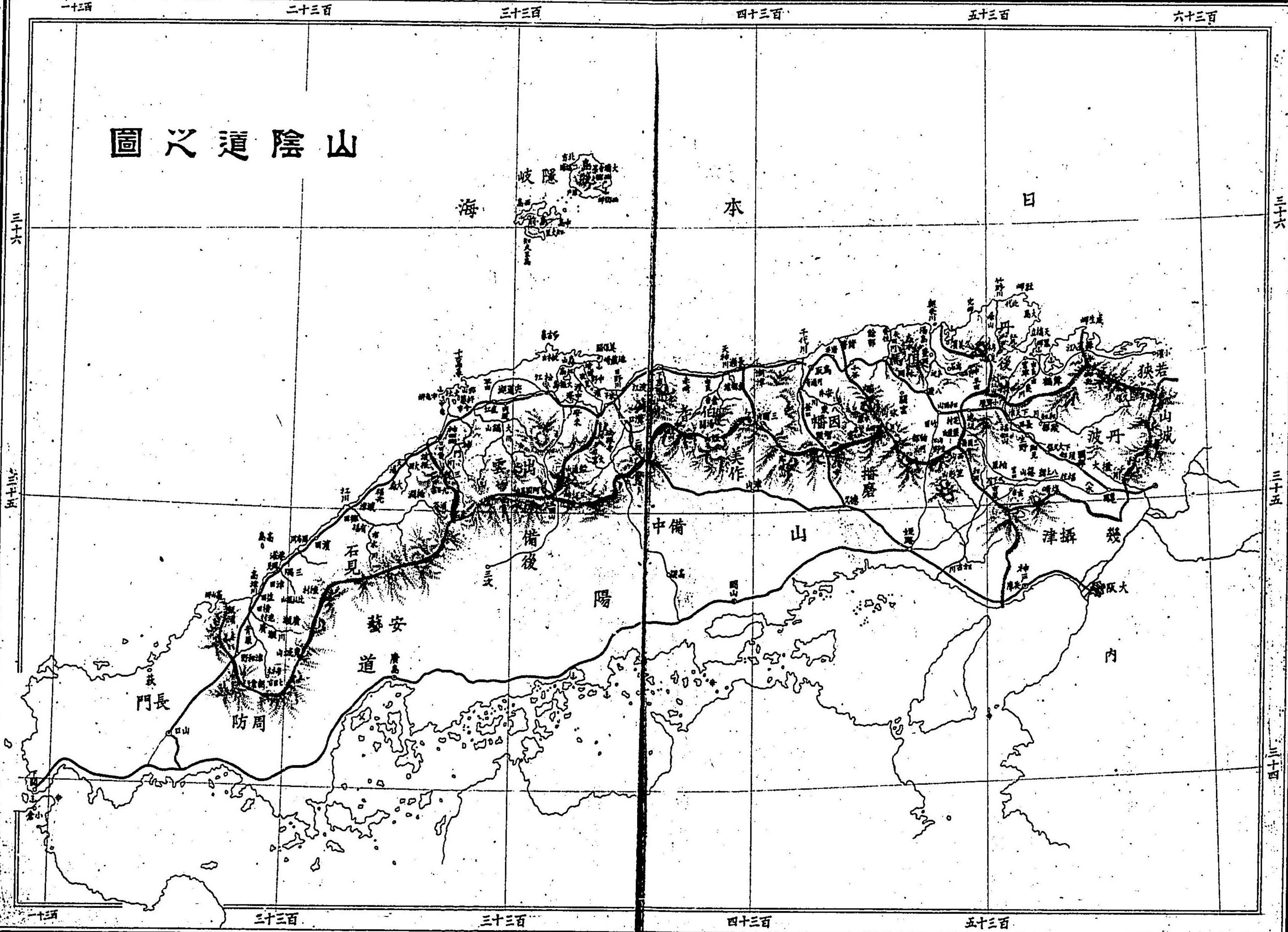
石見 六 郡

邇摩・安濃・邑智・那賀・美濃・鹿足

隱岐 四 郡

周吉・穩地・海士・知夫

山陰道之圖



(海岸) 本道ノ各國ハ丹波ヲ除キ皆瀕海國ナリ、然レトモ其海岸ハ單純ニシテ曲折寡ク、只丹後及出雲ニ於テ僅ニ二三ノ小破綻アルノミ、

丹後ノ東端ニハ成生岬アリ、西ニハ與謝郡海中ニ浮出シテ半島ヲナス、其北端ヲ經岬ト云フ、巨巖高ク峙テ、其海上ノ危險ナル能登ノ珠洲岬ニ劣ラス、半島ノ東側ニ鷺岬アリ、遙ニ成生岬ト相對シテ、一ノ内海ヲ擁ス、海水ノ一支深ク東隅ニ蝕入スルモノヲ舞鶴入江トス、中ニ舞鶴港アリ、西隅ニ曲入スルモノヲ與謝海ト云フ、半島ノ東側ニ沿ヒテ灣入スルコト凡ソ五里、黑岬其東方ニ突出シテ半島ト共ニ海口ヲ扼ス、與謝海ノ中央ニハ一條ノ砂嘴北ヨリ南ニ斗出シ、翠松一帶其上ニ連リ、遠ク望メハ長橋ノ如ク、風光實ニ佳絶ナリ、是即テ天橋立ニシテ、本邦三景ノ一ニ居ル、砂嘴ノ南端ト南岸トノ

間ハ切戸ト稱シテ僅ニ舟行ヲ通ス、切戸以外ハ外海ト呼ビ、以内ヲ内海ト稱ス、其廣サ凡ソ一里方アリ、出雲國ノ沿岸ニテハ、島根半島西ヨリ出テ、東ニ亘ル、其東端ヲ地藏崎ト稱シ、北端ヲ多古鼻ト云フ、其左右ニハ六島、平島等ノ礁アリ、半島ノ西端ヲ十六島鼻ト稱ス、巨礁十六之ヲ繞ル、其西ニ宇龍岬アリ、島根半島ノ中央部ハ少シク南方ニ擴出シ、出雲國ノ北岸ニ迫リテ馬潟ノ瀬戸ヲナス、其幅狹キ處二町ニ足ラス、瀬戸内ハ即チ有名ナル宍道湖ナリ、瀬戸ノ外チ中海ト稱ス、夜見濱其東方ニ斗出スルコト五里許、島根半島ト相對シテ中江海峽ヲ介シ、以テ中海ノ口ヲナス、中海ノ中央ニハ大根島(周圍二里三十町)及江島アリ、(港津) 本道港津ノ著名ナルモノ舞鶴、宮津、境浦及西郷ノ四港アリ、舞鶴港ハ丹後舞鶴入江ニアリ、深サ凡ソ八仞餘、近時海軍鎮守府ヲ

設置シテ軍港ニ充ツ、宮津港ハ與謝海ノ中ニアリ、灣内水深キコト十仞ニ達シ、碇繫極テ便ナレハ、冬期北航ノ船舶茲ニ寄港シテ春候ヲ俟ツモノ常ニ輻輳ス、境浦港ハ伯耆夜見濱ノ北端、中海ノ口ニアリ、港口東ニ向ヒ風浪ノ虞ナシ、深サ四仞乃至五仞、山陰第一ノ良泊ト稱ス、西郷港ハ隱岐國島後島ニアリ、深サ十仞、港口ハ南東ニ面シ境浦港ヲ距ルコト凡ソ二十里、島内ノ良港ニシテ、物貨ノ出入重モニ之ニ由ル、故ニ隱岐港ノ稱アリ、此他丹後ノ久美濱港(十四仞)但馬ノ諸寄港(十六仞)伯耆ノ米子浦、出雲ノ美保關(十五仞ヨリ)石見ノ大浦(十仞)隱岐ノ知夫港(十一仞)等亦稍著名ナルモノタリ、(地勢) 本道ハ本洲西尾ノ陰面ニシテ、地勢南方山陽道ノ境ヨリ、北方日本海ニ向ヒテ低落シ、山陽道ト正反對ヲナセリ、然レトモ其傾

斜稍急峭ニシテ、地域狹隘、河流モ亦概チ短縮ナリ、但シ隱岐ハ山勝ノ一孤島ニ過キス、

(山岳) 本道ハ南境ナル中國山脈處々ニ走出シ、中國火山脈又往々高峯ヲ起スヲ以テ高峻ノ山峰少カラス、殊ニ丹波・石見兩國ノ如キハ、山岳岡嶺國中ニ相望メリ、今其主ナルモノヲ舉クレハ、伯耆ノ大山(又大神山)ハ群峯中ニ擢テ、高サ五千八百七十七尺、中國第一ノ高峯タリ、大山ニ次クモノヲ三瓶山トナス、出雲・石見ノ境ニアリ、高サ三千八百七十尺、此他ノ著名ナルモノハ丹波ノ北境ニ御岳(二、七二三尺)大江(二、七三〇尺)ノ二山アリ、丹波・但馬ノ境ニ於テ足占山(又磯砂山)アリ、但馬・因幡ニ跨リテ冰山アリ、因幡ノ南境ニ那岐山アリ、伯耆ノ南境ニ蛭山アリ、中央ニ船上山アリ、南ハ直ニ大山ニ連ル、名和長年カ嘗テ、後醍醐帝ヲ佐ケテ、勤王ノ旗ヲ舉ケタル處ナルヲ

以テ其名著ハル、出雲ノ南境ナル阿圖馬山、石見ノ南境ナル冠山、三石山、隱岐ノ島後ナル大満寺峯(又摩尼山)等亦高山ノ部ニ數ヘラル、(河流) 本道ハ前已ニ述ヘタルカ如ク、地域淺薄ナレハ、其涵養スル河流モ亦長流少シ、只石見ノ江川(一名石見川)ハ中國第一ノ大河ニシテ、備後ニ發源シ、長サ五十餘里ニ達シ、幅凡ソ二百間、舟楫ノ通スル處殆ト廿里、運輸ノ便甚タ大ナリ、丹後ノ由良川ハ江川ニ次ケル長流ニシテ、長サ凡ソ三十里、上流ハ丹波ノ和知川ニシテ、源チ近江界ノ山谷ニ發シ、福知山ニ至リテ福知川又音無瀬川ト稱ス、丹後ニ於テハ單ニ之ヲ大川ト呼フ、河口ハ即チ由良港ナリ、此他ノ著名ナルモノハ但馬ノ朝來川(長サ十六里)、因幡ノ千代川(十二里)、伯耆ノ日野川(十七里)、出雲ノ大川(又鍛川ト云フ凡ソ二十餘里)、神門川(又古志川十九里)、石見ノ高津川(十四里餘)等ニシテ皆日本海ニ注ク、

以上ノ外、丹波ニ大堰、久下ノ二川アリ、大堰川ハ上流ヲ保津川ト云フ、下流ハ山城ノ桂川ニシテ、其源ヨリ淀川ニ會スル處マテ長サ凡ソ五十五里アリ、久下川ノ上流ヲ大蛛川ト云ヒ、長サ凡ソ十里許、下流ハ播磨ノ加古川トナル、

(湖沼) 湖沼ノ大ナルモノ、出雲ノ中海及宍道湖ヲ以テ最トス、中海ハ出雲ト伯耆界トノ海瀕ニアリ、周回十六里餘、一方ハ中江海峡ニ依リテ海ニ通シ、海水常ニ往來ス、故ニ其水鹹味アリ、宍道湖ハ中海ノ西ニ連リ、周圍十三里餘、大川之ニ注入ス、湖水ハ東流シテ川トナリ、馬潟瀬戸ヲ過キテ中海ニ入ル、上古ハ中海ト潮水互ニ交通セシカ故ニ、併セテ之ヲ意字海ト呼ヘリ、此他周圍一里以上ノモノ、因幡ニ湖山地(三里二十六町)、伯耆ニ東郷池(二里二十一町)、出雲ニ神西湖(二里二十三町)アリ、

(鑛泉) 鑛泉ハ其數都テ二十ヶ處、石見ノ六ヶ處ヲ最多トシ、丹後隱岐ニハ全ク之ナシ、鑛泉場ノ有名ナルモノ、丹波ノ鹽崎(炭酸泉)、但馬ノ湯島(鹽類泉)、因幡ノ吉岡湯(鹽類泉)、石見ノ有福(單純泉)等トス、
(氣候) 本道ハ東海道ト殆ト緯度ヲ同クスレトモ、其地勢恰モ北陸道ノ如ク、南ニ一帶ノ連山ヲ負ヒ、北ハ日本海ニ面シテ、其岸寒潮ニ洗ハル、ヲ以テ、同緯度ノ地ニ比スレハ、氣候稍寒冷ニシテ、降雪ノ量亦頗ル多ク、殊ニ丹波ハ山間ニ在レハ、寒氣強クシテ雲霧深シ、
(物産) 本道ノ各國ハ地味一般ニ薄瘠ナレハ、農産モ亦從テ少ク、只丹波ノ煙草茶、但馬伯耆ノ麻、出雲ノ人參蜜柑等ハ、其尤モ著名ナルモノタリ、製造物品ニシテ名ヲ得タルモノヲ舉クレハ、丹後ノ縮緬撰絲、但馬ノ出石陶器、豐岡柳行李、伯耆ノ木綿、出雲ノ十六島海苔等ニシテ、其他紙類、漆蠟等ハ各國ノ山地ニ産ス、

沿海ノ魚産ニテハ、出雲松江ノ鱸、其名人口ニ膾炙シ、他ノ海魚海藻等ハ丹波ヲ除クノ外、概テ各國ニ之ヲ産シ、因幡ノ白珊瑚ハ其名世ニ高シ、牧牛ハ古來本道ニ流行シ、世ニ神戸牛ト稱スルモノ、多クハ但馬・因幡地方ヨリ出ツト云フ、丹波・隱岐二國ハ又杉・樅等ノ良材ニ富ム、本道ノ鑛屬ニ富ムコトハ世人ノ知ル所タリ、其生野ノ銀山ト石見・邇摩ノ銀山トハ、産出ノ量夥シク、伯耆・出雲・石見ノ鐵モ、其採掘高ノ多キコト、我邦ニ於テ一二ノ位置ヲ占ム、左ニ銀及鐵ノ出坑高ヲ掲ク、(明治二十一年)

但馬	銀	五八五、八四一匁
伯耆	鐵	八六七、四八一貫
出雲	鐵	一、〇〇四、二六四貫
石見	鐵	九四七、四九七貫
	銀	二八九〇、八四匁

(都邑) 本道内ニ於テ人口一萬以上ノ都邑ハ、其數僅ニ三個處、中ニテ松江ハ其尤モ大ナルモノニシテ、之ニ次クモノヲ鳥取トス、松江ハ出雲馬潟瀬戸ノ岸ニアリテ、宍道湖ノ東邊ニ臨ミ、風景佳雅ニシテ、商業モ亦盛ナリ、人口三萬三千三百二十四、山陰第一ノ都會ト稱ス、現今島根縣廳ヲ茲ニ置キ、又第五師管第九旅團大隊區ノ兵營アリ、鳥取ハ因幡ノ千代川ニ沿ヒ、賀露浦ニ接ス(人口二萬六千〇二十) 二、鳥取縣廳アリ、此他丹波ノ龜岡・福知山、丹後ノ宮津・舞鶴、但馬ノ豐岡、伯耆ノ米子(人口一萬二千九百四十八)、出雲ノ杵築、石見ノ津和野、濱田及隱岐ノ八尾等皆頗ル有名ナリ、

七 山陽道

(位置廣袤人口) 山陽道ハ本洲ノ西尾、瀬戸内海ニ面スル一帯ノ地方ニシテ、東ハ畿内ニ通シ、北ハ中國山脈ノ連山ニ依リテ、山陰道ト

脊ヲ合セ、南ハ内海ヲ隔テ、四國島ト相對シ、西端ハ赤間關ノ海峽
ヲ夾ミテ九州島ト相望ム、本道ハ山陰道ト相合シテ中國ト通稱ス、
山陰道ト均シク狹長ニシテ、東西最モ長キ處百〇七里餘、南北平均
ノ幅僅ニ十五里、面積千五百七十方里、人口四百〇二萬六千九百十
八、即チ一方里内ニ二千五百六十四人ノ割合ナリ、
(區劃) 本道ノ國タル八、三市八十一郡ニ分ル、兵庫・岡山・廣島及山口
ノ四縣ヲ以テ之ヲ分轄ス、

播磨 十六郡

明石・美嚢・加東・多加・加西・加古
印南・飾東・飾西・神東・神西・揖東 兵庫縣
揖西・赤穂・佐用・宍粟

美作 十二郡

眞島・大庭・西北條・西條・東南
條・東北條・勝北・吉野・英田・勝南
久米北條・久米南條

一十三百

二十三百

三十三百

四十三百

五十三百

山陽道之圖

三十六

三十五

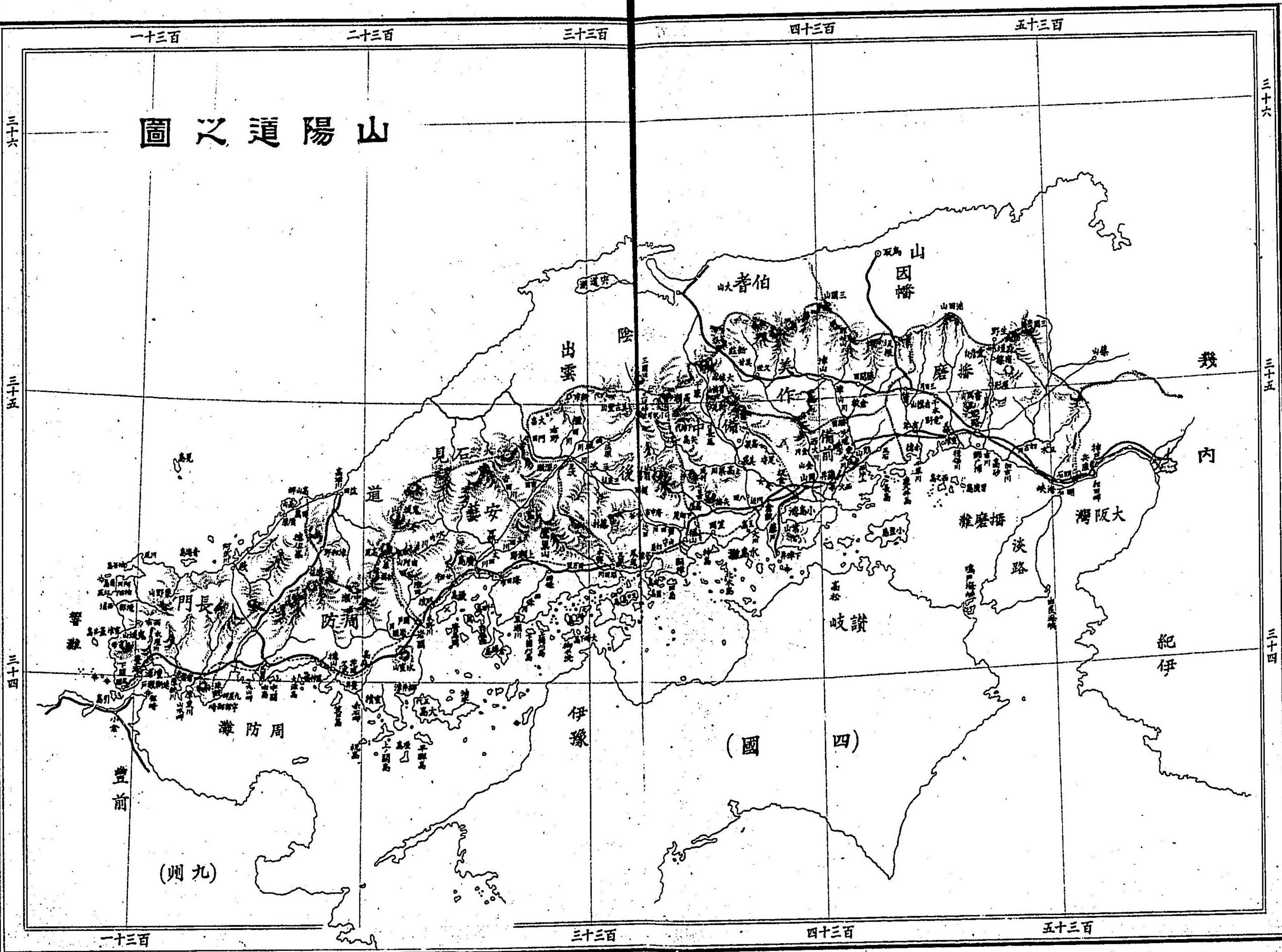
三十四

一十三百

三十六

三十五

三十四



備前

一市 八郡

岡山
御野・津高・赤坂・磐梨・和氣・邑久
上道・兒島

岡山縣

備中

十一郡

都宇・窪屋・淺口・小田・後月・下道
賀陽・上房・川上・哲多・阿賀
御調・世羅・深津・沼隈・安那・蘆田
品治・神石・甲奴・三次・三谿・奴可
三上・惠蘇

廣島縣

備後

十四郡

廣島

安藝

一市 八郡

安藝・佐伯・沼田・高宮・山縣・高田
賀茂・豐田

周防

六郡

大島・玖珂・熊毛・都濃・佐波・吉敷

長門

一市 六郡

赤間關
厚狹・豐浦・美禰・大津・阿武・見島

山口縣

(海岸) 本道ハ南方全ク瀬戸内海ニ面スルヲ以テ、全道八ヶ國中、海

ニ瀕セサルモノ只美作ノ一國アルノミ其海岸線ハ犬牙錯雜シテ、
出入極テ繁シ、而シテ兒島半島及廣島灣ハ其最モ顯著ナルモノタ
リ、
兒島半島ハ備前國ノ一部ニシテ、備中國ノ南端ヨリ東ニ向ヒテ横
出シ、備前本地ノ沖ヲ繞リ、其間一ノ内海ヲ抱ク之ヲ兒島灣ト云フ、
全半島到ル處山多ク、其最モ高キ者ヲ常山ト云フ、山上ニハ兒島高
徳ノ城趾アリ、南岸ハ四國ノ讚岐ニ接近シ、其間僅ニ數里ニ過キス、
是内海中尤モ狹窄ノ處タリ、半島ノ地頸ヲ藤戸ト云フ、古ハ一ノ海
峽ニシテ藤戸ノ渡ト稱ヘ、源平ノ戰ニ佐々木盛綱ノ騎渡シテ、軍ヲ
導キシ處ト言ヒ傳フレトモ、今ハ全ク陸地ト連絡セリ、
廣島灣ハ安藝ノ南隅ニアリ、嚴島江田島遙ニ相對シテ、其口ヲ扼ス、
灣内ニ吳港アリ、第二海軍鎮守府ノ所在地タリ、

(港津) 本道ノ沿岸ハ頗ル良港ニ富メリ、其最タルモノハ長門ノ赤
間關(十仞餘)ニシテ、下ノ關トモ稱シ、瀬戸内海ト日本海支那海トノ
咽喉ニ當リ、中國第一ノ巨港タリ、之ニ次クモノハ安藝ニ吳港アリ、
播磨ニ室ノ津(四仞四尺)アリ、備後ニ鞆津(二仞餘)及尾ノ道(三仞ヨリ)
ノ兩港アリ、此他備中ノ笠岡港(三仞二尺)玉島港(二仞)安藝ノ御手洗
港(六仞)周防ノ三田尻港(五仞)室積港(十一仞半)中ノ關港(四仞餘)室津
港(十一仞半)笠戸港(十仞)油宇港(十一仞餘)等亦著名ナリ、此等ノ諸港
ニハ内海往復ノ船舶常ニ輻輳碇繫セリ、
(近海) 瀬戸内海ハ本道及四國島ノ間ニアリテ、淡路島其東ニ横ハ
リ、九州島其西ヲ限ル、其間凡ソ一百里、明石・鳴戸・速吸及赤間關ノ四
海峽ヲ以テ外海ニ連ル、内海ハ處ニ由リテ其名稱ヲ異ニス、播磨ノ
沖ヲ播磨灘ト稱シ、備後ノ沖ヲ水島灘ト云ヒ、周防ノ沖ヲ周防灘ト

云フ、平家覆滅ノ所タル壇浦ハ其西隅ニアリ、此内海ハ東西航海ノ要路ニシテ、汽船和船ノ往來繁劇ニ、海上ハ風浪常ニ穩和ニシテ、長汀曲浦ノ眺望モ亦絶佳ナリ、而シテ沿岸ハ魚鹽ノ利夥シ、(島嶼)瀬戸内海ハ本邦近海中、島嶼ノ播布最モ稠キ所ニシテ、其數無慮數百アリ、其山陽道ニ屬スル主ナルモノヲ舉クレハ、第一ハ周防ノ大島(周圍三十里三十三町)ニシテ、安藝ノ倉橋島(二十五里二十五町)能美島(二十三里十六町)及嚴島(七里三十一町)之ニ次ク、能美島嚴島ハ共ニ廣島灣口ニ横ハリ、能美島ハ海軍兵學校ノ所在地タル江田島ニ接ス、嚴島ハ我邦三景ノ一ニシテ、市杵島姫ヲ祀レル社アリ、故ニ或ハ宮島ノ稱アリ、社殿ハ平清盛ノ造營ニ係リ、其結構崖ニ倚リ水ニ架シ、長廊繞リ列リテ、海潮滿ツルトキハ殿廊共ニ水上ニ浮フノ奇觀ヲ呈ス、島上ニハ彌山アリ、沿海ニ七浦ノ勝アリテ、風光

實ニ愛スヘシ、

以上ノ外、稍著大ナルモノヲ舉クレハ、播磨ニ西島(五里十五町)及家島(四里九町)アリ、備前ニ鹿久井島(七里三町)及長島(四里二十二町)アリ、備中ニ北木島(五里)及神島(四里二十六町)アリ、備後ニ因島(又院島十里餘)向島(六里二十九町)及田島(四里十町)アリ、安藝ニ大崎上島(十里十一町)大崎下島(五里二十七町)上蒲刈島(七里)下蒲刈島(三里)生口島(六里三十四町)佐木島(三里二十一町)似島(三里十六町)及黑神島(三里十九町)アリ、周防ニ平郡島(七里十九町)上ノ關島(又長島九里十六町)笠戸島(九里六町)大津島(四里六町)向島(三里二十一町)アリ、長門ニ引島(六里十五町)角島(三里二十一町)青海島(九里六町)及見島(四里三町)等アリ、

(地勢) 本道ハ山陰道ト相合シテ、本洲西尾ノ陰陽兩面ヲナスモノ

ナレハ、其地勢山陰道ノ正反ニシテ、北背ニ第二東西山脈即チ所謂
 ル中國山脈ヲ負ヒ、土地南ニ向ヒテ開放低下シ、遂ニ瀬戸内海ニ没
 落ス、故ニ本道ノ河流ハ概テ源ヲ北方ノ山中ニ發シ、南流シテ内海
 ニ注ク、而シテ此等河流ノ沿岸竝ニ海岸ノ地ハ、一般ニ平野ナレト
 モ地域曠闊ナラス、

(山岳) 北境ノ中國山脈ハ山勢雄峻ナラス、其支脈南向走出スルモ
 ノモ亦高峯ヲ崛起セス、隨テ本道ニハ高山峻嶺寡シ、今其稍顯著ナ
 ルモノヲ舉クレハ、播磨ノ北部ニ笠形山(三四六〇尺)アリ、中央ニ書
 寫山アリ、美作ノ北境ニ那岐山及蛭山アリ、備前ノ中部ニ熊山(一、七
 四五尺)アリ、備中ノ西方ニ彌高山アリ、備後ノ中央ニ御神山アリ、山
 中岩石多ク鬼橋ノ奇觀アリ、其地帝釋寺アルヲ以テ俗ニ之ヲ帝釋
 ノ神橋ト云フ、北部出雲ニ接スル處ニ美古登山アリ、安藝ニハ東部

ニ鷹巢山・大土山アリ、周防ニ接スル處ニ鬼城山アリ、周防ノ石見ニ
 接スル處ニ秘密岳アリ、長門ノ東隅ニ徳佐峯(三、三六〇尺)アリ、西端
 ニ鬼城山アリ、是第二東西山脈ノ起點タリ、

(河流) 本道ノ河川ハ中國山脈ト竝行セスシテ、路ヲ横溪ニ取り流
 出スルヲ以テ、著シキ長河ナシ、其主タルモノヲ舉クレハ、高田(三十
 七里)・津山(三十一里)ノ二川ハ本道第一ノ長流ニシテ、共ニ源ヲ美作
 ノ北境ニ發シ、南流シテ備前ニ入り、西大川・東大川トナリ、兒島灣口
 ニ放入ス、運輸灌漑共ニ便利ナリ、其他備中ニ大川(二十八里餘)アリ、
 其上流ハ高梁川ト稱ス、周防ニ岩國川(二十四里)アリ、下流ニ有名ナ
 ル錦帶橋ヲ架ス、長サ一百二十五間、俗ニ算盤橋ト稱ス、備後ニ三次
 (三十一里)・櫃田(二十里餘)ノ兩川アリ、安藝ニ吉田(二十六里)・太田(二十
 三里餘)ノ二川アリ、吉田川ハ三次・櫃田ノ二川ト合シ、石見ニ入りテ

江川トナル、北流シテ日本海ニ注ク、播磨ニ加古川(十九里)アリ、即チ丹波ノ久下川ニシテ、全長凡ソ三十里アリ、以上ノ外、尙ホ十里以上ノモノハ播磨ノ市川(十二里)、揖保川(十五里)、千種川(十五里)、備後ノ蘆田川(十一里)、安藝ノ西城川(十里餘)、木野川(十五里)、周防ノ佐波川(十三里餘)、長門ノ阿武川(十五里)、厚東川(十四里)等トス、

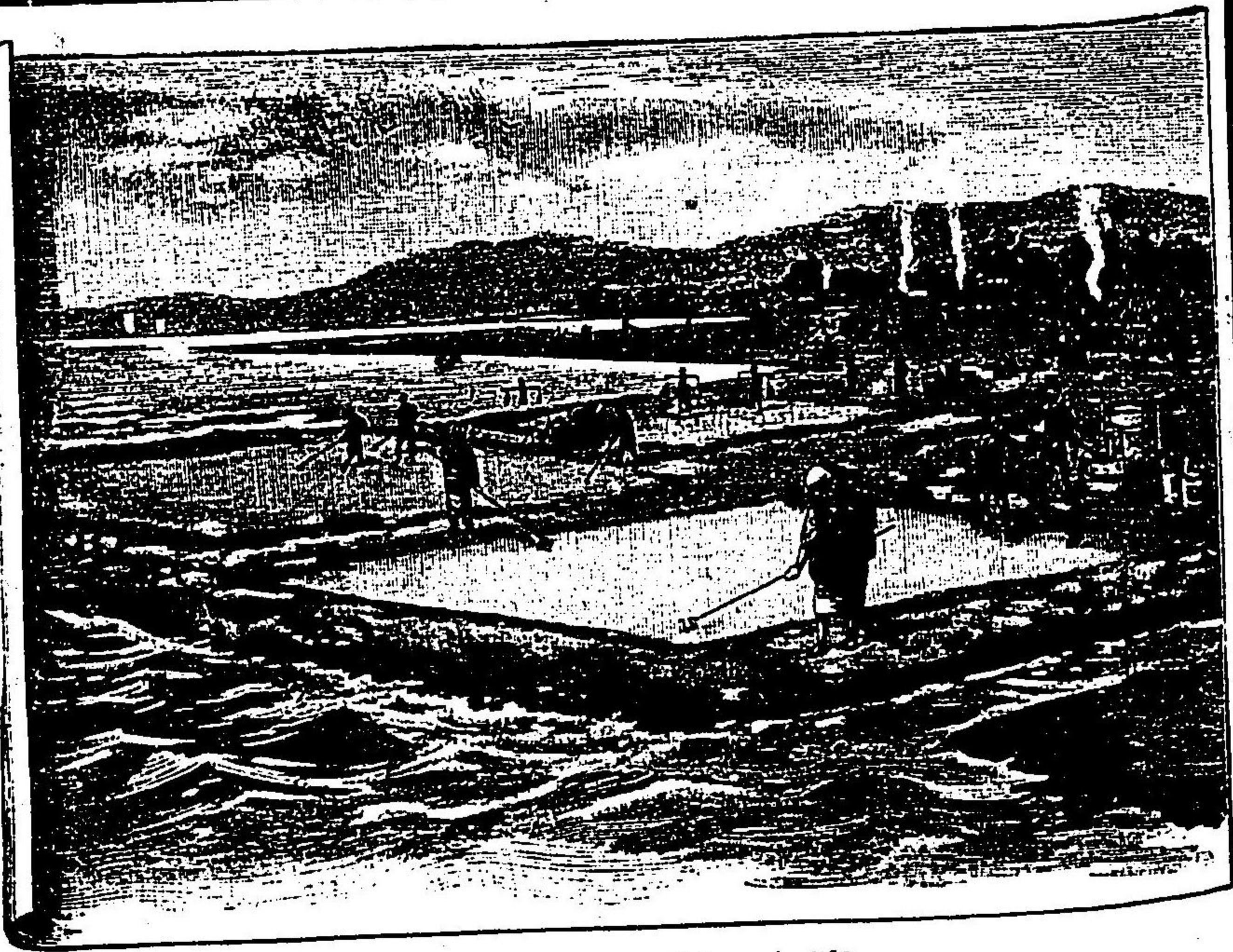
(湖沼) 湖沼ハ極テ稀ニシテ、周圍一里以上ノモノ僅ニ三個ニ過キス、即チ備前ノ大池(一里二町)、周防ノ長澤池(一里二町)、長門ノ常盤池(三里餘)是ナリ、鑛泉モ亦多カラス、其數總ヘテ十一ヶ處、其中四ヶ處ハ美作國ニアリ、播磨、備前及備後ノ三國ニハ殆ト絶無ナリ、

(氣候) 本道ハ殆ト同緯度ノ間ニ横ハリ、北方ニ連山ヲ負ヒ、南方海ニ面スルカ故ニ、氣候概テ溫和ニシテ、各國亦殆ト差違ナシ、只美作ノ山間及長門ノ北海岸ハ、氣候稍寒冷ナリトス、降雨ノ量モ亦甚々

多カラス、内海ノ沿岸ハ實ニ本邦中、最寡雨地方ノ一ニ居レリ、是太平洋ノ濕風ハ四國島ニ遮斷セラレ、北風ノ齎シ來ル水氣ハ北境ノ山脈ニ吸収セララル、カ故ナルヘシ、左ニ明治二十二年中、本道ノ溫度及雨量ニ關スル報告ヲ掲ク、

	最高溫	最低溫	平均溫	總雨量
廣島	三四 ^{度分} 六	零下四 ^{度分} 六	一四 ^{度分} 三	一、九四五 ^{佛風} 四
下關	三三、二	同	二、五	一、九四四、六

(物産) 海岸ノ低地ハ地味頗ル豐沃ニシテ、五穀、烟草、綿、苧、麻ハ各國皆之ヲ産ス、南方ノ内海ハ雨水ノ混入少クシテ、恰モ自然ノ大蒸餾罐ノ如ク、鹽分尤モ濃厚ニシテ製鹽ニ適ス、故ニ本道沿海ノ諸國ハ播磨ノ赤穂鹽ヲ始メトシ、皆優等ノ食鹽ヲ産ス、今其産額ヲ見ルニ、明治二十年中山口縣ハ九千五萬九千四百二十八石、兵庫縣ハ七十



八萬七千四百四十一石、岡山縣ハ四十三萬八千九百五十九石、廣島縣ハ四十四萬三千五百二十六石ノ多キニ及ヘリ、又安藝ノ海濱ニハ、牡蠣田アリテ夥シク牡蠣ヲ産ス、長門ノ鯨モ水産中ノ主品タリ、織物ノ類ハ全道各國製造盛ニシテ、播磨ノ明石縮、高砂染、周防ノ岩國縮、大島木綿、長門ノ鹿子絞ハ世人ノ尤モ稱スル所タリ、美作ノ雲齋織ハ精

堅ノ名高シ、其他諸製造品中、著名ナルモノヲ舉クレハ、播磨ノ龍野醬油、姫路革、備前ノ伊部陶器、長船刀劍、備中ノ紙、備後ノ保命酒及三備ノ藺席等トス、藺席ハ即チ疊表ニシテ、世ニ之ヲ備後表ト呼ビ、獨リ其名ヲ擅ニセリ、

鑛物ニ於テハ、本道ハ山陰道ト共ニ鐵ノ産出多キヲ以テ有名ナリ、安藝ノ如キハ、其産額年々百萬貫内外ニ達シ、全國第一ニ位スヘク、備後モ亦頗ル多シ、長門ハ石炭石材ヲ出スコト多ク、其赤間關硯ハ名聲天下ニ普シ、茲ニ明治二十一年中、鐵及石炭ノ産出高ヲ舉クレハ左ノ如シ、

安藝 鐵 八六二、八八六貫

備後 鐵 五三八、九〇七貫

長門 石炭 一八、三〇四、三三二貫

(都邑) 本道ニハ人口一萬以上ノ都邑都テ十一ヶ處アリ、中ニモ藝州廣島ハ其最ニシテ、廣島灣頭ニアリ、太田川ノ分流ニ跨リ、市街四方一里ニ連ル、人口殆ト八萬五千、縣廳アリ、鎮臺アリ、裁判所アリ、其位置東ハ大阪ニ、西ハ馬關ニ、北ハ山陰道ニ通シ、中國路ノ要衝ニ當リ、山陰山陽兩道中、第一ノ大都會ニシテ、土俗之ヲ中國ノ大阪ト誇稱ス、廣島ニ次キテ著名ナルモノ、東ニ播磨ノ姫路、備前ノ岡山アリ、西ニ周防ノ山口、長門ノ赤間關アリ、姫路ハ中國ノ衝ニ當リ、岡山及山口ハ各、其縣廳ノ在ル所ニシテ、共ニ市街繁盛ナリ、赤間關ハ又下ノ關トモ稱ス、瀬戸内海ノ咽喉ニシテ、水陸輻輳ノ要地タリ、船舶常ニ港内ニ充滿ス、以上ノ外、播磨ノ明石、美作ノ津山、備後ノ尾道、福山、鞆津、周防ノ山口、岩國、長門ノ萩ハ皆本道内ノ有名ナル都邑ナリ、更ニ人口一萬以上ノ都邑ヲ左ニ表示ス、

播磨	姫路	二五、四六六
明石	一九、三五一	
美作	津山	一五、三〇六
備前	岡山	四三、八八五
備後	福山	一四、五八七
尾道	一八、〇〇二	
安藝	廣島	八四、八七三
周防	山口	一三、三三二
岩國	一〇、一七七	
長門	萩	三二、三八四
赤間關	二〇、三四五	

八 南海道

(位置廣袤人口) 南海道ハ本洲中部ヨリ、南方ニ斗出スル紀伊國及四大島ノ一ナル四國ト淡路島トヨリ成ル、紀伊ハ東南西ノ三面ハ

皆海ニ面シ、只北ノ一部伊勢・大和・河内及和泉ニ界ス、四國島ハ東方
紀伊ト紀伊海峽ヲ挾ミ、北ハ瀬戸内海ヲ隔テ、山陽道ト相對シ、西
ハ速吸海峽ヲ隔テ、九州島ニ向ヒ、南ハ一面渺茫タル太平洋ニ臨
ム、淡路島ハ紀伊海峽ノ北口ト山陽道播磨トノ中間ニ夾マリテ、瀬
戸内海ノ東ヲ限ル、本道ノ面積ハ合セテ千五百九十八方里、人口三
百七十二萬千四百八十九、即チ一方里ノ住民二千三百二十九人ノ
割合トス、

(區劃) 本道ノ國タル六、五市五十九郡ニ分レ、三重・和歌山・兵庫・徳島・
香川・愛媛及高知ノ七縣ヲ以テ之ヲ分轄ス、

紀

伊

一
十

市 和歌山

名草海部・那賀・伊都・有田 和歌山縣

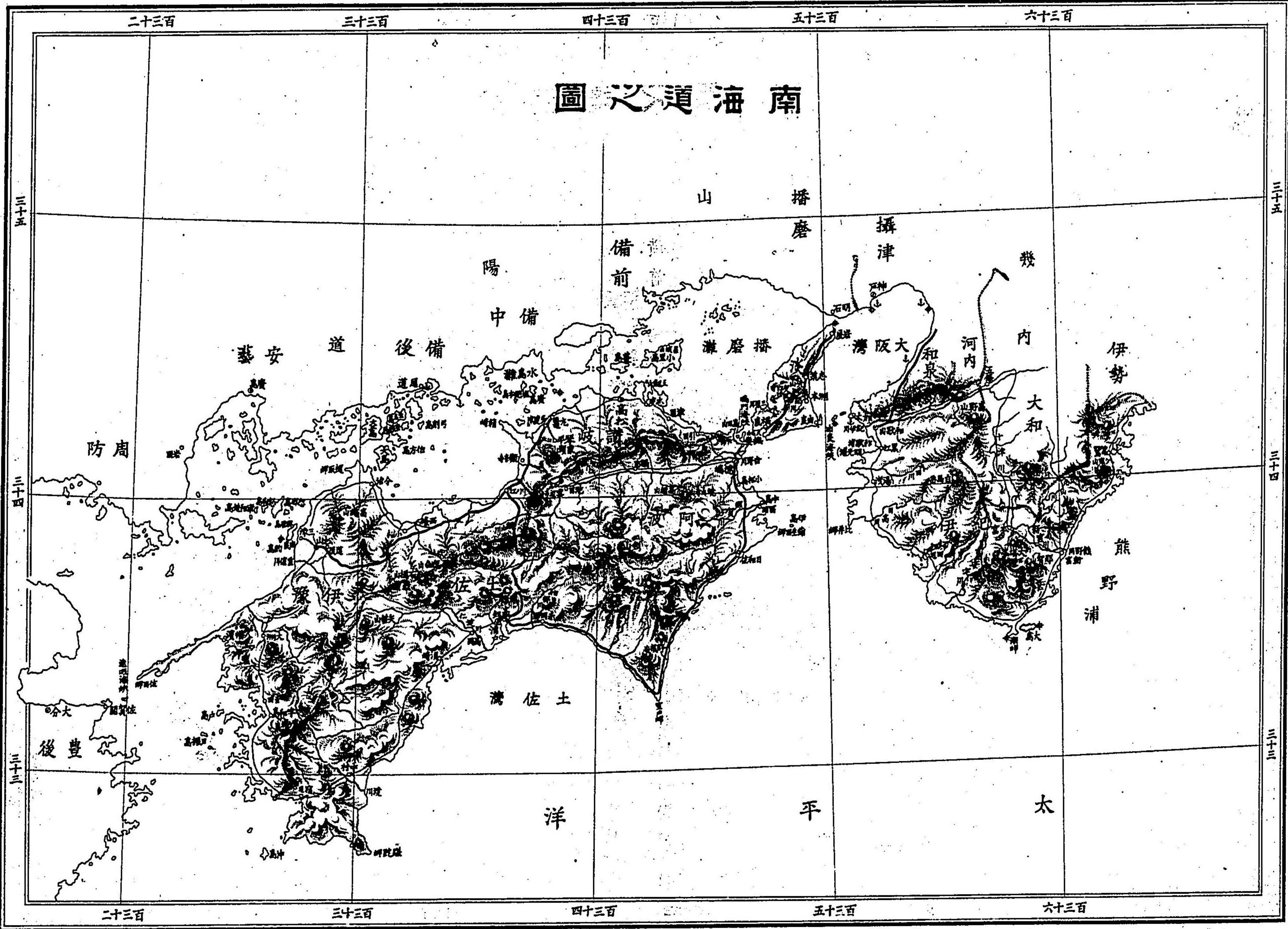
郡

日高・西牟婁・東牟婁

南牟婁・北牟婁

三重縣

圖之道海南



淡路二

郡津名・三原

兵庫縣

阿波十一

市德島

郡名東・勝浦・那賀・海部・名西
板野・阿波・麻植・美馬・三好

德島縣

讚岐十二

市高松

郡大内・寒川・三木・小豆・山田
香川・阿野・鷺足・那珂・多度
三野・豐田

香川縣

伊豫十八

市松山

郡風早・和氣・溫泉・久米・越智
野間・新居・周布・桑村・宇摩
下浮穴・伊豫・上浮穴・喜多
西宇和・東宇和・南宇和・北

愛媛縣

土佐七

市高知

郡土佐・幡多・高岡・吾川・長岡
香美・安藝

高知縣



灣ニシテ、紀伊河口ノ南方一里餘ニアリ、明光ノ浦トモ稱ス、古ヨリ有名ナル勝地タリ、

潮
岬
ノ
圖
良船アリ、
大島ヨリ北東伊勢ニ亘リタル海上ヲ
熊野浦ト云フ、波濤荒キコト遠州灘ニ
劣ラス、和歌浦ハ紀伊ノ北西部ノ一小
其西北部ニハ船舶ノ風波ヲ避クヘキ
ニ燈臺ヲ設ク、岬東ノ島ハ大島ト稱シ、
南點ニシテ、岬邊潮流極テ急ナリ、岬端
スルモノヲ潮岬ト云フ、實ニ本洲ノ最
且ツ概子斷崖崎嶇タリ、其南端ニ突出
(海岸) 紀伊ノ海岸ハ小出入極テ多ク、

四國島ノ沿岸モ亦屈曲多ク、大小ノ岬灣ニ富メリ、其東方ニ斗出ス
ル岬ハ阿波ノ蒲生田岬ニシテ、紀伊ノ比井岬ト相對シ、紀伊海峽ノ
口ヲ扼ス、西端ヨリ九州島ニ向ヒテ、長ク延出スルモノハ伊豫ノ佐
田岬ニシテ、九州島ト相對シ、速吸ノ海峽ヲナス、南西隅ヨリ南ニ向
ヒテ突出スルモノハ蹠蹠岬ニシテ、其東方ニ當リ斗出スルモノハ
室戸崎ナリ、室戸崎ト蹠蹠岬ハ東西遙ニ相對シテ、其間半圓狀ヲナ
シ一大灣ヲ抱ク、是土佐灣ニシテ、其長サ凡ソ一百里アリ、此灣ハ昔
時陸地ナリシモ、天武帝ノ十二年大地震ノ爲メ陥リテ海トナレ
リ、故ニ其水甚タ深カラス、四國ノ北方ニハ讃岐ノ箱崎ト、伊豫ノ梶
取岬ト東西相對シテ北出シ、其間亦一大海灣ヲナセリ、淡路ハ其形
三角狀ニシテ、正北ノ一角ハ明石海峽ヲ隔テ、播磨ニ咫尺シ、東隅
ハ紀伊ニ對シテ由良峽ヲナス、西隅ト阿波トノ間ハ即チ有名ナル

鳴門海峽ニシテ、海水渦ヲ成シ、潮聲雷ノ如ク、航行甚々危険ナリ、
 (港津) 港津ノ著名ナルモノ、紀伊ニ加太港(五仞)・田邊港(二仞)・尾鷲港
 (十七仞)アリ、淡路ニ由良港(一仞餘)・福良港(二仞)アリ、阿波ニ撫養港(四
 仞三尺)・那佐港(十仞)アリ、讃岐ニ高松港(五仞)・丸龜港(二仞餘)・志度浦
 (三仞四)^{伊ヨ}及多度津(二仞餘)アリ、伊豫ニ由良港(七仞)・宇和島港(一仞六尺)
 アリ、土佐ニ浦戸港(四仞)アリ、高松・丸龜・多度津・宇和島ノ諸港ハ中國
 海上著名ノ良泊タリ、

(島嶼) 島嶼ハ讃岐・伊豫ノ海上ニ多ク、其尤モ大ナルノヲ小豆島ト
 ス、讃岐ノ北東海上ニアリ、周圍三十里二十三丁、島中一高峯アリ、星
 城山ト云フ、豊島(四里三十一丁)ハ其屬島ニシテ、小豆島ノ西ニアリ、
 小豆島ニ次キテ大ナルモノハ、伊豫ノ大三島(周圍十五里)ニシテ、伯
 方島(十里五丁)・弓削島(五里)・生名島(三里)・岩城島(三里廿六町)等ト共ニ

梶取岬ノ北方ニ連ル、此他興居島(六里二十四町)・忽那島(七里三十二
 町)・怒和島(三里十二町)・津和地島(三里四町)等ハ、伊豫ノ北西海上ニア
 リ、興居島ハ其形ノ富士ニ似タルヲ以テ、伊豫小富士ノ稱アリ、鹽飽
 群島ハ讃岐ノ北方海上ニアリテ、鹽飽本島(四里二十六町)及廣島(四
 里二十四町)最モ大ナリ、

以上ノ外、伊豫ノ西方九州トノ間ニ於テ、日振島(五里三十二町)及戸
 島(四里三町)アリ、阿波ノ北東端ニ大毛山(五里十一町)・島田山(三里二
 十五町)等アリ、紀伊ノ南端ニ大島(四里十八町)アリ、

(地勢山岳) 本道ノ骨髄ヲ作ルモノハ、第三東西派山脈ニシテ、四國
 島ノ中央ヲ東西ニ貫通シ、其水ヲ南北ニ分水シテ、紀伊海峽ヲ渡リ
 紀伊ニ入りテ、其東方ハ大和ノ境ヨリ來レル第三南北派山脈ト衝
 突シ、其勢全州ニ擴カリテ、殆ト到ル處ニ山岳ヲ起ス、今各國ニ就キ

山岳ノ名アルモノヲ舉クレハ、紀伊ノ中央ニ大塔峯アリ、州中第一ノ高峯ニシテ、其山趾ハ廣袤殆ト十里ニ亘ル、大塔峯ノ南東ニ那智山アリ、有名ナル耶智瀧山中ニ懸ル、高サ八十餘丈、幅十八間、實ニ我國瀑布ノ王タリ、國ノ東隅ニ八鬼山アリ、西方ニ龍門山アリ、形ノ似タルヲ以テ紀伊富士ト稱ス、其東方大和ノ境ニ近ク高野山アリ、山上ニハ金剛寺、粉川寺アリ、古ヨリ靈境ト稱セラレ、四國ニ於テハ伊豫・土佐ノ界ニ、石鎚山・平宮山・瓶森山・三瀧山等相連ル、中ニモ石鎚山ハ四國第一ノ高峯ニシテ、高サ六千二百七十二尺、九月ノ末ニ至レハ山頂已ニ雪ヲ冠シ、五月ニ至リテ始テ消ユ、伊豫ノ南西隅ニ鬼城山(三、七〇〇尺)アリ、阿波・讃岐ノ境ニ於テ雲邊寺山アリ、阿波ノ中央ニ燒山寺山アリ、其西方ニ劍山(六、一二〇尺)アリ、讃岐ノ西方ニ有名ナル象頭山アリ、山腹ニ琴平神社アリテ、壯麗人目ヲ驚カス、淡路ニ

ハ山峰ノ高秀ナルモノナク、悉ク丘陵ノ類ノミ、只中央ニ峙テル先山ハ稍著名ナリトス、

(河流) 河流ノ著大ナルモノ、紀伊ニ新宮川・紀ノ川及日高川アリ、阿波ニ吉野川及那賀川アリ、土佐ニ渡川・仁淀川及物部川アリ、

新宮川(三十七里十二丁)ハ一名ヲ成川ト云ヒ、又熊野川ト稱ス、大和ヨリ來リ上流ヲ十津川ト云フ、紀伊ニ入りテ北山川ヲ併セ、南東流シテ熊野浦ニ注ク、

紀ノ川(三十二里三十四丁)ハ大和吉野川ノ下流ニシテ、紀伊ノ北邊ヲ西走シ、和歌山ノ北ヲ過キテ海ニ入ル、日高川(三十一里八丁)ハ紀伊ノ西邊ヲ流ル、モノニシテ、源ヲ大和界ノ山中ニ發シ、曲流シ鹽屋浦ニ至リテ海ニ注ク、

吉野川(四十一里餘)ハ四國第一ノ長流ニシテ、四國三郎ノ字アリ、源

ヲ四國中央ノ瓶森山ニ發シ、土佐ノ北邊ヲ東流スルコト凡ソ十五里、阿波ニ入りテ伊豫川ヲ併セ、此ヨリ阿波ノ北境ニ沿ヒテ、殆ト一直線ヲナシ東ニ流ル、其間凡ソ二十六里、海ニ注ク所分レテ四派トナル、其本流ヲ廣戸川ト云フ、吉野川ノ灌漑スル處ハ四國第一ノ平原ニシテ、地味肥沃、阿州藍ノ主產地タリ、
 那賀川(二十八里餘)ハ源ヲ阿波・土佐ノ境ニ發シ、阿波ノ南部ヲ東流シテ中島浦ニ至リテ海ニ放瀉ス、
 渡川(三十七里二十三丁)ハ一名ヲ四萬十川ト云フ、源ヲ伊豫ノ西部ニ發シ、山岳ノ間ヲ環流シテ土佐ニ入り、下田浦ニ至リテ海ニ朝ス、
 仁淀川(十九里)ハ源ヲ伊豫ノ山間ニ發シ、土佐ニ入りテ中部ノ諸水ヲ合セ土佐灣ニ注ク、
 物部川(二十五里)ハ土佐ノ東部ヲ流ル、モノニシテ、阿波ノ界ニ發

源シ、吉原浦ニ至リテ亦土佐灣ニ注ク、
 以上掲ケタル諸川ノ外、尙ホ各國ニ於テ稍著名ナルモノヲ擧クレハ、紀伊ニ在田川(二十七里)・富田川(三十五里)・安宅川(二十五里)・吉野川(二十七里)アリ、阿波ニ鮎喰川(十四里)アリ、伊豫ニ重信川及肱川(十里)アリ、讃岐ニハ川流少カラスト雖モ皆細流ノミ、只香東川(九里餘)稍大ナリ、淡路ニモ長流ナク、三原川・桑間川アレトモ流程共ニ三里ニ過キス、

(湖沼) 湖沼ハ大ナルモノ稀ニシテ、皆周圍三里ニ及ハス、其一里以上ノモノヲ數フレハ、總數十二、内十箇ハ讃岐ニアリ、其最モ大ナルモノヲ北條池及滿濃池トナス、

(鑛泉) 鑛泉ハ紀伊・伊豫及土佐ニアリテ、其數總テ十有六ヶ處、中就キ最モ著名ナルモノヲ伊豫ノ道後(硫黃泉)トナス、松山ヲ距ル十

八町、浴客常ニ雜沓シ、一年七十萬人ニ下ラスト云フ、此他紀伊ニ龍神・神場・湯崎・濱湯・本宮・川湯等アリ、伊豫ニ溫泉谷・楠窪アリ、土佐ニ別役・圓行寺・鶴湯・安並・利岡等アリ、

(氣候) 本道ハ氣候概テ溫暖ニシテ、略、山陽道ト相似タリ、然レトモ山脈ノ南北ニ由リテ、氣候ニ多少ノ差違ナキヲ得ス、土佐及紀伊ノ南方沿海各地ハ、夏時熱氣頗ル強ク、且ツ本邦最多雨地方ノ中ニ居ル、此等ノ地方ハ直接ニ大平洋ノ水氣ヲ受ケレハナリ、但シ伊豫・讚岐ハ之ニ反對ス、

(物産) 本道ハ土佐及紀伊ノ東北地方ヲ除ケハ、地味概テ肥沃ニシテ、田畝大ニ開ケ、農産頗ル多シ、特ニ阿波吉野川ノ沃野ハ、藍ノ栽培甚タ盛ニシテ、明治二十年中、藍葉ノ産額五百萬貫以上ニ達シ、本邦總産額ノ殆ト三分ノ一ヲ占ム、紀伊ノ蜜柑モ亦其名全國ニ高ク、年

々各地ニ輸出スルコト、殆ト壹百萬圓ニ達スト云フ、製造品ハ紀州ノ綿・フランネル・雲齋織・高野紙・淡路ノ伊賀野燒・阿波ノ齋田鹽・滅織・讚岐ノ食鹽・砂糖・保多縞・伊豫ノ松山縞・土佐ノ半紙等尤モ多シ、本道ノ各國ハ皆海瀕ニ國シ、頗ル水産ニ富ム、殊ニ紀伊土佐ノ海岸、其利尤モ夥シ、水産ノ主ナルモノハ紀伊ノ鯨、土佐ノ鯉節、珊瑚及眞珠等ナリ、

鑛屬ハ伊豫ノ銅ヲ第一トス、其出坑高ノ多キコト全國第二等ニ位ス(四九三、一〇五貫)、此他各國亦石材ヲ出ス、而シテ紀伊ノ那智黒石尤モ著名ナリ、

(都市) 都會ハ德島ヲ第一トシ、和歌山・高松・高知・松山之ニ次ク、德島ハ阿波ノ東海岸吉野川ノ口ニアリテ、四國第一ノ都會ト稱セラル、人口六萬〇〇八十、德島縣廳アリ、汽船常ニ大阪神戸等ト相往

來ス、
 和歌山ハ紀伊ノ北西端ニアリテ、北ニ紀伊川ヲ帶ヒ、南ハ和歌浦ニ
 接ス、人口五萬五千〇九十七、和歌山縣廳ノアル處タリ、
 高松ハ讃岐ノ北海岸ノ中央ニアリテ、香川縣廳ノアル處タリ、中國
 ノ間ヲ航スル船舶ハ、多ク此地ニ寄泊ス、
 高知ハ土佐灣頭ノ一都會ニシテ、市街繁昌ス、高知縣廳アリ、此地ト
 大阪トノ間ニハ汽船常ニ往來ス、
 松山ハ伊豫中部ノ都會ニシテ、重信川下流ノ北方ニアリ、愛媛縣廳
 ナ茲ニ置キ、市街頗ル繁盛ナリ、此地ヲ距ルコト半里許ニ道後ノ溫
 泉アリ、
 此他阿波ノ撫養、讃岐ノ丸龜、觀音寺、伊豫ノ宇和島、今治ハ亦各其國
 ノ名邑ナリ、淡路ニハ都邑ノ大ナルモノナク、唯其洲本ノミ稍記ス

ルニ足ル、

今此等各都市ノ人口ヲ表示スレハ左ノ如シ、

紀伊	和歌山	五五、〇九七人
阿波	徳島	六〇、〇八〇人
	撫養	一八、四七七人
讃岐	高松	三八、二四九人
	丸龜	一七、二四一人
	觀音寺	一一、二五一人
伊豫	松山	三四、四一〇人
	今治	一一、八二七人
	宇和島	一一、四六六人
土佐	高知	三一、二〇九人

九 西海道

(位置廣袤人口) 西海道ハ我邦ノ南西部ニ位シ、九州島及壹岐・對馬ヲ隔テ、琉球ノ諸島ヨリ成ル、其北東ハ早鞆・速吸兩海峽ヲ隔テ、本洲及四國島ト相隣リ、南東ハ大平洋ニ、西方ハ支那海ニ、北方ハ日本海ニ瀕ス、全道ノ面積二千八百二十八方里、人口五百七十三萬一千〇〇〇、一方里ニ對スル住民二千〇二十八人ノ割合ナリ、
(區劃) 本道ハ十二ヶ國ニシテ、六市一百十三郡、八縣ヲ以テ之ヲ分轄ス、但シ琉球ハ市郡ノ制ナク、許多ノ間切ニ分ル、

一 市 福岡

筑前

十五郡

糟谷・宗像・鞍手・嘉麻
穗波・上坐・下坐・夜須
那珂・御笠・席田・怡土
志摩・早良・遠賀

一 市 久留米

福岡縣

筑後

十

郡

御井・御原・山本・三潯
上妻・下妻・生葉・竹野
山内・三池

豊前

八

企救・田川・京都・仲津
築城・上毛
下毛・宇佐

豊後

十

西國東・東國東・速見
大分・北海部・南海部
大野・直入・玖珠・日田

肥前

二
十六郡

東彼杵・西彼杵・北高來
南高來・南松浦・北松浦
佐賀・神崎・基肆
養父・三根・小城・東松浦
西松浦・杵島・藤津

市

長崎
佐賀

大分縣

長崎縣

佐賀縣

長崎縣

佐賀縣

肥後

一市 熊本

十五郡

飽田・託麻・宇土・玉名
山鹿・山本・菊池・合志
阿蘇・上益城・下益城
八代・葦北・球磨・天草

熊本縣

日向十郡

宮崎・北那珂・南那珂
兒湯・東臼杵・西臼杵
北諸縣・西諸縣
東諸縣・南諸縣

宮崎縣

大隅十一郡

菱刈・始良・桑原
西贈・啖・東贈・啖・肝屬
南大隅・北大隅・熊毛
馭謨・大島

鹿兒島縣

一市 鹿兒島

薩摩

十四郡

鹿兒島・谿山・給黎
揖宿・額娃・川邊・日置
阿多・高城・南伊佐
薩摩・甑島・出水
北伊佐

壹岐二郡 壹岐・石田

長崎縣

對馬二郡 上縣・下縣

沖繩縣

琉球一圓

(海岸) 本道ハ四周繞ラスニ海ヲ以テシ、其沿岸ハ出入屈曲極テ多ク、特ニ北西ノ一部肥前ノ如キハ、地面支離分裂シテ、水陸ノ交界參差錯雜シ、殆ト得テ名狀スヘカラス、
今本道沿岸ノ出入ニ就キテ、其著名ナルモノヲ舉クレハ、九州島ノ北西端ニ、東北松浦郡ノ兩半島ハ、北方ニ突出シテ伊萬里灣ヲ擁ス、

北松浦半島ノ西角ヲ牛首岬ト云フ、平戸瀨戸ヲ隔テ、平戸島ト相望ム、其間僅ニ六町、鯛浦ハ又大村灣ト稱シ、肥前ノ西邊ニ在リテ、東西兩彼杵郡ノ中間ニ灣入ス、海底頗ル深ク十二仞ヨリ十五仞ニ至ル、其廣サ東西五里、南北七里、周回ハ五十里ニ及フ、針尾島其口ニ横ハリ、以テ東西兩海峽ヲ作り、内外ノ海水僅ニ相通ス、鯛浦ノ東ニ方リテ、肥前筑後肥後ノ間ニ深ク灣入スルモノヲ筑紫海又有明海ト云フ、東西狹キ處六里、南北十餘里、沿岸九十里、嶋原半嶋肥後ノ天草嶋ト相對シテ、其海門ヲ扼ス、其間僅ニ一里餘、之ヲ早崎瀨戸ト云フ、潮流急駛、舟行尤モ難シ、此海上ニハ秋夜燐光ヲ發ス、世ニ之ヲ不知火ト稱ス、肥國即テ火ノ國ノ名稱之ニ始マルト云フ、西彼杵嶋原兩半嶋ノ中間ヨリ南西ニ向ヒテ斗出スル半嶋ノ南端ヲ野母崎ト云フ、長崎ハ此半嶋ノ地頸ニ在リ、

九州ノ南端ニハ薩摩大隅ノ兩半島遠ク大洋中ニ斗出シテ、其間一ノ内海ヲナス、即テ鹿兒島灣ニシテ、南北二十里、東西三里乃至八里、沿岸凡ソ五十里、薩摩ノ開聞岬、大隅ノ佐多岬ト相竝ヒテ灣口ヲ扼ス、灣内ニ一島アリ櫻嶋ト云フ、其大根ハ世ニ名高シ、野間崎ハ薩摩半嶋ノ西方ニ斗出シ、火崎ハ大隅半嶋ノ東側ニアリテ、日向ノ南角都井岬ト相望ミ、其間ニ志布志灣又有明浦ヲ擁ス、一轉シテ九州ノ北東海岸ニ至レハ、佐賀關ノ半嶋豊後ノ正東ニ斗出ス、頭端ハ地藏岬ト稱シ、速吸海峽ヲ夾ミテ四國嶋ノ佐田岬ト相望ム、其間舟行極テ危険ナリ、國東山嘴ハ豊後ノ北東海中ニ突出シテ、一大半嶋ノ狀ヲナシ、遙ニ周防ノ大嶋ト相對ス、速柄崎ハ又門司崎ト稱ス、本嶋ノ極北ニアル岬角ニシテ、長門壇浦ト相向フ、其間ハ即テ速柄海峽ニシテ、其距離五町十四間、是ヨリ以南ヲ赤間關海峽

ト云フ、

(港津) 港津ノ著名ナルモノ、長崎・博多ヲ最トス、長崎ハ我邦五港ノ一ニシテ、肥前ノ南部西彼杵郡ニアリ、丘陵環繞シテ一長灣ヲナス、長サ凡ソ二里、幅一里ニ滿タス、深サ五仞乃至十六仞、港口ハ西ニ向ヒ、香燒嶋・蔭尾嶋・伊王嶋等其口ニ羅列シ、灣内波穩ニシテ碇泊ニ宜シ、釜山・浦鹽・斯德・上海・香港等ノ諸港ニ直通ス、博多港ハ筑前ノ西濱ニ位シ、其口ハ北西ニ向フ、志摩・志賀ノ兩半嶋相對シテ之ヲ擁セリ、東西二里十三町、南北一里二十六町、深サハ四仞ニシテ頗ル繁盛ノ港口ナリ、以上ニ次キテ著名ナルモノ、豊前ニ小倉港アリ、筑後ニ若津港アリ、肥前ニ佐世保・嶋原口ノ津・唐津及名護屋ノ數港アリ、佐世保港ハ近來海軍鎮守府ヲ設ケテ軍港ニ充ツ、肥後ニ三角港アリ、薩摩ニ鹿兒

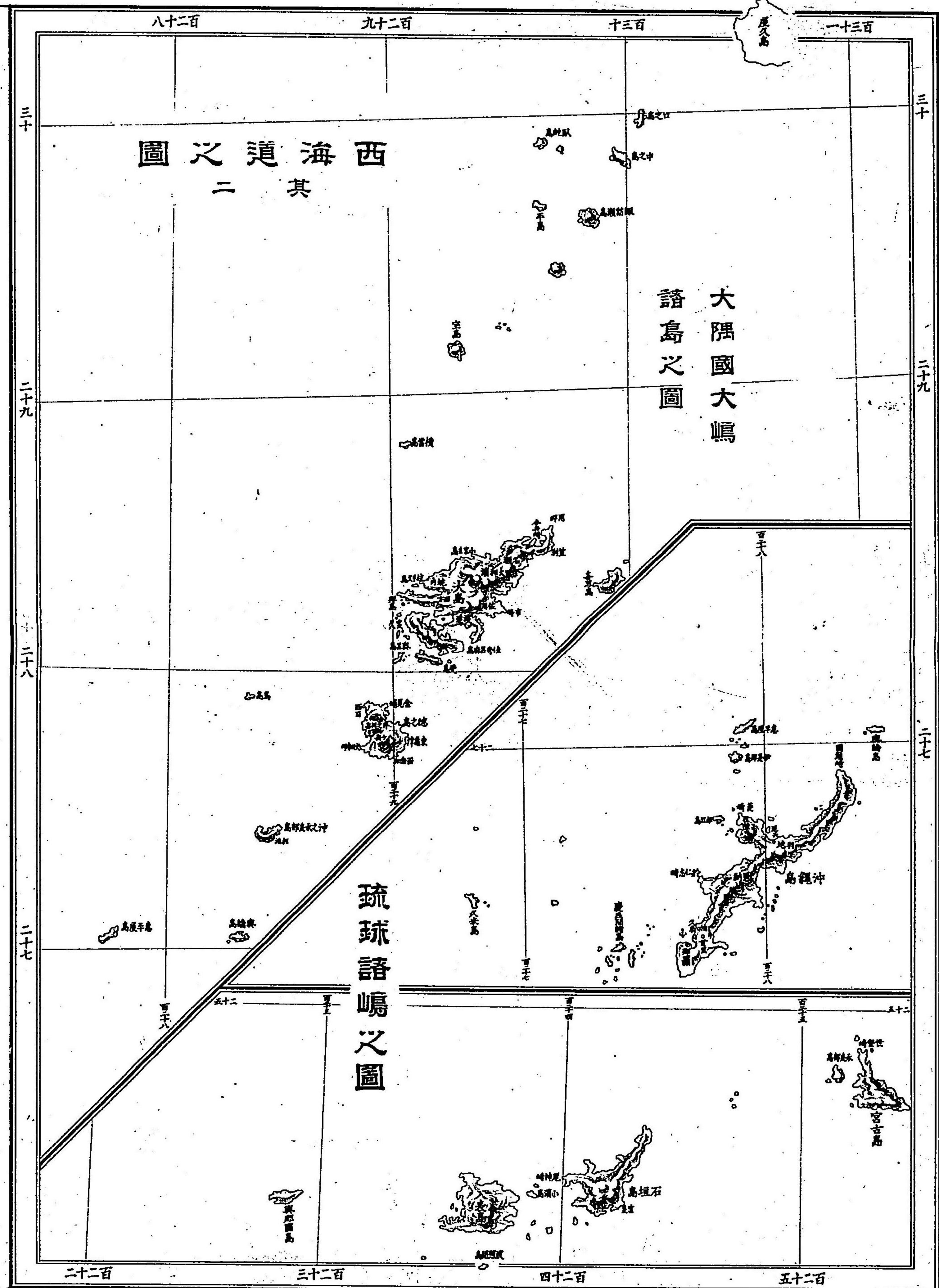
島港アリ、鹿兒島港ハ本道南部ノ一大良泊ニシテ、琉球ニ航スルノ要港タリ、對馬ニハ嚴原港アリ、琉球ノ沖繩本嶋ニハ那覇・運天ノ兩港アリ、那覇ハ著名ナル港ナレトモ、水深カラス、岩礁多ク、大船ヲ繋クコト克ハス、之ニ反シテ、運天港ハ灣内水深クシテ、嶋中第一ノ良港ト稱ス、

(嶋嶼) 本道附屬ノ嶋嶼舉テ數フヘカラス、其著大ナルモノヲ舉クレハ、肥前ノ北海上ニ壹岐・對馬ノ兩嶋アリ、日本支那兩海ノ分界ヲナシ、各一國ヲナス、前者ハ周回三十五里十五町、後者ハ南北兩嶋ニ分レ、南ヲ上嶋ト云ヒ、周回五十里十四町、北ヲ下嶋ト云ヒ、周回百三十五里三十一町、其北端ナル鰐浦ハ、朝鮮ノ釜山浦ト相對シテ、其間纔ニ十五里之ヲ對馬海峽トス、肥前ノ平戸嶋ハ僅ニ平戸瀨戸ノ一水ヲ隔テ、北松浦半嶋ニ接ス、

周回十三里二十町、中通及福江ノ兩嶋ハ、肥前ノ西方海上ニアリ、宇久・奈留・久賀ノ三嶋ヲ合セテ五嶋ト稱ス、皆肥前ニ屬ス、其四邊ニハ尙ホ數多ノ屬嶋アリ、

肥後ノ天草嶋ハ肥前肥後ノ間ニアリテ、筑紫海ノ口ニ横ハル、種子屋久ノ兩嶋ハ大隅ノ南海ニアリ、其南方ニ大嶋及徳ノ嶋アリ、共ニ大隅ニ屬ス、薩摩ノ西方海上ニハ甑嶋アリ、上中下ノ三嶋ニ分ル、薩摩及天草嶋ノ間ニ長嶋アリ、共ニ薩摩ニ屬ス、櫻嶋ハ鹿兒嶋灣ノ内ニアリテ大隅ニ屬セリ、

琉球ハ薩摩ノ南西海洋中ニ斜ニ連點セル大小五十五ノ群嶋ヨリ成リ、分チテ沖繩群嶋及先嶋群島ノ二トス、沖繩嶋最大ニシテ、宮古石垣及入表ノ三嶋之ニ次ク、伊是那久米・慶良間・永良部・波照間・與那國、其他ノ群嶋皆近海ニ散布セリ、



西海道之圖 其二

大隅國大嶋 諸島之圖

琉球諸嶋之圖

三十
二十九
二十八
二十七

三十
二十九
二十七

二十二百 三十二百 四十二百 五十二百

八十二百 九十二百 十三百 一十三百

(山岳) 九州嶋ノ主山脈ハ第三東西派、即チ九州山脈ト第四南北派
即チ霧嶋火山脈トニシテ、殊ニ後者ハ山勢雄壯、全嶋ニ岐蔓シ、火山
質高峯ヲ起ス、今各國著名ノ高山ヲ列叙スレハ、筑前ノ中央ニ寶滿
山(二、〇〇〇尺餘)アリ、御笠山或ハ竈門山ト稱ス、之ヨリ南西肥前ニ
跨ルモノヲ背振山トナス、筑後ニハ東境ニ御前嶽アリ、豊後ニ於テ
之ヲ權現岳ト稱ス、中央ニ高良山アリ、一帶ノ連峯其東ニ亘ル、之ヲ
屏風山ト云フ、英彦山(三、三六〇尺)ハ又單ニ彦山ト稱シ、豊前ノ南西
隅ニ屹立ス、豊後ニテハ國東半嶋ノ中央ニ文珠山アリ、半嶋ノ南西
ニ方リテ鶴見(五、九四〇尺)由布(五、三一三尺)ノ兩山アリ、大分灣ノ正
西ニ臨ム、鶴見山ハ世ニ名高キ活火山ニシテ、山頂常ニ烟ヲ吐ク、西
方肥後ノ界ニ迫リテ黒岳(六、六九九尺)アリ、大船(二、七〇〇尺)九重扇
鼻(四、六二〇尺)等ノ諸山其西ニ連ル、國ノ南西隅ニ祖母岳(五、八四三

尺アリ、其山趾日向ニ跨ル、肥前ニテハ北境ニ近ク天山(三、六九六尺)アリ、領巾振山ノ西方松浦潟ノ南岸ニアリ、虚空藏山(二、三一〇尺)ハ鯛浦ノ東岸ニ聳エ、多良岳ハ筑紫海ノ岸上ニ立テリ、嶋原半嶋ノ中央ニハ有名ナル熄火ノ温泉岳(四、九六三尺)アリ、山麓温泉頗ル多シ、故ニ此名アリ、肥後ニハ北東部ニ阿蘇岳アリ、五峯雲際ニ競立ス、其最モ秀ツルモノヲ高岳ト云フ、海面ヲ抜クコト六千二百五十尺、古來著名ノ活火山ニシテ今尙ホ盛ニ硫烟ヲ吐ク、山麓ニハ温泉瀑布頗ル多シ、之ヲ阿蘇谷ト稱ス、阿蘇岳ノ北東ニ涌蓋山(四、八五一尺)アリ、北西ニ鞍岳(三、三六六尺)アリ、金峯山(一、九八〇尺)ハ熊本ノ西方海岸ニ接シテ聳エ、江代(三、五六四尺)市房・白髭(四、〇五九尺)ノ諸山ハ東方日向ノ境ニ連レリ、日向ニテハ中央ニ法華岳(三、五九七尺)アリ、南部ニ小松山(四、一五八尺)鈴岳(二、七〇六尺)等アリ、日向・大隅ノ境ニハ

著名ノ霧嶋山聳立ス、其最高峯ハ高サ五千二百八十尺、霧嶋火山脈ノ主峯ニシテ睡眠火山ニ屬シ、不時ニ轟然鳴動シテ烟灰ヲ飛ハス、大隅ニテハ高隈・垂水ノ兩嶽、國ノ中央ニ相竝ヒテ、鹿兒嶋灣ノ東岸ニ臨ム、薩摩ニ至レハ國ノ北部ニ紫尾山(四、七八五尺)アリ、半嶋部ノ中央ニ金峯山(二、六〇七尺)アリ、南端ニ開聞岳アリ、薩摩富士ト稱ス、櫻嶋岳(三、六三〇尺)ハ櫻嶋ノ中央ニ屹立スル噴火山ニシテ、山上ニ池沼アリ、池水ハ海潮ニ隨ヒテ盈虚ス、蓋シ噴孔ノ海ニ通セルニ因ルナラン、其他對馬ノ三嶽、壹岐ノ魚釣山、沖繩嶋ノ佳楚嶽(一、五五〇尺)又宇勝岳ト云フ等ハ各、其嶋中ノ高峯タリ、

(河流)九州ニテ河流ノ大ナルモノ、筑後川・川内川・大野川・五箇瀬川一ノ瀬川・美々津川及大淀川等トス、筑後川ハ又千年川ト云フ、上流ハ豊後ノ日田川ニシテ源ヲ豊後・肥

後ノ山間ニ發シ、西流シテ筑前筑後兩國ヲ界シ、久留米ヲ繞リテ南西ニ轉シ、肥前筑後ノ兩國ニ出入シ、若津港ヨリ筑紫海ニ入ル、流程三十五里、幅凡ソ六町、我邦三名河ノ一ニシテ、本道第一ノ巨流タリ、故ニ又筑紫二郎ノ稱アリ、

川内川ハ源ヲ日向大隅ノ山間ニ發シ、大隅ノ北部ヲ過キテ薩摩ニ入リ、西流シテ京泊ニ至リ海ニ注ク、水源ヨリ河口マテ凡ソ四十六里、幅凡ソ百間、本道第一ノ長流ニシテ、十六里ノ間舟楫ヲ通スルニ宜シ、

大野川ハ源ヲ豊後ノ西境ナル九重山ノ麓ニ發シ、國ノ中央ヲ北東流シ、此間國內ノ深流ヲ合セテ漸ク大トナリ、鶴崎ヲ經テ大分灣ニ注ク、水源ヨリ河口マテ凡ソ三十四里ナリ、

五箇瀬(三十四里)美々津(三十八里)一ノ瀬(三十里餘)及大淀(二十五里)

ノ四川ハ、共ニ日向ノ西境ニ發シ、東ニ流レテ日向灘ニ注ク、

以上ニ次キテ著名ナルモノ、筑前ノ北部ニ遠賀川(凡ソ十五里)アリ、上流ヲ嘉麻川ト云フ、北流シテ蘆屋港ニ注ク、筑後ノ中央ヲ西流スルモノ之ヲ矢部川(十五里餘)ト稱シ、肥前ノ中部ヲ南流スルモノヲ武雄川トナス、共ニ筑紫海ニ注ク、肥後ニ於テハ菊池川(十九里餘)白川(十五里餘)綠川(二十一里餘)及球麻川(二十四里)アリ、共ニ國ノ東境ニ發シ西流シテ亦筑紫海ニ入ル、其球麻川ノ如キハ有名ナル急流ニシテ富士最上ノ兩川ト合セテ我邦ノ三急河ト稱ス、豊前ニハ中央ヲ北流スル山國川(十三里)アリ、其上流ヲ耶馬溪トス、長溪數里、奇石怪岩兀立シ、風景實ニ奇絶タリ、賴山陽嘗テ此地ニ遊ヒ、賞シテ海内第一トナセリ、又日向ノ北隅ニ北川(十九里)アリ、豊後ヨリ來リ南流シテ東海港ニ入ル、

(湖沼) 本道ニハ湖沼ノ大ナルモノ至テ稀ニシテ、周回三里以上ノモノ僅ニ二箇、其一ヲ池田湖ト云ヒ、薩摩半島ノ南部ニアリ、周回四里廿九町、深サ百三十仞ヨリ百五十仞ニ至ル、他ノ一ハ之ヲ鴨生田池ト稱ス、筑前ノ北部アリ、周回三里〇二町、此他周回一里以上ノモノ凡テ十有一箇アリ、

(鑛泉) 本道ニハ霧嶋火山脈跋扈スルカ故ニ、鑛泉從ヒテ多ク、五畿八道中、實ニ東山道ニ一步ヲ讓ルノミ、其總數七十餘個處、中ニモ肥後ハ最多ニシテ二十四箇處、筑前ノ一ヶ處最少ナリ、其全ク之ナキモノハ豊前筑後ノ二國ノミ、鑛泉場ノ著名ナルモノヲ舉クレハ、筑前ニ武藏鑛泉(硫黃泉)アリ、豊後ニ別府濱脇ノ兩泉(炭酸泉)アリ、肥前ニ柄崎古湯嬉野共ニ炭酸泉及小濱(鹽類泉)ノ數泉アリ、肥後ニ山鹿溫泉(硫黃泉)アリ、熊本ヲ距ル北方七里許、其他大隅ニ硫黃谷(硫黃泉)

及薩摩ニ湯ノ浦(炭酸泉)ノ鑛泉アリ、

(平原) 肥筑豊諸國海岸ノ地ハ、概テ肥沃ノ平原ニシテ、殊ニ兩肥及筑後ニ連亘スル筑紫海沿岸ノ地ハ、九州第一ノ平野ニシテ、肥後米肥前米ノ產地タリ、

(氣候) 九州嶋ノ北西部ハ南ニ連山ヲ背ヒ、北方日本海ニ面スルカ故ニ、冬季ハ北東或ハ北西ノ風強クシテ、其緯度ニ準スレハ寒氣稍強ク、積雪屢、二三寸ニ達スルコトアリ、然レトモ其南部ニ進ムニ從ヒ、漸ク暖熱ヲ加ヘ薩摩大隅地方ノ如キハ、嚴冬ト雖モ山間ノ外降雪極テ稀ニシテ、二月中旬已ニ櫻花ノ滿開ヲ見ル、尙ホ進ミテ琉球群嶋ニ至レハ、其地熱帶ニ近キヲ以テ、氣候炎熱、周歲霜雪ヲ見ス、盛夏ノ候ニハ炎威特ニ酷シケレトモ、幸ニ海洋涼風ヲ送ルカ故ニ、内地苦熱ノ國ニ比スレハ却テ熱度ノ輕キヲ覺ユ、左ニ本道内、氣象測

候所所在地ノ溫度及雨量(明治廿二年)ヲ表示ス、

	最高溫	最低溫	平均溫	總雨量
鹿兒嶋	三四 ^{度分} 二	零下四 ^{度分} 二	一七 ^{度分}	二二三三六 ^{佛厘} 六
宮崎	三六、一	同	四、四	一六、八
大分	三三、一	同	二、七	一四、五
長崎	三四、九	同	三、六	一五、九
一嚴原	三四、〇	同	六、六	一四、二

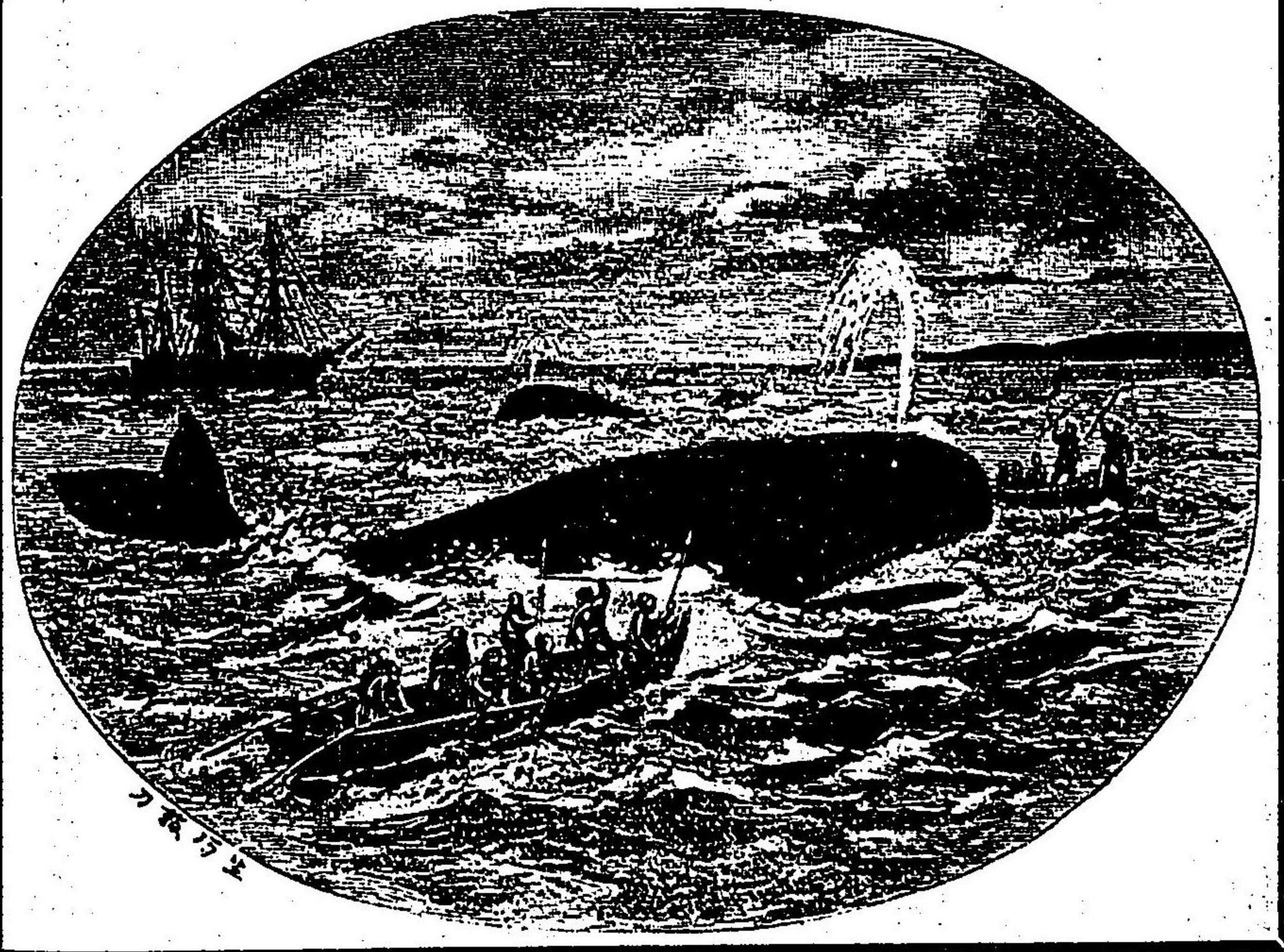
(物産) 本道ノ平地ハ地味一般ニ肥沃ナレハ、田圃開ケ、穀産多ク、佐賀及肥後ノ平野ハ特ニ地味豐饒ニシテ、水田茫茫遠ク連リ、夙ニ米ノ產地ヲ以テ稱セラレ、今農産ノ著名ナル者ヲ舉クレハ、肥前ノ肥前米長崎煙草肥後ノ肥後米及煙草大隅ノ國分煙草櫻嶋大根薩摩ノ煙草及密柑等ナリ、茶モ亦各地多少之ヲ産ス、木材ハ薩摩大隅殊



陶器製造ノ圖

ニ多ク、其屋久杉ハ木理ノ秀美ナルヲ以テ稱セラレ、製造品ニテ織物ハ筑前ノ博多織、筑後ノ久留米總、豊前ノ小倉織、豊後ノ豊後絞、薩摩ノ薩摩總、大島紬、琉球ノ琉球總、芭蕉布等其名殊ニ高シ、陶器ハ肥前ノ有田焼、薩摩ノ薩摩焼等尤モ著名ニシテ、殊ニ有田焼ハ世ニ伊萬里焼ト稱ヘ、精巧ヲ極メ、外國輸出品中ノ貴重ナルモノタリ、此他筑後ノ生蠟、日向ノ半切樟腦、薩摩ノ砂糖、阿久根焼酎及七嶋筵、琉球ノ砂糖、泡盛及朱塗漆器等、亦本道物産ノ有名ナルモノナリ、

水産ハ各國皆之アリ、中ニモ
 豊後ノ海邊ハ九十九浦ノ稱
 アリテ、漁業最モ盛ニ、肥前五
 嶋ノ鯨獵ハ土佐熊野モ遠ク
 及ハサル所ナリ、其他肥前ノ
 千鳥賊海參薩摩ノ鯨節等ハ鯨
 水産中尤モ名ヲ得タルモノ
 ナリ、
 鑛屬ニテハ大隅薩摩ヨリ金
 銀ヲ出ス、石炭ハ其産額極テ
 夥シク、中ニモ肥前(高嶋唐津)
 ナ第一トシ、筑前筑後(三池豊



前肥後之ニ次ク、此等諸國ノ一年間ノ採掘高ヲ左ニ示ス(明治二十
 一年)

肥 前	二三一、一〇三、五三二貫
筑 前	一二二、六七一、三六七貫
筑 後	七六、八七二、四七九貫
豊 前	二五、六〇五、九六二貫
肥 後	一三、五五八、九九七貫

(都市) 本道都會ノ盛ナルモノ、熊本福岡長崎鹿兒嶋ヲ最トス、
 熊本ハ肥後白川下流ノ北岸ニ臨ム、人口五萬二千餘、陸軍第六師管
 ノ本營及熊本縣廳ノアル處ニシテ、市街ノ殷賑、九州第一ト稱ス、熊
 本城ハ加藤清正ノ築造ニ係リ、堅牢ヲ以テ其名高シ、明治十年西南
 ノ役官軍固守シテ遂ニ賊鋒ヲ折ケリ、其城内ノ錦山神社ハ、清正公

ヲ祀ル處ニシテ賽客絶ユルコトナシ、
 福岡ハ筑前ノ博多灣ニ臨ミ、那珂河口ニ跨カリ、殆ト熊本ニ讓ラサ
 ル大都ニシテ、人口四萬九千、福岡縣廳アリテ頗ル繁華ノ地タリ、此
 地元ト那珂河口ヲ境トシ、西ヲ福岡ト云ヒ、東ヲ博多ト稱セシカ、市
 制施行ノ日ヨリ共ニ合シテ福岡市ト云フ、福岡ヲ距ル南方五里許
 ニ、有名ナル大宰府アリ、往時筑紫探題ノ府ニシテ、今菅原道眞公ヲ
 祀レル天滿天神ノ名祠アリ、博多ノ東方箱崎ニハ、應神帝ヲ奉祀
 セル八幡宮ノ廟社アリ、二社共ニ其名世ニ高シ、
 長崎ハ肥前彼杵半島ノ南部ニアリ、開港場ノ一ニシテ人口四萬三
 千餘、長崎縣廳ノ在ル處ナリ、此地ハ我邦ノ始テ外國ト通商貿易シ
 タル處ニシテ、今尙ホ居留ノ外商少カラス、殊ニ支那賈客ノ多キコ
 ト他ニ見サル所ナリ、今日ハ稍繁昌ヲ減シタルノ觀アリト雖モ、尙

ホ未タ東洋屈指ノ良港ニシテ、内外ノ船舶常ニ輻輳シ、市街頗ル殷
 賑ナリ、

鹿兒島ハ薩摩國鹿兒島灣ノ西岸ニアリ、水ヲ隔テ、櫻島ト相對シ、
 其間一大良港ヲナス、琉球神戶間ノ船舶常ニ來往シテ、商業盛ニ行
 ハル、人口四萬七千餘、鹿兒島縣廳茲ニアリ、此地ハ島津氏累世ノ居
 城ニシテ、文久三年英艦ト戰ヒ、市街概テ砲彈ノ焚ク所トナリタレ
 トモ、今ハ全ク之ヲ修メタリ、

以上ノ外、豊後ノ大分、肥前ノ佐賀、日向ノ宮崎ハ共ニ其縣廳所在ノ
 都會ナリ、

琉球ニ在リテハ那覇ハ島中第一ノ都府ニシテ、沖繩縣廳アリ、市街
 亦頗ル繁盛ナリ、那覇ヲ東方ニ距ル凡ソ一里餘ニシテ首里アリ、琉
 球藩王ノ舊城市ナリ、

右ノ外、筑後ノ久留米、豊前ノ小倉、中津、豊後ノ臼杵、肥前ノ島原、日向ノ都ノ城、大隅ノ國府等ハ各其國ノ名邑タリ、今更ニ人口一萬以上ノ都市ヲ表示スレハ、左ノ如シ、

筑	前	福岡	四八、八五〇人
筑	後	久留米	二〇、七三八人
		柳川	一三、五五九人
豊	前	中津	一五、二七二人
		小倉	一四、八〇〇人
豊	後	大分	一五、五一二人
		臼杵	一一、四〇二人
肥	前	長崎	四三、六六九人
		佐賀	二五、五八四人
		島原	一九、一五三人
肥	後	熊本	五二、一八九人

薩 摩 鹿 島

四七、五一二人

琉 球 那 覇

二六、三四〇人

首里

二五、七九〇人

一〇 北海道

位置廣袤人口 北海道ハ我邦ノ最北部ニシテ、蝦夷島及千島諸島ヲ以テ成ル、蝦夷島ハ廣袤各八十里許、南方津輕海峽ニ依リテ本洲ト界ヲ分テ、東南太平洋ニ臨ミ、北方オコツク海ニ瀕シ、北西隅ハ宗谷海峽ニ依リテ露領樺太ト界シ、西方日本海ニ臨ム、千島諸島ハ蝦夷島ノ東端ヨリ斜ニ北東ニ羅列シテ、太平洋トオコツク海トノ分界ヲナシ、其最北端ノ占守島ハ、久留里海峽ヲ隔テ、露領甘察加ニ咫尺ス、

全道ノ面積六千〇九十五方里、人口二十五萬四千八百〇五、即チ一方里ニ對スル住民四十二人ノ割合ニシテ、現時五畿八道中ニ於テ

人口最モ稀疎ノ地方タリ、然レトモ其原野山海ノ遺利ハ、漸ク世人ノ注意ヲ惹起シ、近來頻ニ移住ヲ企ツルモノ多ク、政府モ亦屯田兵其他ノ方法ヲ設ケテ、銳意人口ノ増殖ヲ計ルカ故ニ、其密度他ノ諸道ト相匹敵スルニ至ルコト、蓋シ遠キニアラサルヘシ、
(區劃) 本道ノ國タル十一、更ニ之ヲ二區八十八郡ニ分テ、北海道廳ヲ以テ之ヲ管轄ス、

渡島

一區 函館

六郡

龜田・上磯・茅部・松前・檜山・爾志

後志 十七郡

久遠・奥尻・太櫛・瀬棚・壽都・島牧
歌棄・磯谷・岩内・古宇・小樽・高島
忍路・餘市・古市・美國・積丹

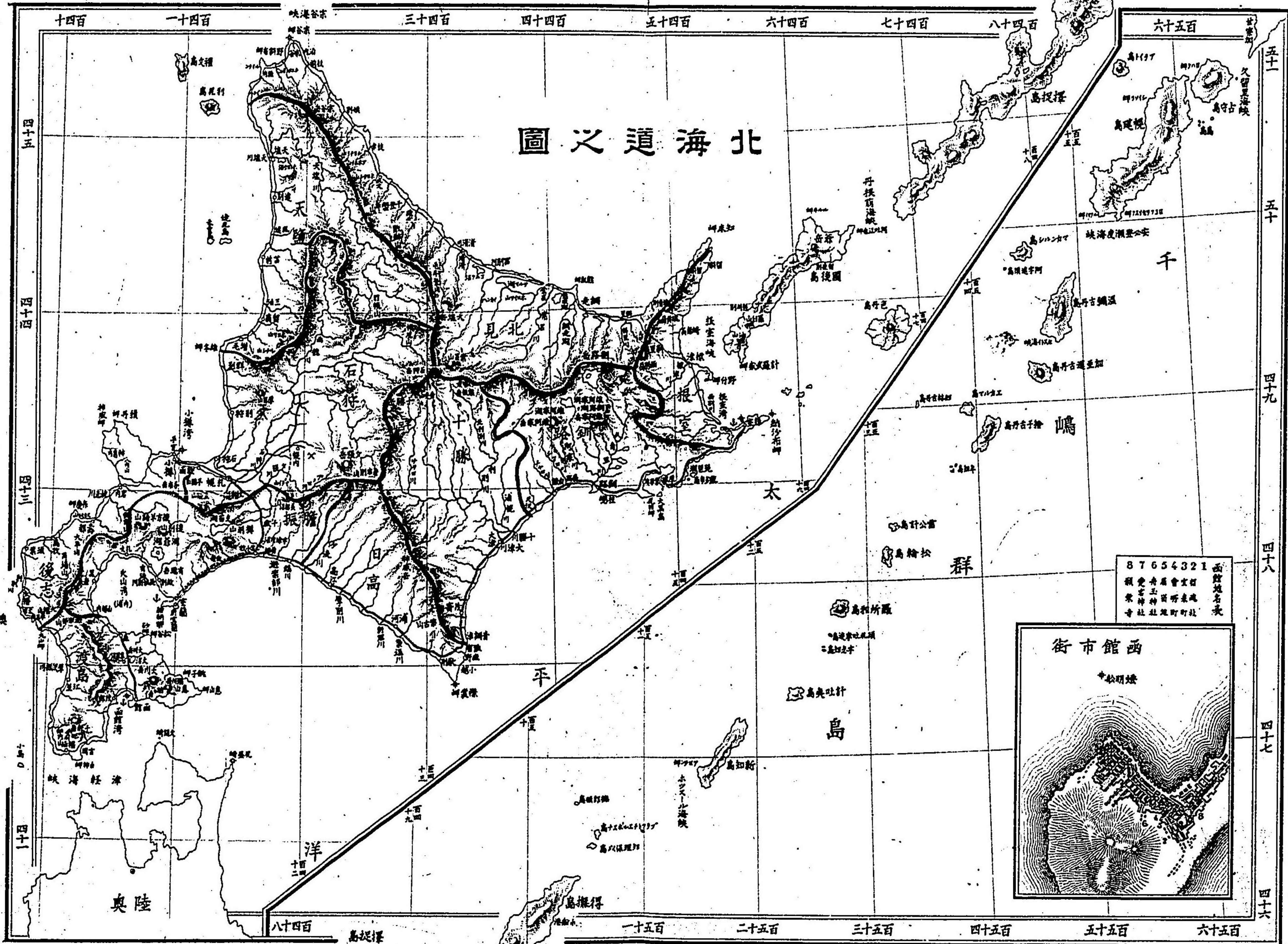
石狩

一區 札幌

九郡

札幌・石狩・原田・濱益・空知・夕張
樺太・雨龍・上川

北海海道圖



天鹽六郡 增毛・留萌・苫前・天鹽・中川・上川

北見八郡 宗谷・枝幸・利尻・禮文・網走・斜里
常呂・紋別

膽振八郡 山越・室蘭・有珠・蛇田・幌別・勇拂
白老・千歲

日高六郡 浦河・沙流・新冠・釧路・三石・様似
幌泉

十勝七郡 廣尾・營・緣・十勝・中川・河西・河東
上川

釧路六郡 釧路・白糖・阿寒・足寄・川上・厚岸

根室五郡 根室・花咲・野付・標津・目梨

千島九郡 國後・擇捉・紗那・振別・藥取・色丹
得撫・新知・占守

(海岸) 本道ノ海岸ハ屈曲甚々多カラサントモ其狀略斜方形ナ

スカ故ニ岬角ノ主ナルモノ亦東西南北ノ四隅ニ在リ、其北方ヲ指
 スモノヲ宗谷岬ト云フ、本島ノ最北端ニシテ、宗谷海峽ヲ隔テ、樺
 太島ノ能取岬ト相對ス、其間凡ソ十有二里、南方ノ山嘴ハ之ヲ襟裳
 岬ト稱ス、岬邊巖礁亂立シ、水路ノ危険最モ甚クシ、東西兩隅ハ稍多
 岐ニシテ、中ニモ西隅近傍ハ本島中最モ出入多キ處トス、繪鞆岬、神
 威岬、其左右ニ擴出シテ、南北兩方ヲ指シ、渡島半島其中央ヨリ延出
 シ、南ニ擴カル、其盡頭ハ更ニ左右ニ開キ、白神惠山ノ兩岬ヲナス、兩
 岬ノ間ニ灣入スル海ハ、即チ渡島灣ニシテ、箱館港ハ其灣頭ニ在リ、
 渡島半島ト繪鞆岬トノ間ニハ、又一ノ海灣ヲ抱ク、之ヲ火山灣ト稱
 シ、或ハ内浦ト呼フ、半島ノ日本海ニ面スル處ニ、白糸岬ノ突出スル
 アリ、北東神威岬ト相竝ヒテ、其間ニ壽都灣ヲ抱ク、最後ニ本島ノ東
 隅ニ至レハ、根室灣東ニ向ヒテ開キ、納沙布知床ノ兩岬左右ニ突出

シテ其兩翼ヲナス、納沙布岬ヲ廻リ、釧路ノ海岸ニ出ツレハ、又厚岸
 灣ノ一小灣入アリ、厚岸港ハ此灣内ニアリ、

(港津) 港津ノ著名ナルモノ、渡島ニ箱館(四俣ヨ)、江差(六俣)ノ二港ア

リ、箱館ハ外國互市場ノ一ニシテ、渡島灣頭ニアリ、箱館山其口ヲ擁
 シ、四時共ニ風濤ノ患ナク、碇船頗ル便利ナリ、後志ニ小樽港(八俣)ア
 リ、膽振ニ室蘭港(九十俣)アリ、室蘭港ハ海軍鎮守府所在ノ軍港ニシ
 テ、實ニ北方ノ關門タリ、釧路ニ厚岸港(四俣ヨリ)アリ、根室ニ根室港
 (四俣)アリ、皆本道ノ良船ト稱ス、

(島嶼) 千島群島ト稱スルモノハ、根室灣ノ東方ヨリ斜ニ北東ニ亘
 リテ、海上三百餘里ニ羅列セル島嶼、大小三十有二箇ノ總稱ニシテ、
 其主ナルモノヲ南ヨリ枚舉スレハ、國後(周回七十一里)、擇捉(百五十
 三里)、得撫(六十里十六町)、新知(三十三里餘)、捨子古丹(十六里三十四町)

恩彌古丹(二十六里十七町)幌筵(七十九里十四町)及占守(二十二里三十町)ノ八島トナス、其他ノ屬島ハ概テ日本海ニアリテ、北見ノ宗谷岬ニ近ク禮文島(十二里三十三町)利尻島(九里三十三町)アリ、後志渡島ノ海上ニ奥尻島(十三里二十五町)及大島(四里十四町)アリ、(地勢山岳)蝦夷島ニハ南北東西兩派ノ山脈十字狀ニ交叉シテ脊骨ヲナシ、其地ヲ四箇ノ三角形ニ大別ス、此等ノ三角形地ハ各海洋ニ向ヒテ開ケ、地勢概テ低平ナリ、然レトモ其境界線タル山背ハ、峻ニシテ往々高峯ヲ起ス、其最モ著名ナルモノハ、尻ニ蝦夷富士ノ稱ヲ得タル後志ノ後方羊蹄山(六、五三〇尺)ニシテ、膽振ノ國境ニ峙テ、山趾遠ク兩國ニ跨レリ、石狩ノ石狩岳ハ蝦夷島ノ中央最高點ニ位シテ、地勢之ヨリ漸ク四方ニ斜落ス、其北ニ天鹽岳アリ、南ニ十勝ノ十勝岳アリ、共ニ後方羊蹄山ト相競フノ高峰タリ、此他渡島ノ北

境ニ遊樂部山(四、一〇〇尺)アリ、其南東ニ濁川岳(二、七〇〇尺)駒岳(三、二二〇尺)大川岳(一、九二〇尺)等相連リ、千軒岳(三、三五〇尺)知内岳(一、五三〇尺)ハ西方白神岬ニ近シ、後志ニ於テ西部ニ太櫓岳(三、〇〇〇尺)疋場岳(三、九〇〇尺)大平岳(三、四〇〇尺)アリ、後方羊蹄山ノ北西ニ當リテ、雷電山(三、二五〇尺)八内岳等アリ、膽振ニ於テ火山灣ノ岸ニ峙ツ有珠岳(三、四四〇尺)アリ、後方羊蹄山ノ東方支笏湖ノ北ニ當リテ紋別岳(二、六〇〇尺)アリ、夕張岳ハ高ク石狩ノ日高ト接スル處ニ立テ、暑寒別山(七、二〇〇尺)羽幌山(六、一二〇尺)及幌尻山(六、一二〇尺)ハ天鹽ノ南方ニ連リ、屯斗登散酢千登蟹牛ノ諸岳ハ北見ノ境上ニ峙テリ、十勝ノ日高ト境スル處ニ神威岳(五、四〇〇尺)樂古山(四、六八〇尺)アリ、又其石狩トノ間ニ竿呂岳アリ、釧路ニテハ雌雄ノ兩阿寒岳國ノ北方ニ聳立シ、山頂共ニ硫烟ヲ吐ク、又根室ノ北見ニ接スル

處ニハ西別岳・斜里岳(五、四五〇尺)及硫黃岳等相連レリ、
 (河流) 河流ノ大ナルモノハ石狩・天鹽・大津・久壽里及後志ノ五川ア
 リ、共ニ北海道五大河ノ稱アリ、
 石狩川ハ全道無二ノ巨川ニシテ、亦我邦第一ノ長流タリ、流程一百
 六十有七里、源ヲ石狩十勝兩岳ノ間ニ發シ、北ニ下リテ高サ二百丈
 餘ノ兩大瀑布トナリ、下流尙ホ深谷ノ間ヲ回流シ、西ノ方平野ノ中
 央ニ出ツ、此野ハ所謂ル上川郡ノ高原ニシテ離宮設置ノ地ト認定
 サレタレハ、他日繁華ノ一都會トナルハ預メ期スヘキナリ、然レト
 モ現時尙ホ寂漠タル荒野ニシテ、無數ノ深流其間ヲ環流シ、悉ク本
 川ニ會ス、本川神古丹ニ至レハ左右ノ衆山狹攢シテ水流一條トナ
 リ、水勢頗ル駿激ナリ、已ニ此狹間ヲ出ツレハ雨龍川北ヨリ入り、空
 知川南ヨリ會シテ、其勢漸ク大トナリ、渺茫タル石狩平野ノ間ヲ南

西ニ流レ、石狩港ニ至リ遂ニ日本海ニ入ル、河口ハ其幅四百間、鮭魚
 ノ漁獵盛ニシテ、船舶常ニ輻輳ス、

天鹽川ハ本道第二ノ長流ニシテ、流程七十里餘、源ヲ石狩十勝兩岳
 ノ間ニ發シ、天鹽國ノ南東隅ヨリ北西ノ方向ヲ取り、天鹽郡ニ至リ
 テ日本海ニ注ク、

大津川ハ源ヲ十勝岳ニ發シ、十有餘ノ深流ヲ合セテ、十勝ノ中央ヲ
 南東ニ駛セ、下流ハ兩派ニ分レテ太平洋ニ注ク、本流ハ其長サ四十
 四里餘、幅凡ソ七十間、支流ハ長サ二里許、幅凡ソ六十間アリ、之ヲ十
 勝川ト云フ、

久壽里川ハ長サ三十七里、源ヲ釧路ノ北境ナル久壽里沼ニ發シ、南
 流シテ白龍當路兩沼ノ水ヲ入レ、下流ニ至リテ阿寒川ヲ合セ、遂ニ
 釧路港ヨリ太平洋ニ注ク、